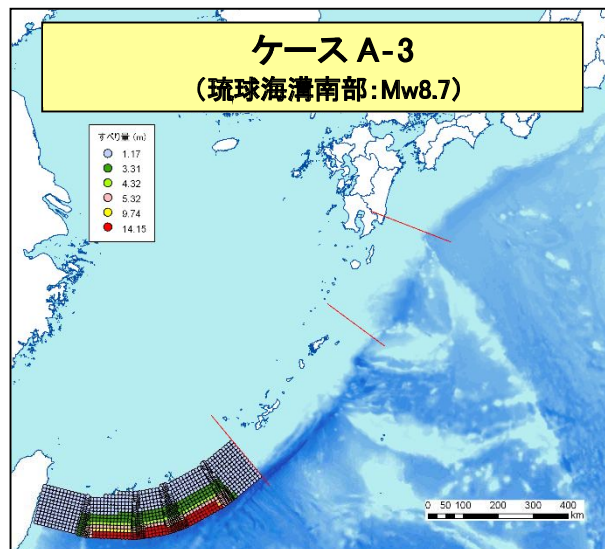
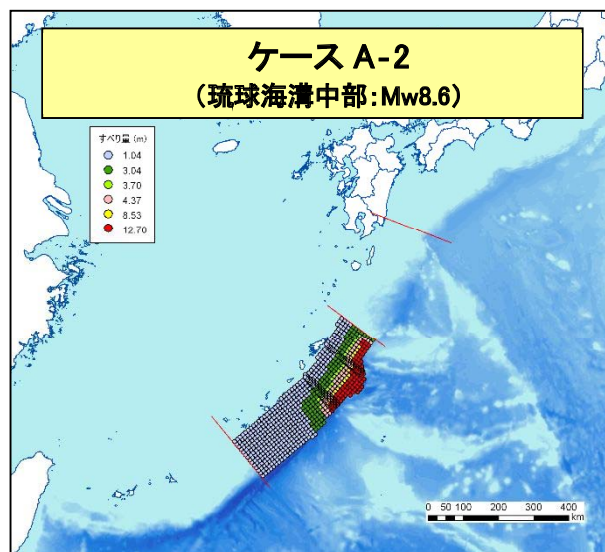
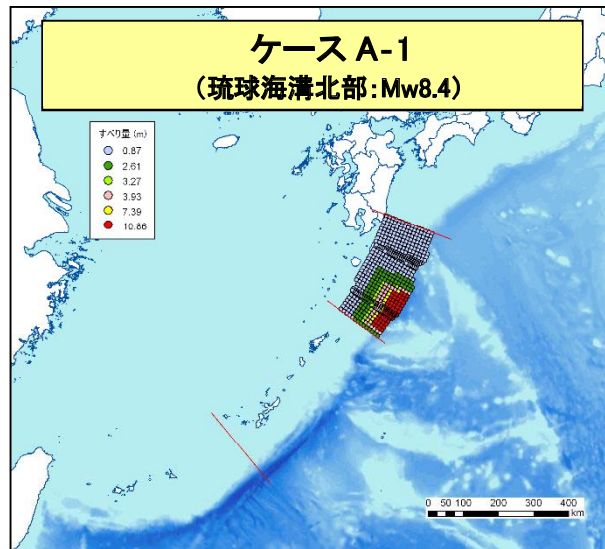
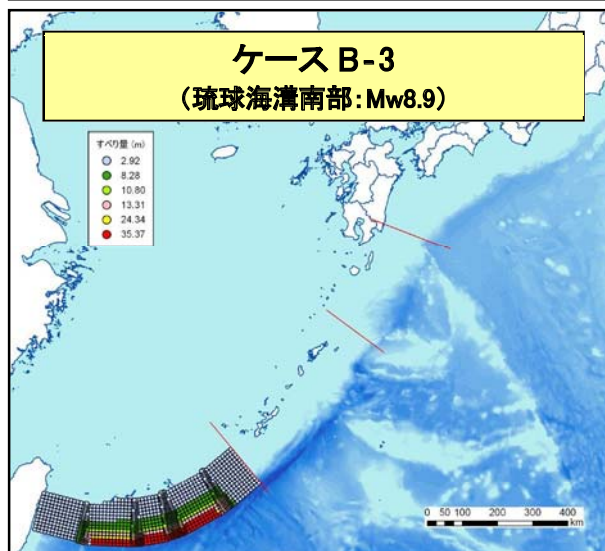
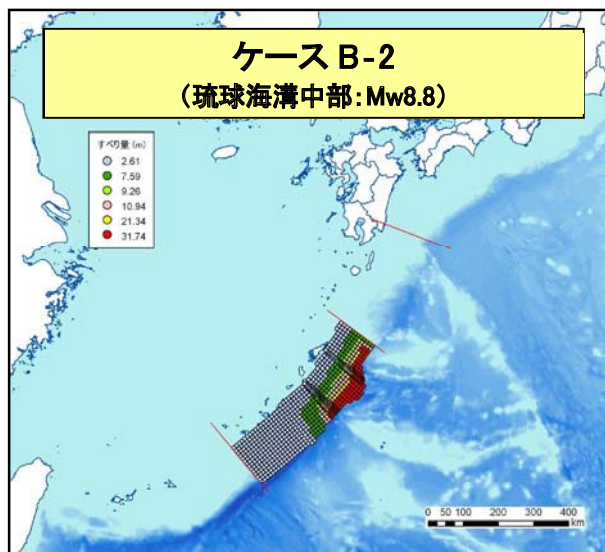
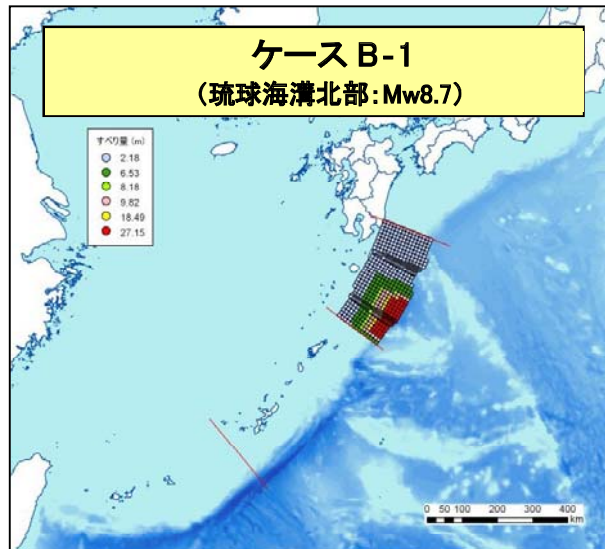


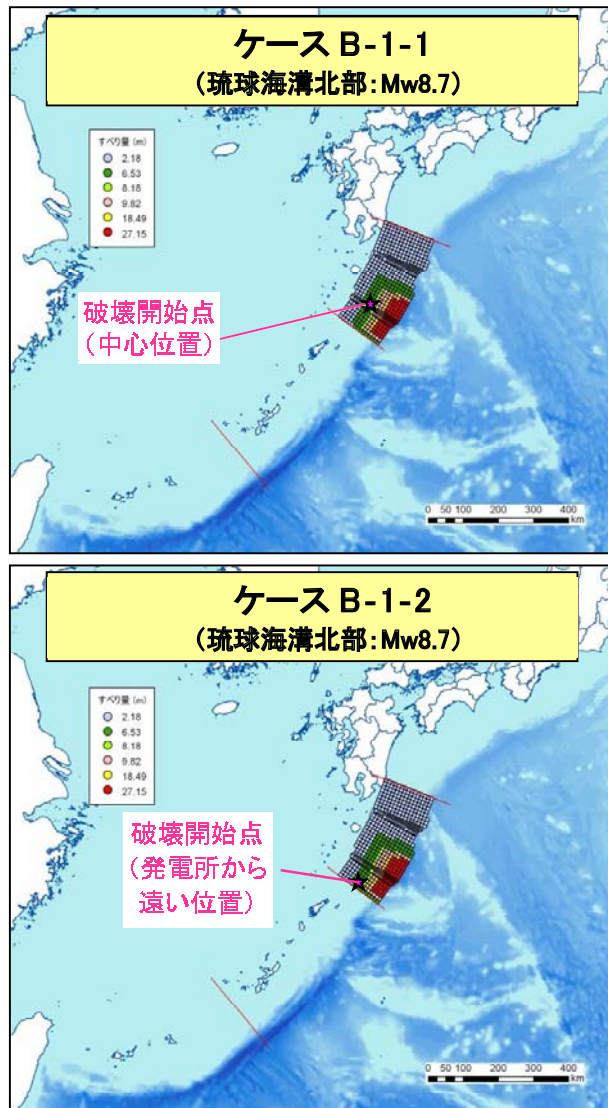
第1.2-6図(3) 琉球海溝南部を波源とした津波の伝ば過程



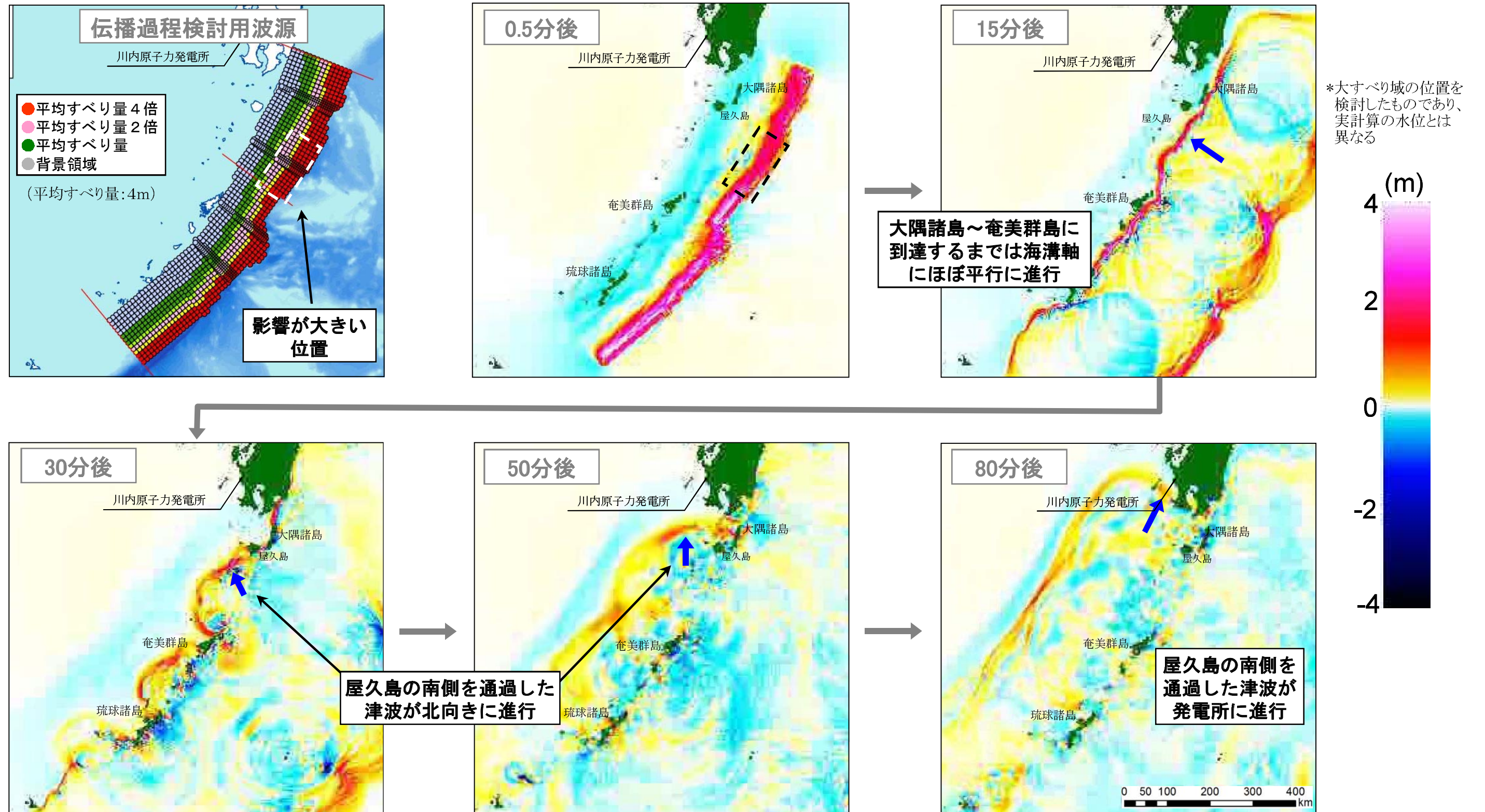
第1.2-7図(1) 琉球海溝の津波波源
(分析結果に基づく津波波源: 基本ケース)



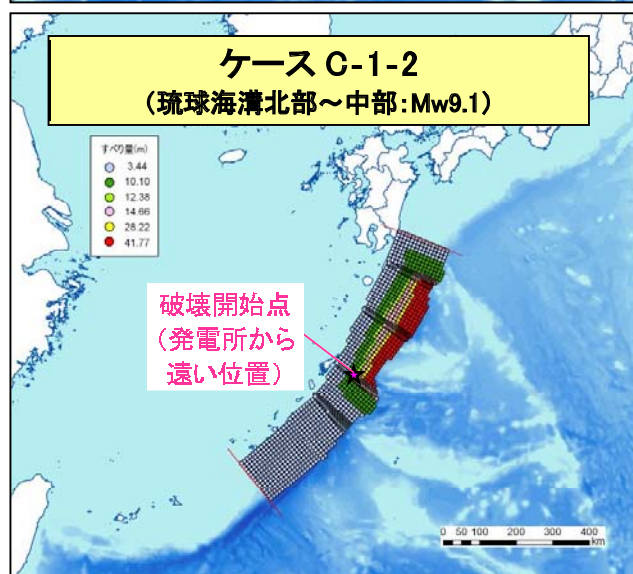
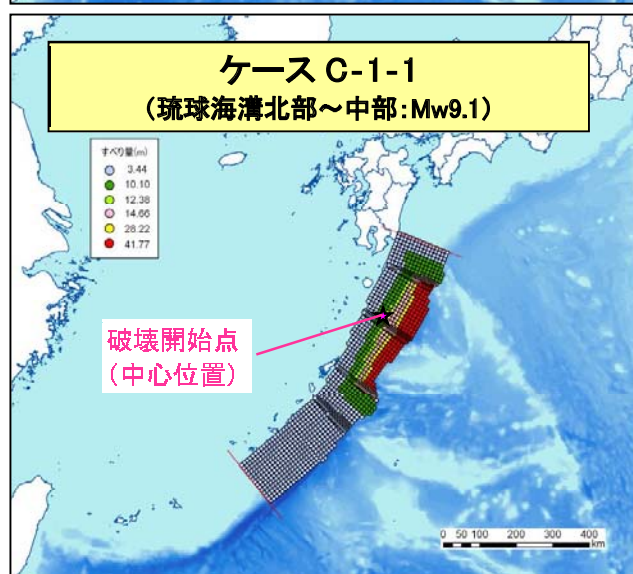
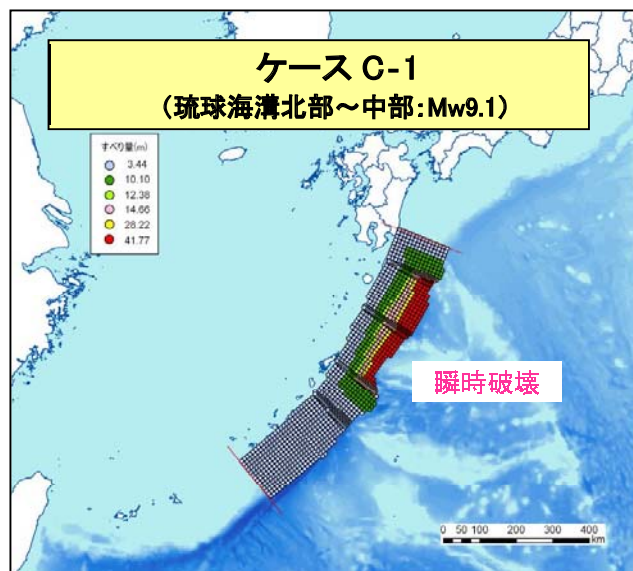
第1.2-7図(2) 琉球海溝の津波波源
(分析結果に基づく津波波源:不確かさケース①)



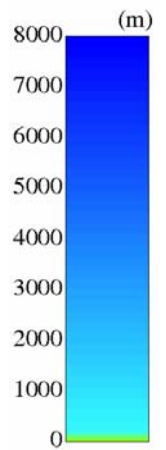
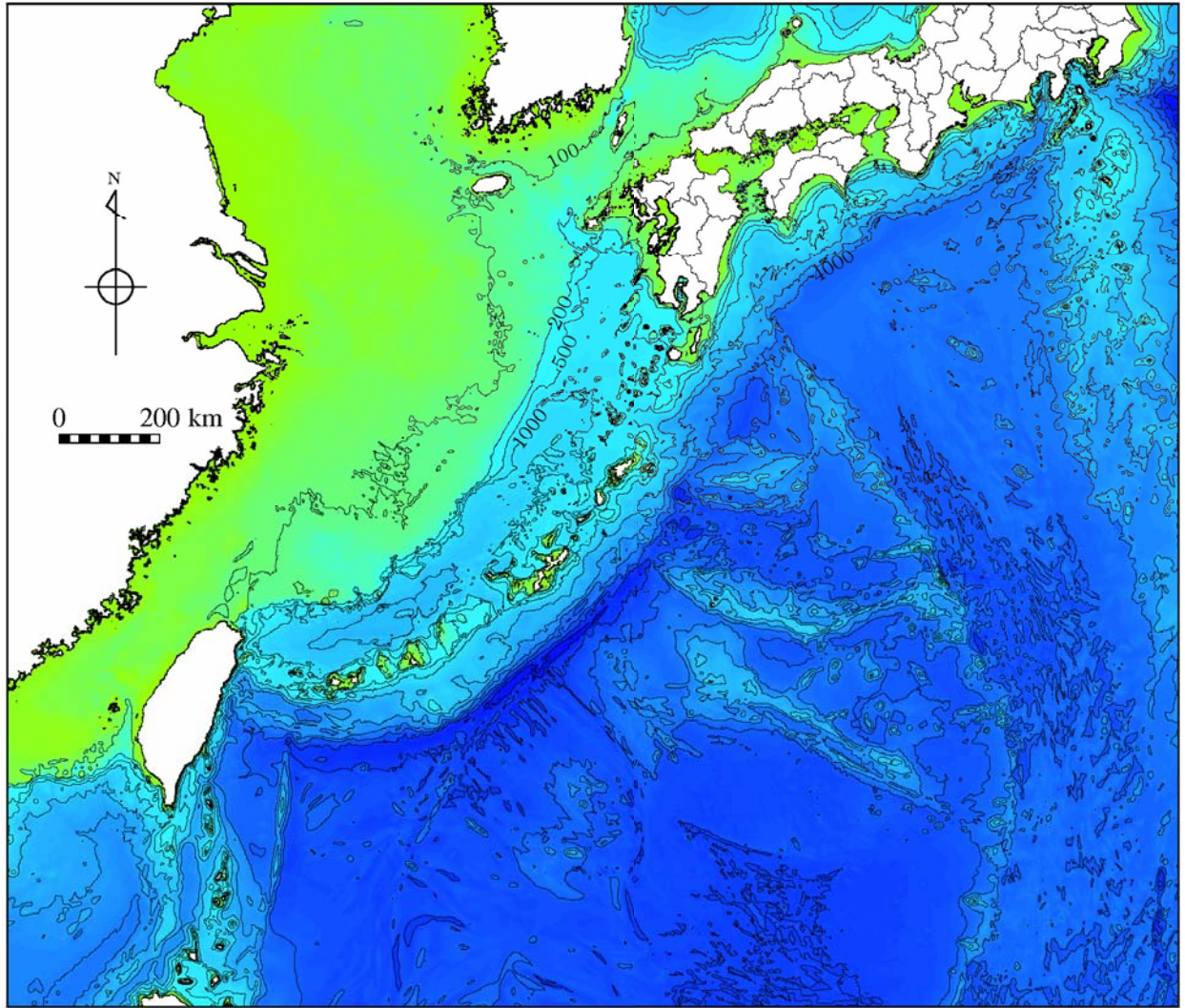
第1.2-7図(3) 琉球海溝の津波波源
(分析結果に基づく津波波源:不確かさケース②)



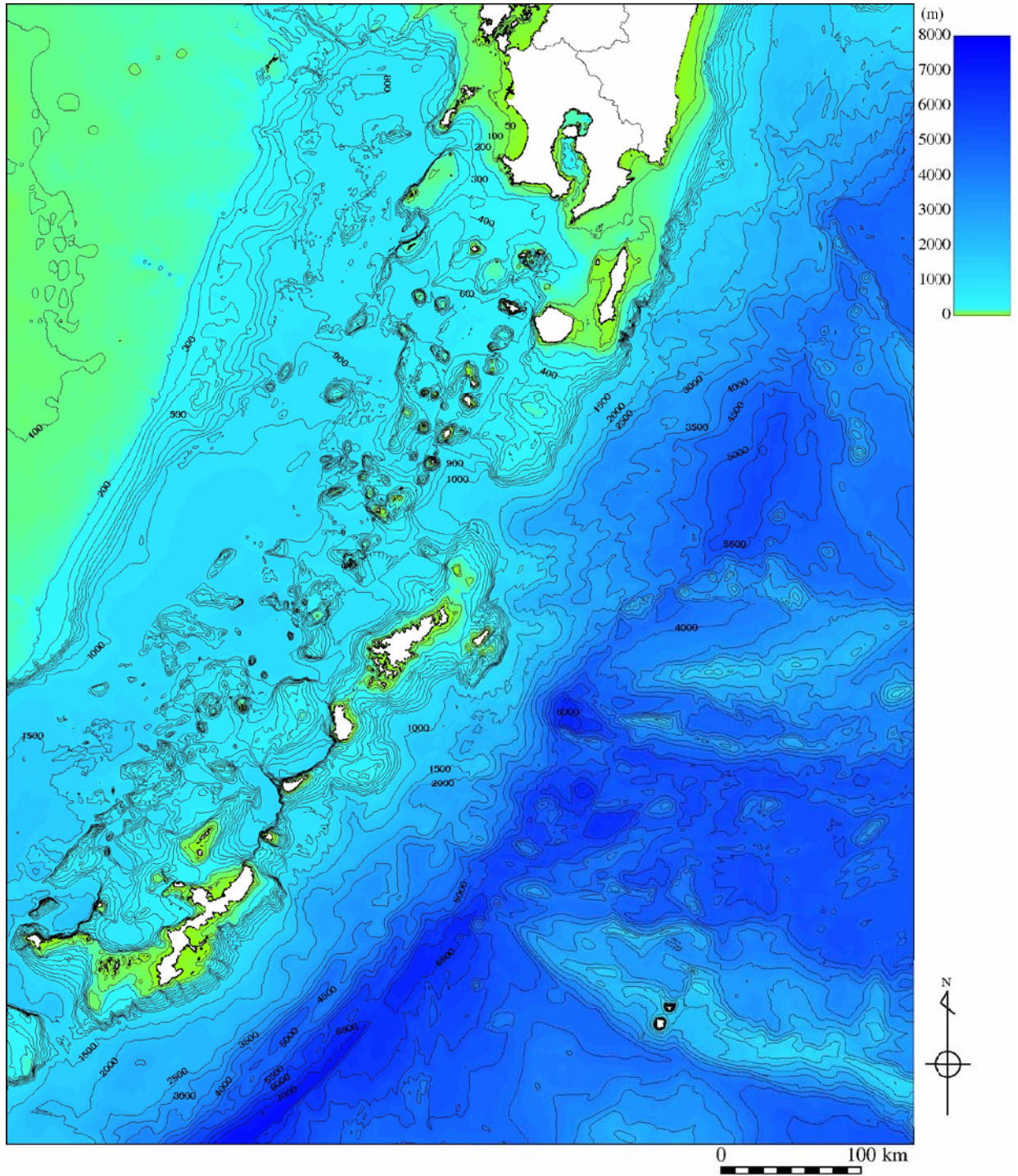
第1.2-8図 琉球海溝北部～琉球海溝中部を波源とした津波の伝ば過程



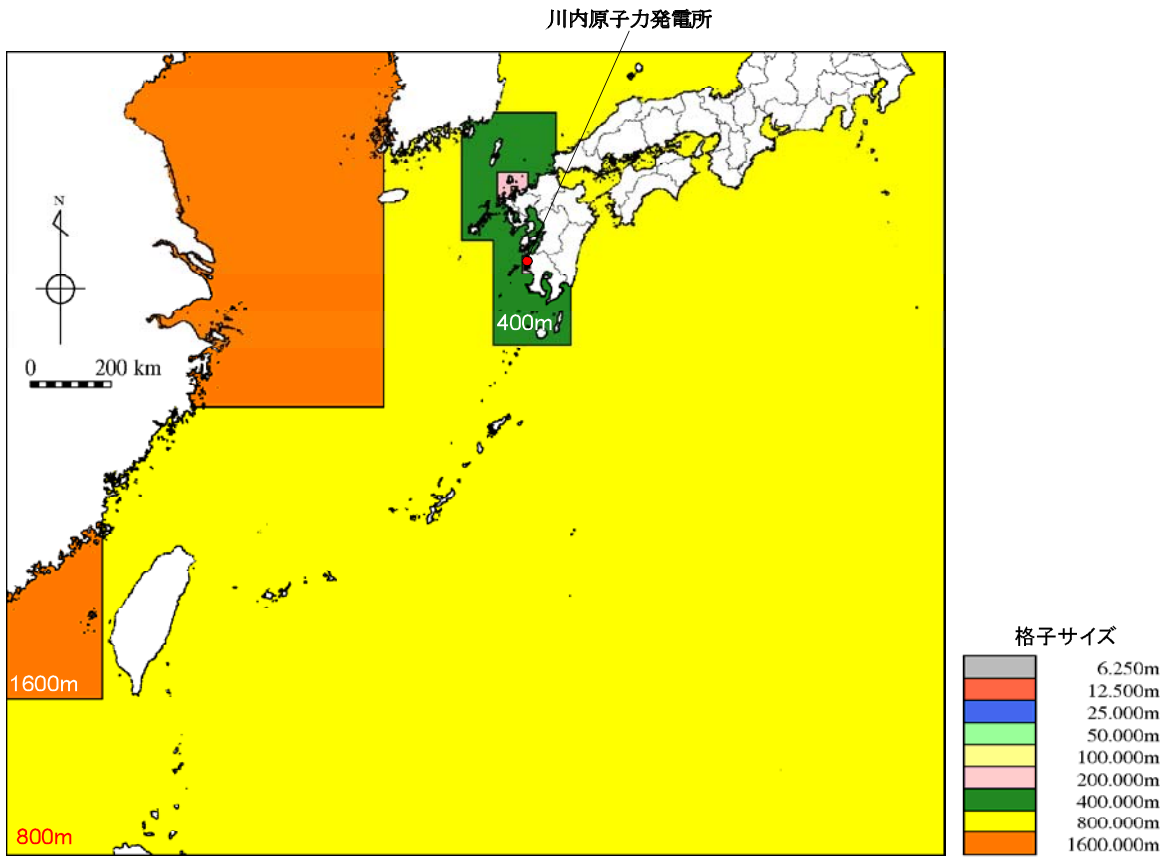
第1.2-9図 琉球海溝の津波波源
(領域境界を越えて固着域が破壊する津波波源)



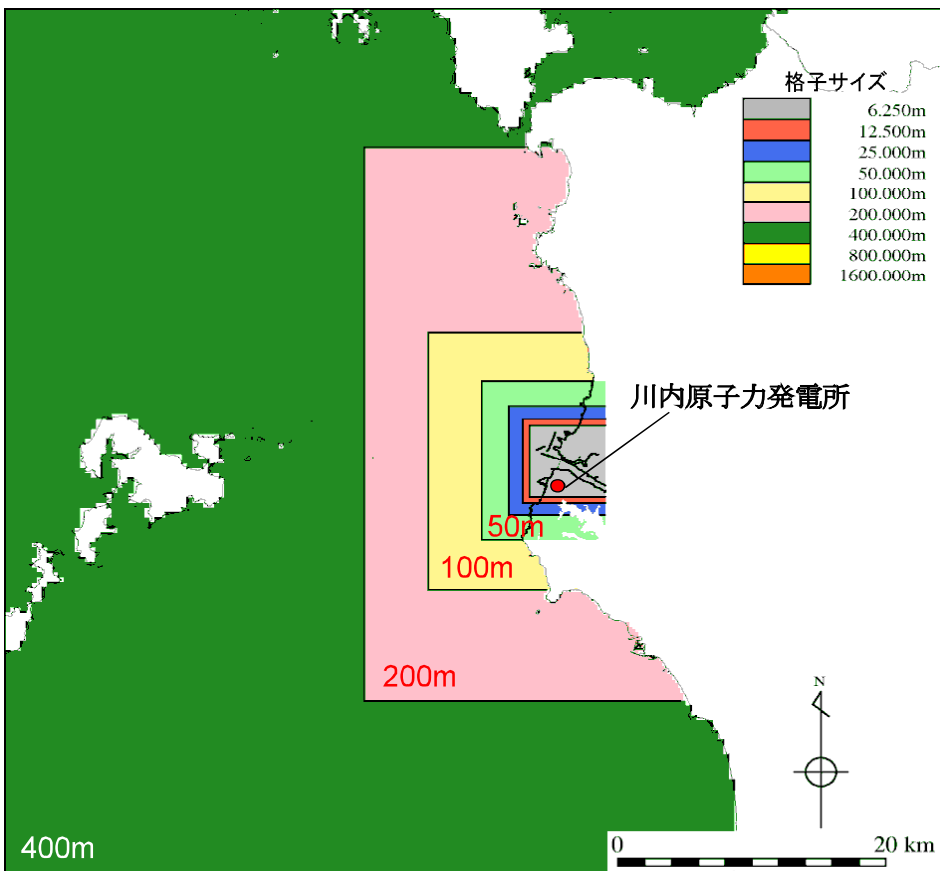
第1.2-10図(1) 海底地形(計算領域全体)



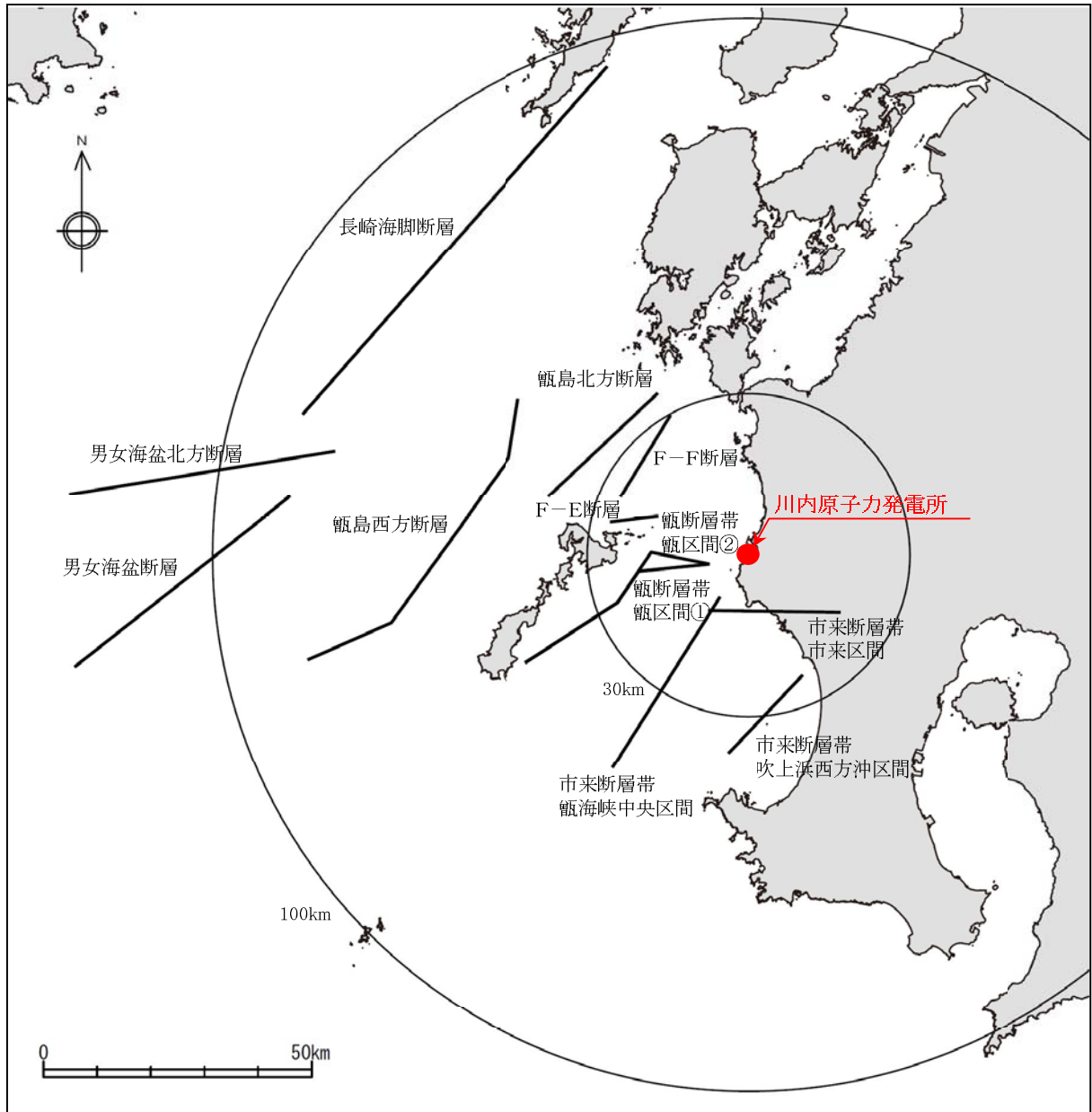
第1.2-10図(2) 海底地形(琉球海溝北部周辺)



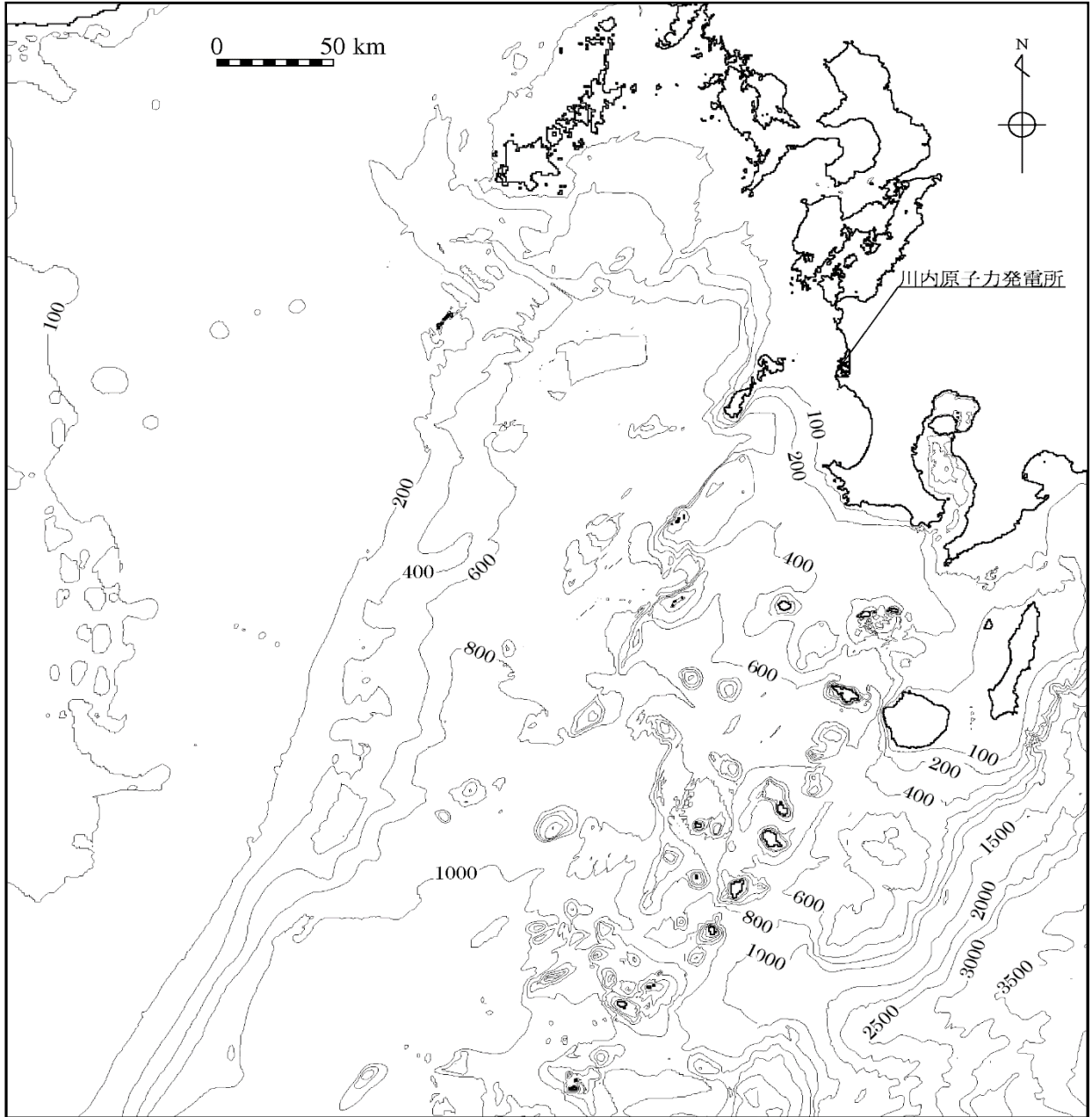
第1.2-11図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



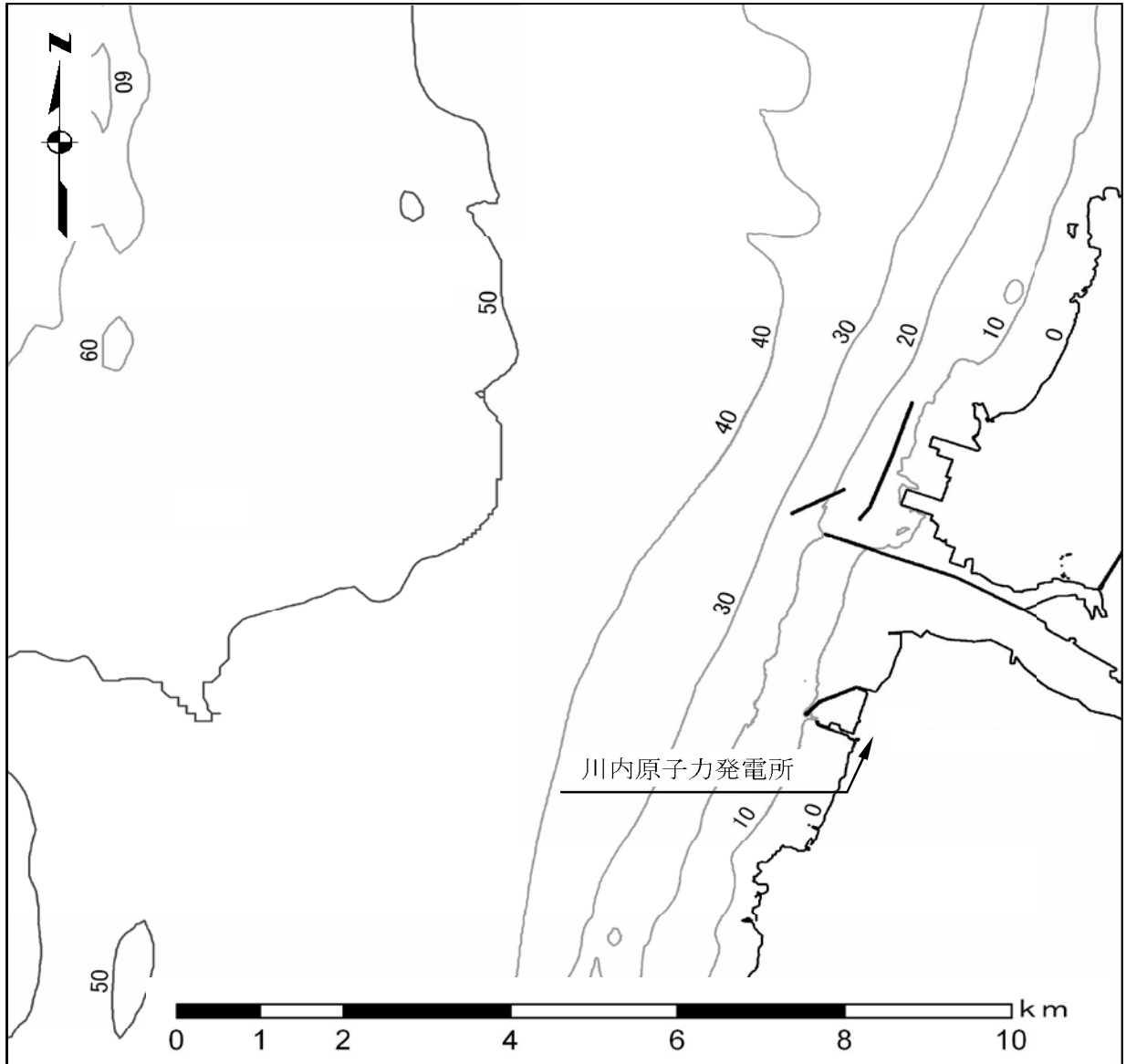
第1.2-11図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



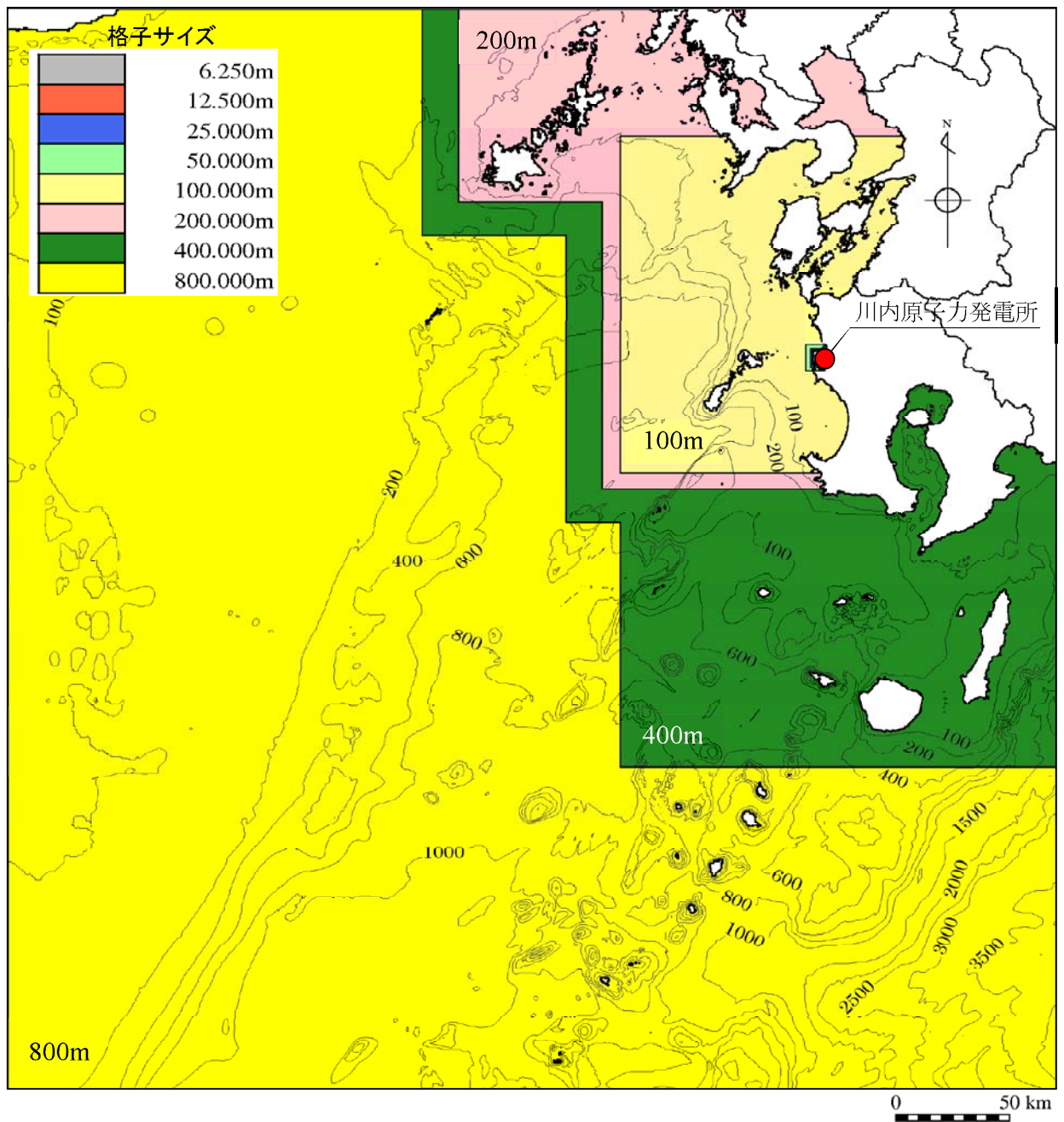
第1.2-12図 敷地周辺の海域活断層の津波波源



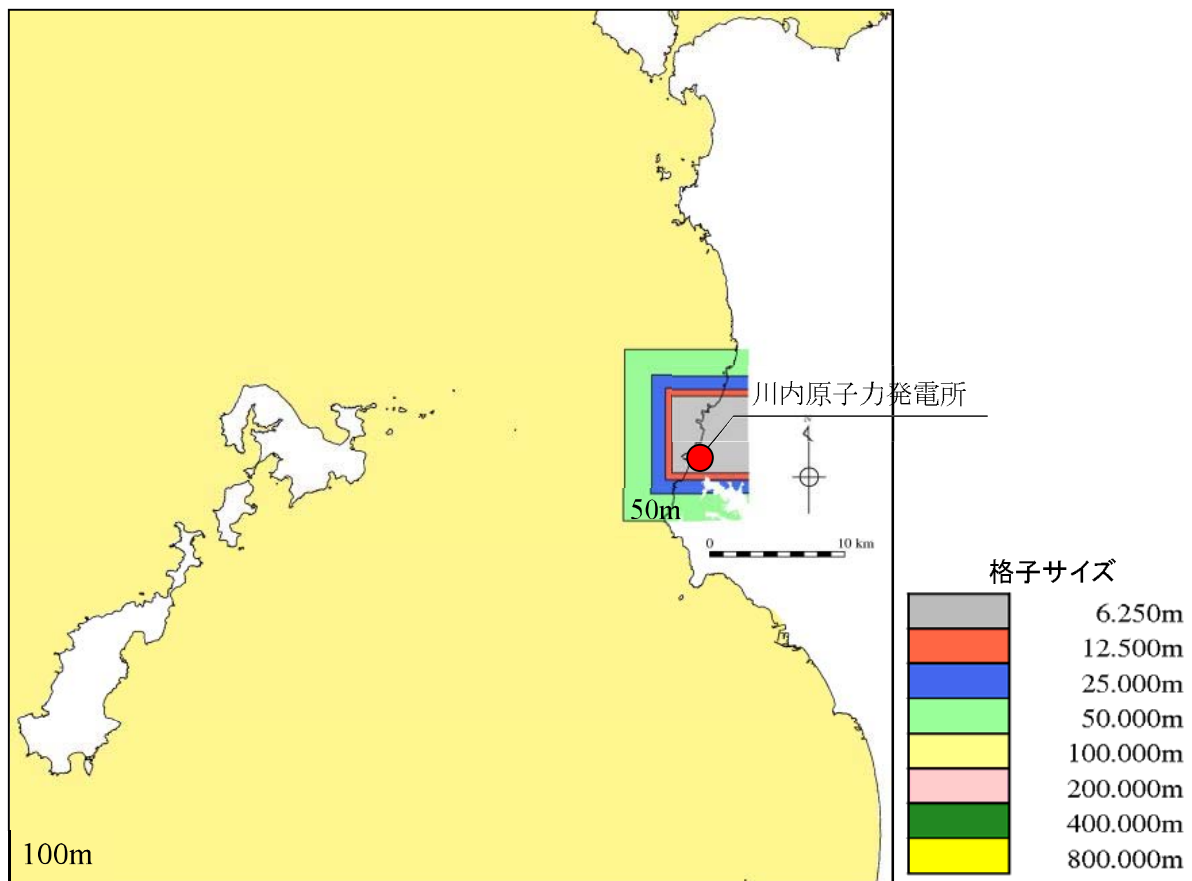
第1.2-13図(1) 海底地形(計算領域全体)



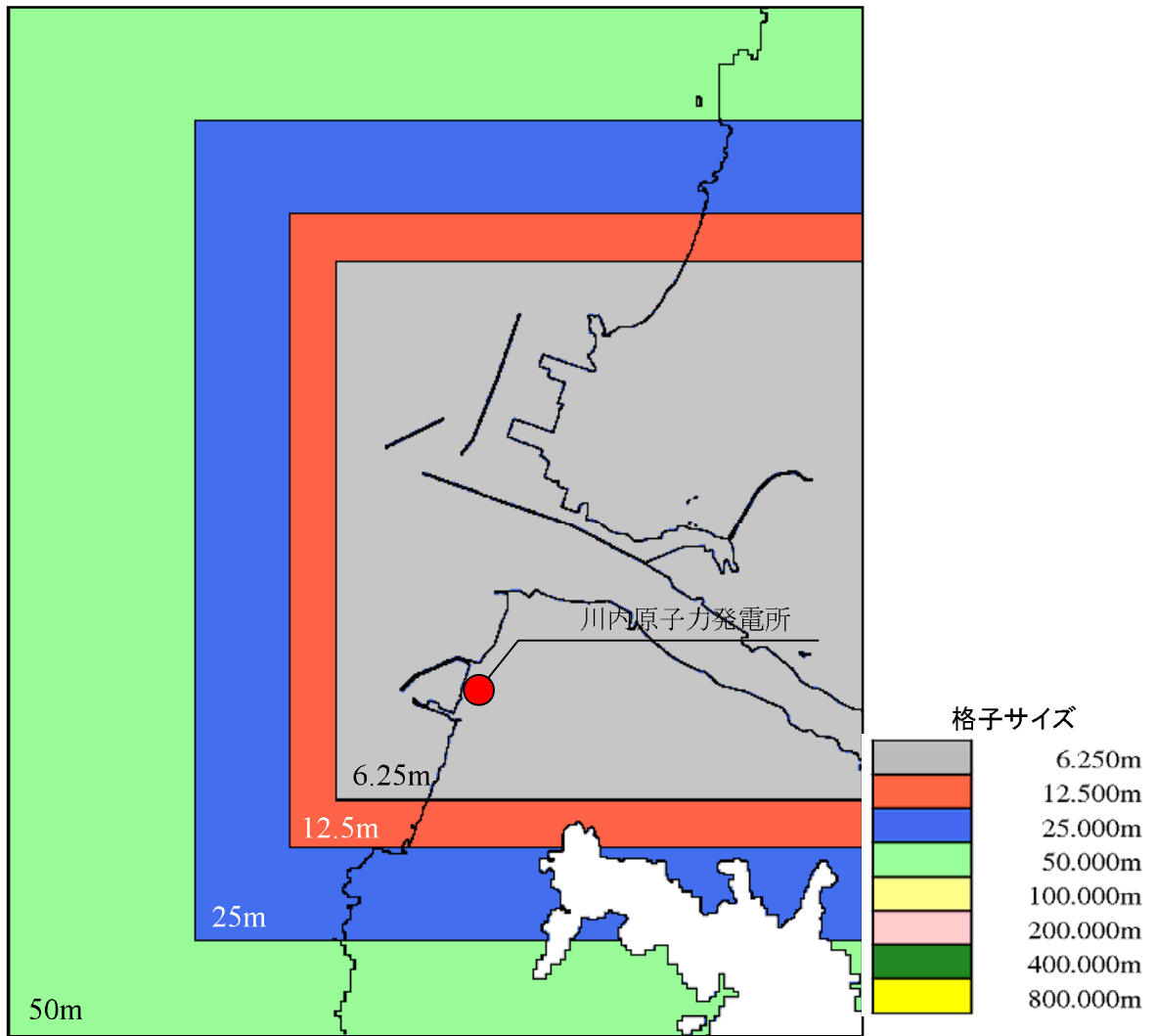
第1.2-13図(2) 海底地形(敷地近傍海域)



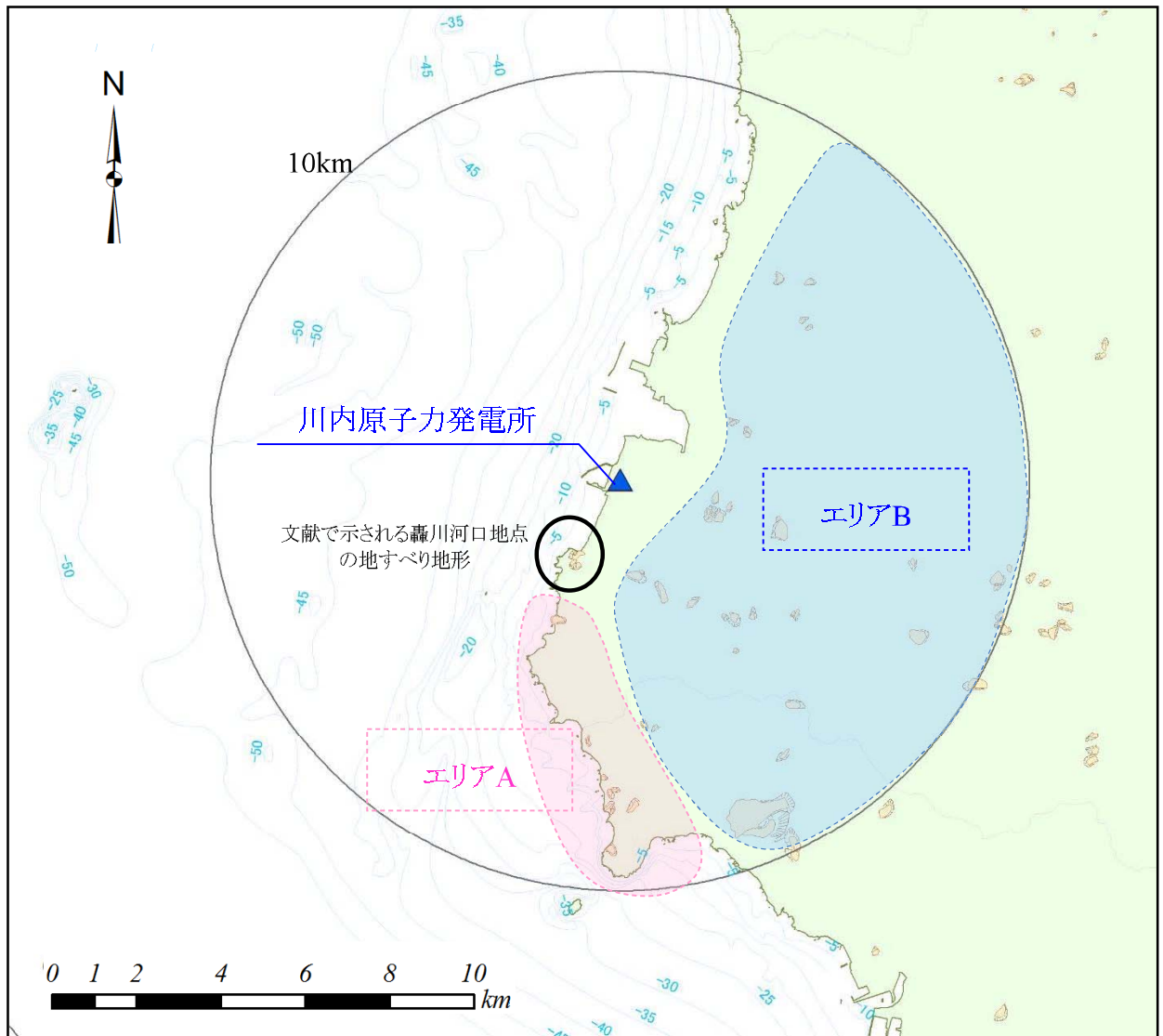
第1.2-14図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



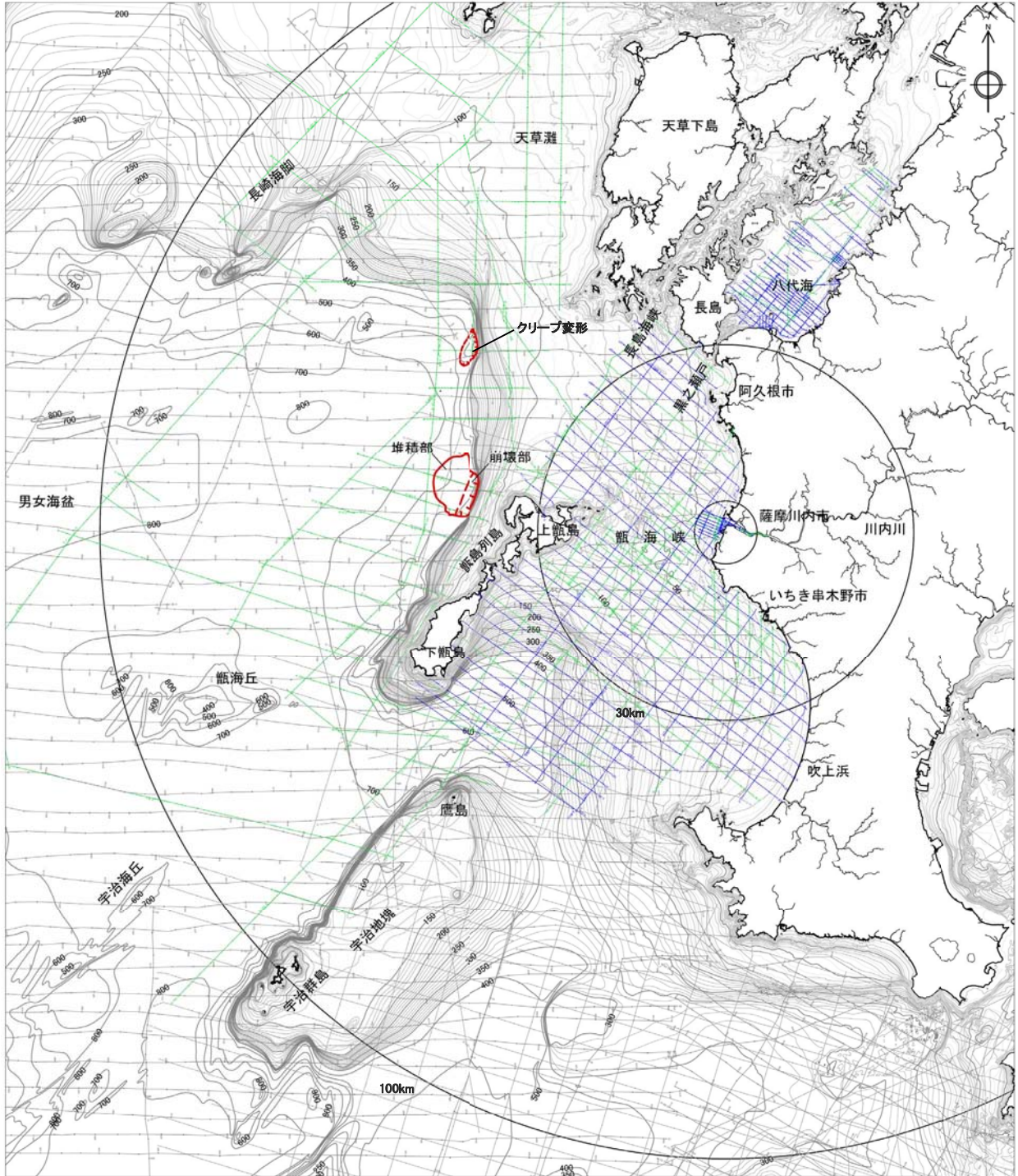
第1.2-14図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



第1.2-14図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-15図 沿岸陸域の地すべり地形の位置



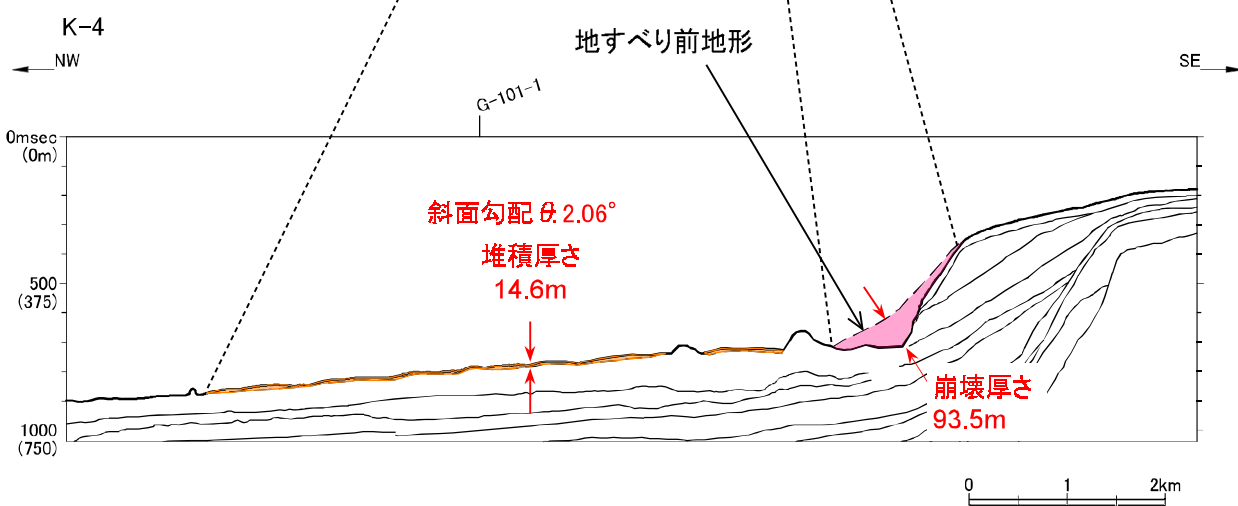
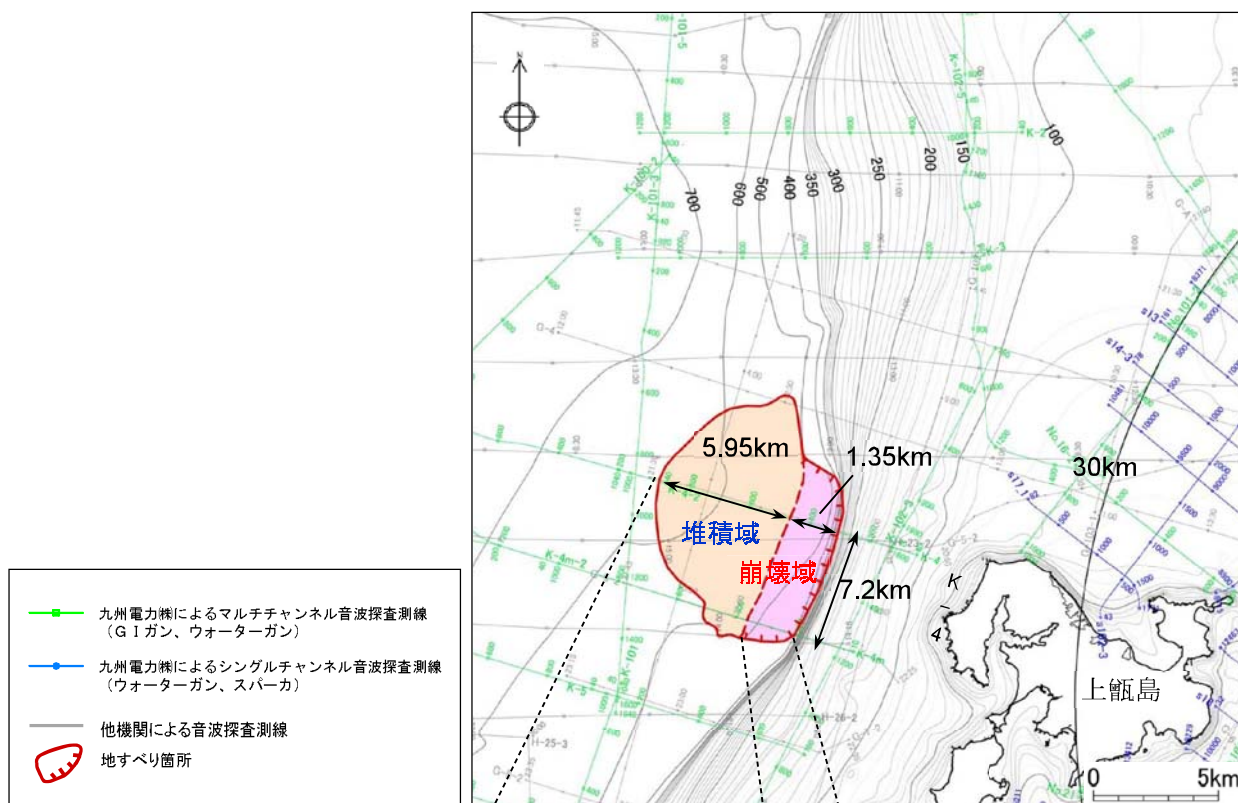
- 凡例
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
 - 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スパーカ)
 - 他機関による音波探査測線
 - 地すべり箇所

水深線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿兒島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。

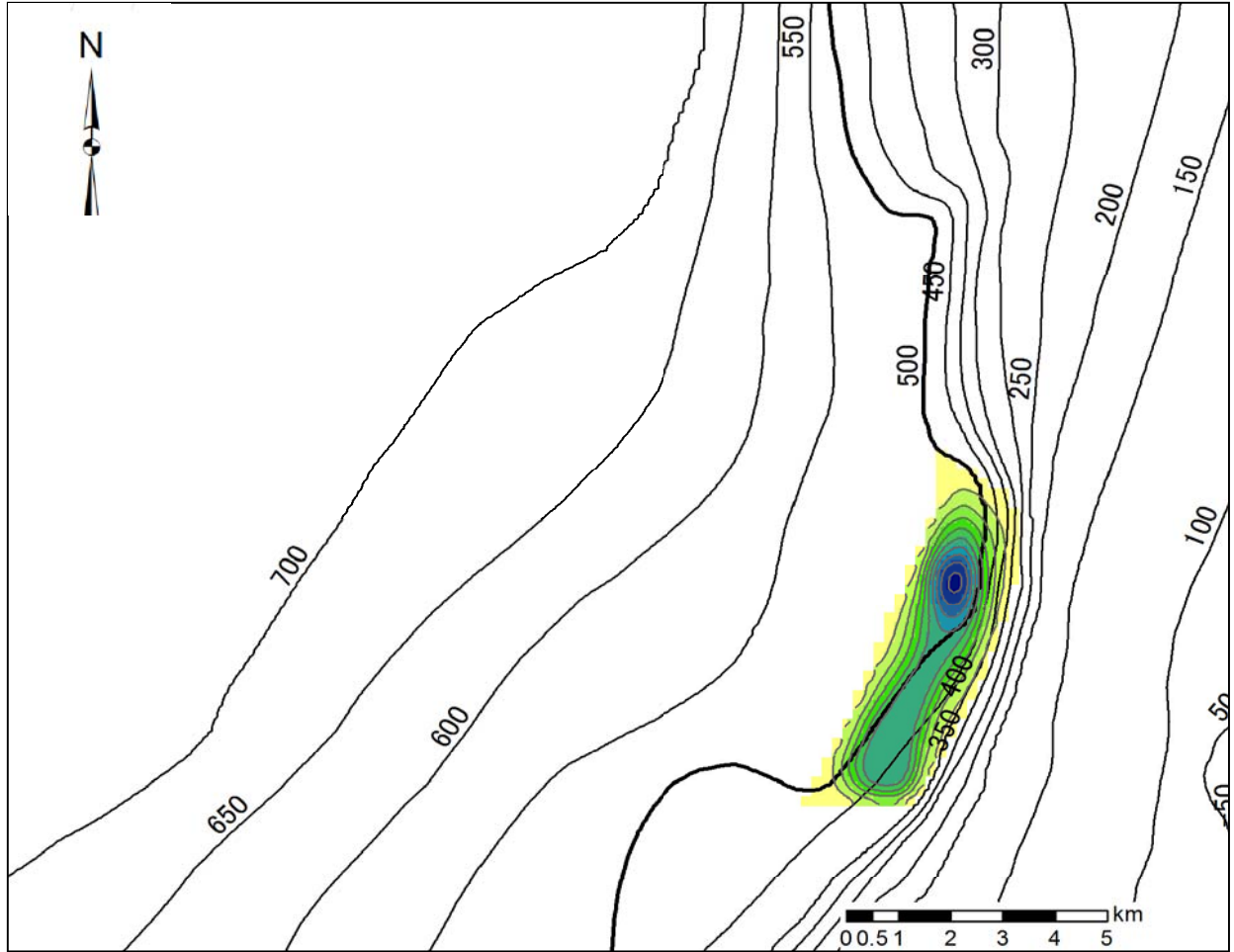
(注) 海域の地形コンターの数字は深度を示す



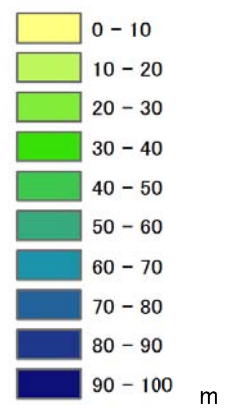
第1.2-16図 海底地すべり地形の位置



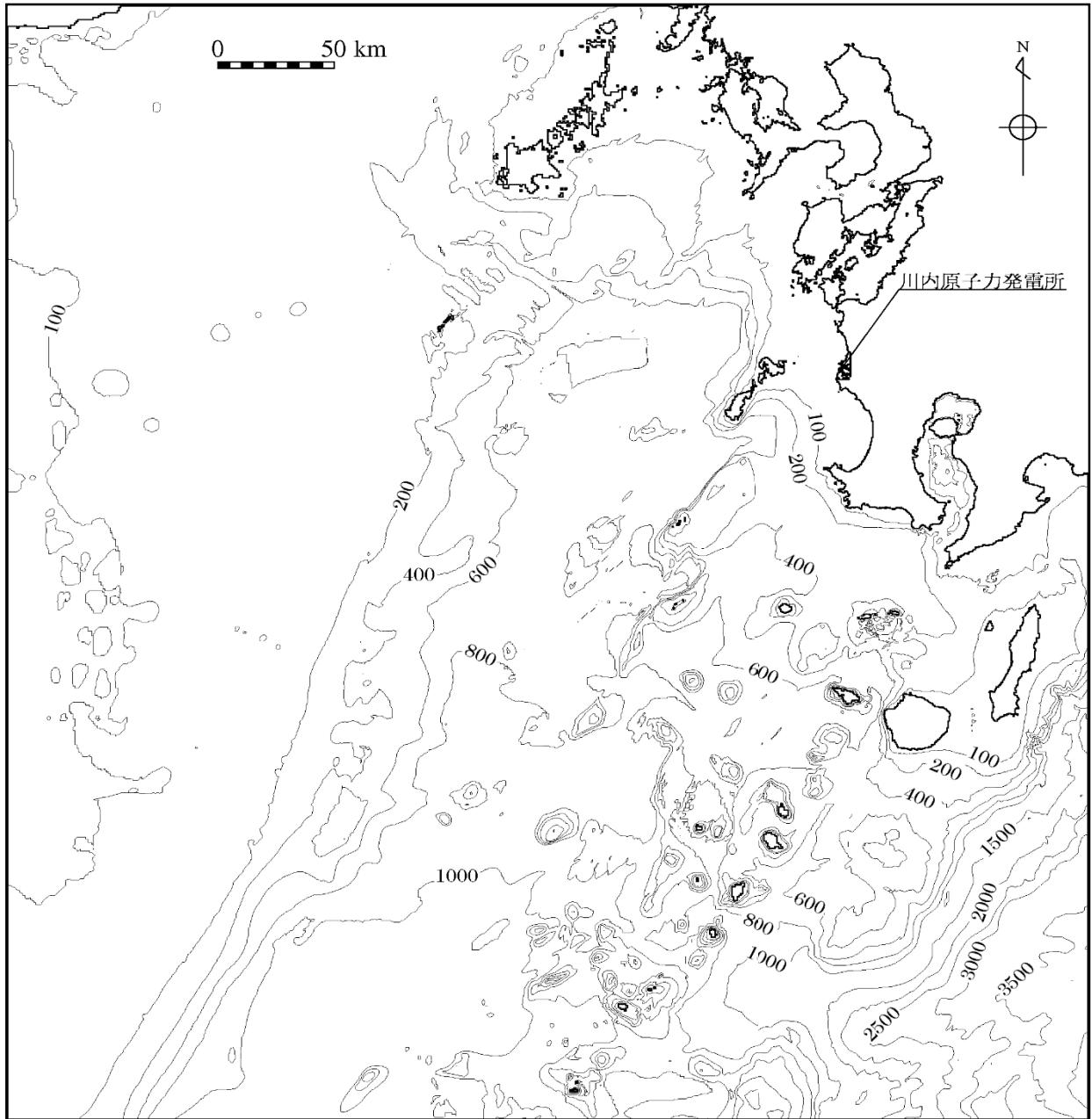
第1.2-17図(1) 海底地すべりモデル (Watts et al. (2005) の予測式に基づく手法)



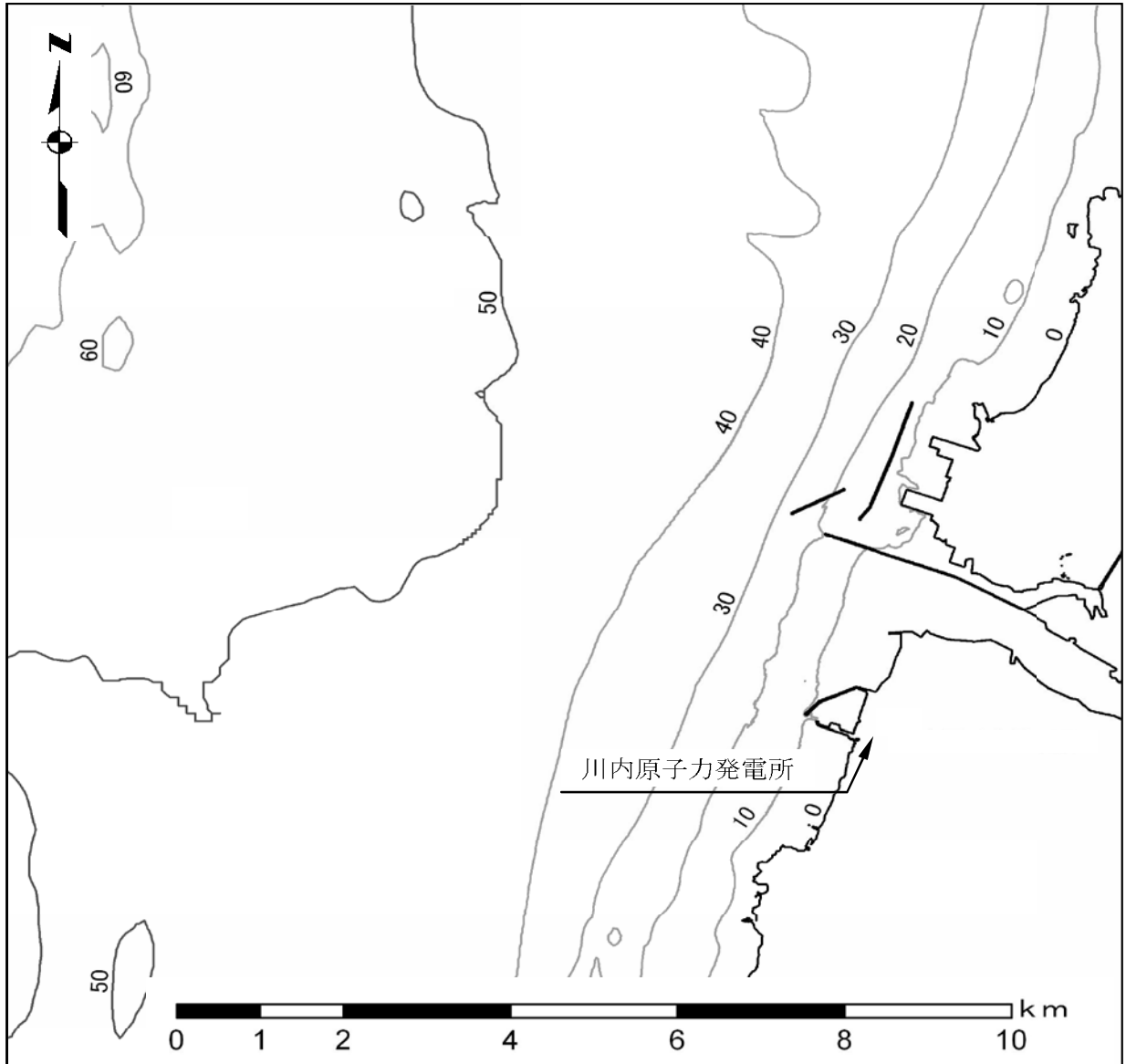
地すべり地塊厚さ



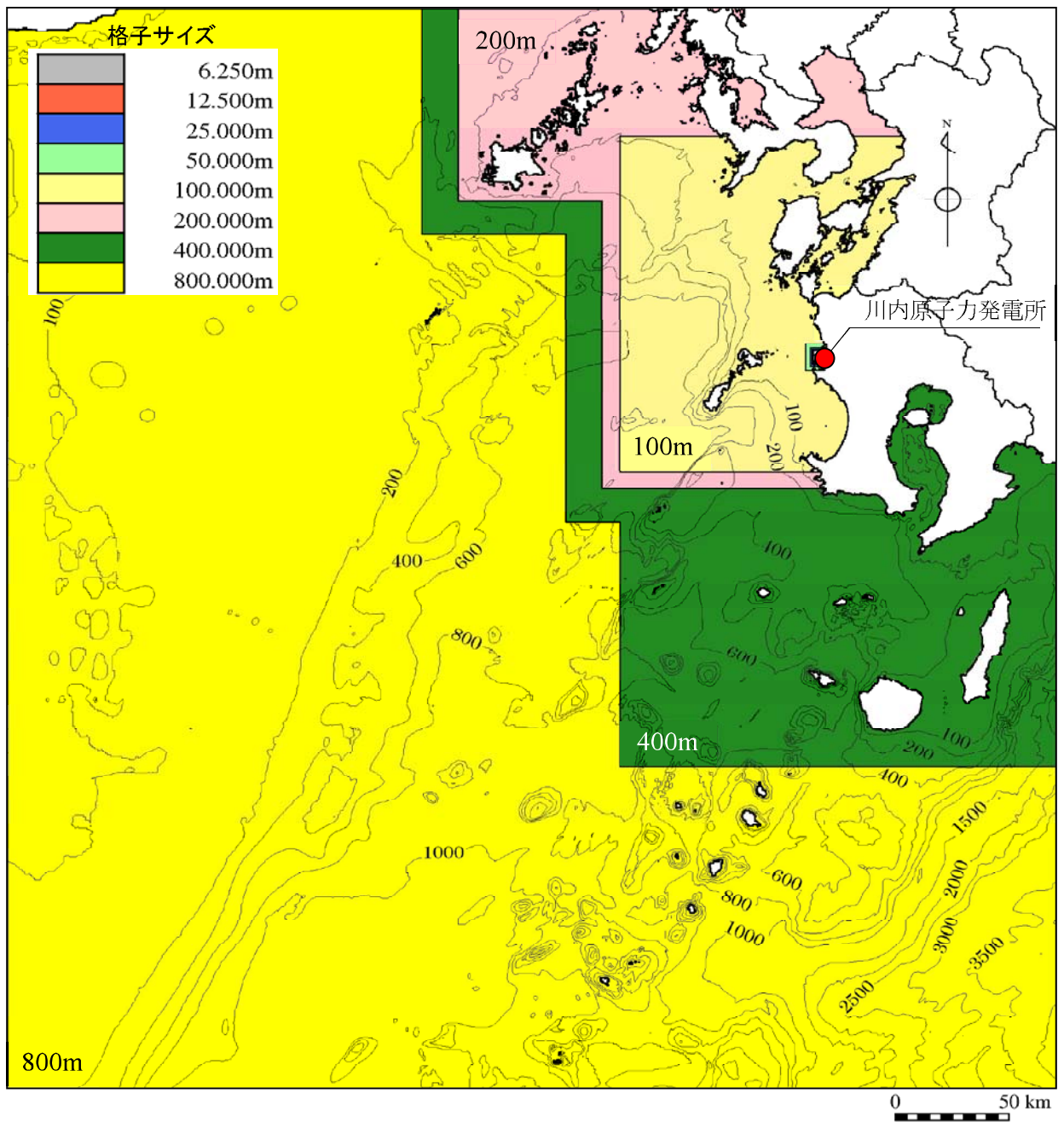
第1.2-17図(2) 海底地すべりモデル
(二層流モデルに基づく手法)



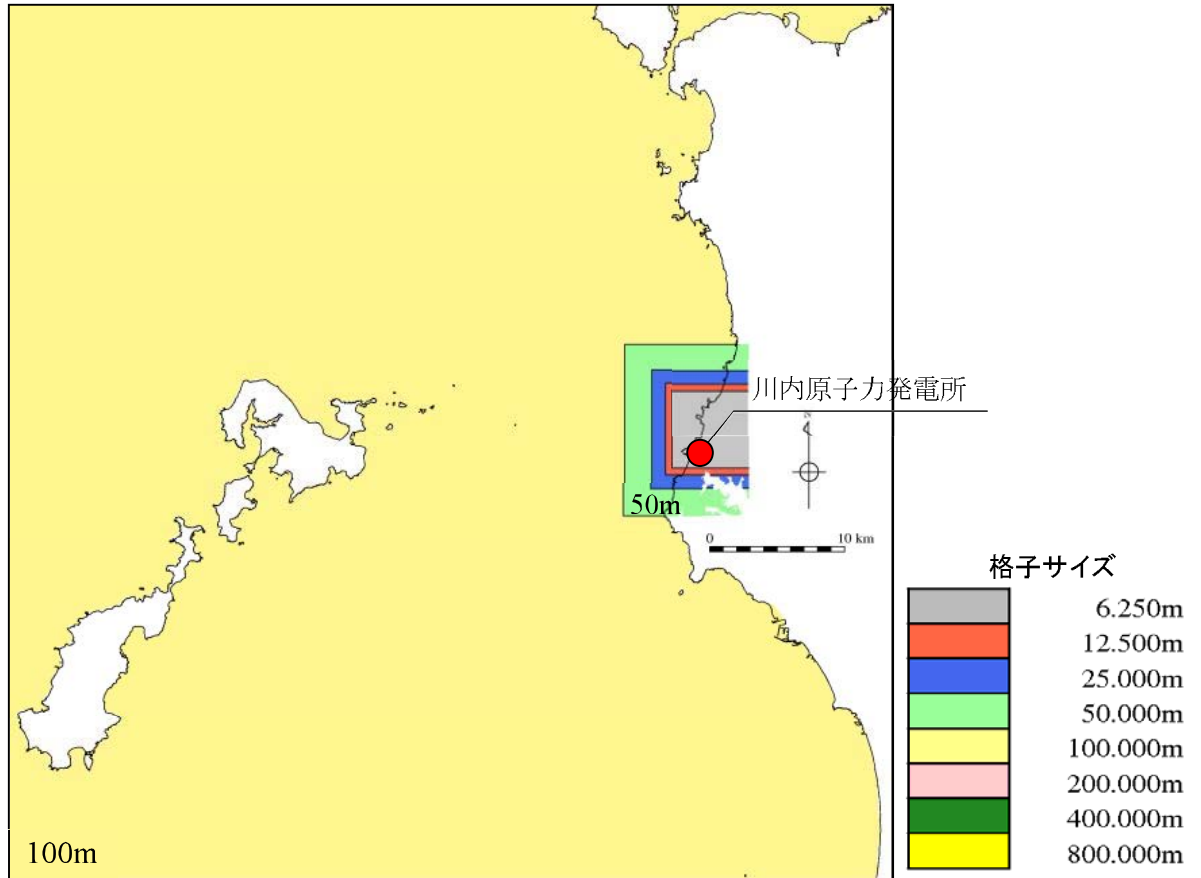
第1.2-18図(1) 海底地形(計算領域全体)



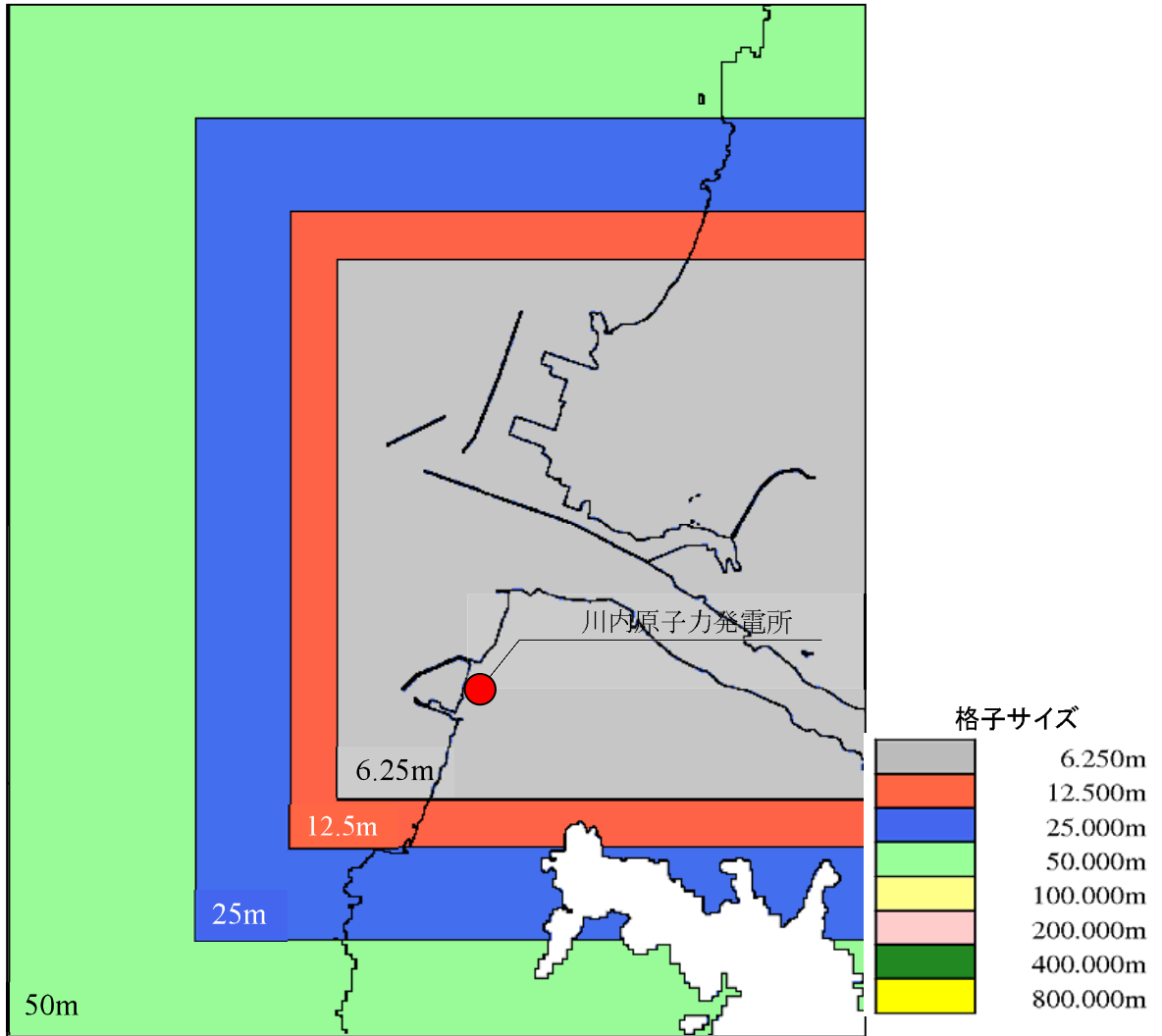
第1.2-18図(2) 海底地形(敷地近傍海域)



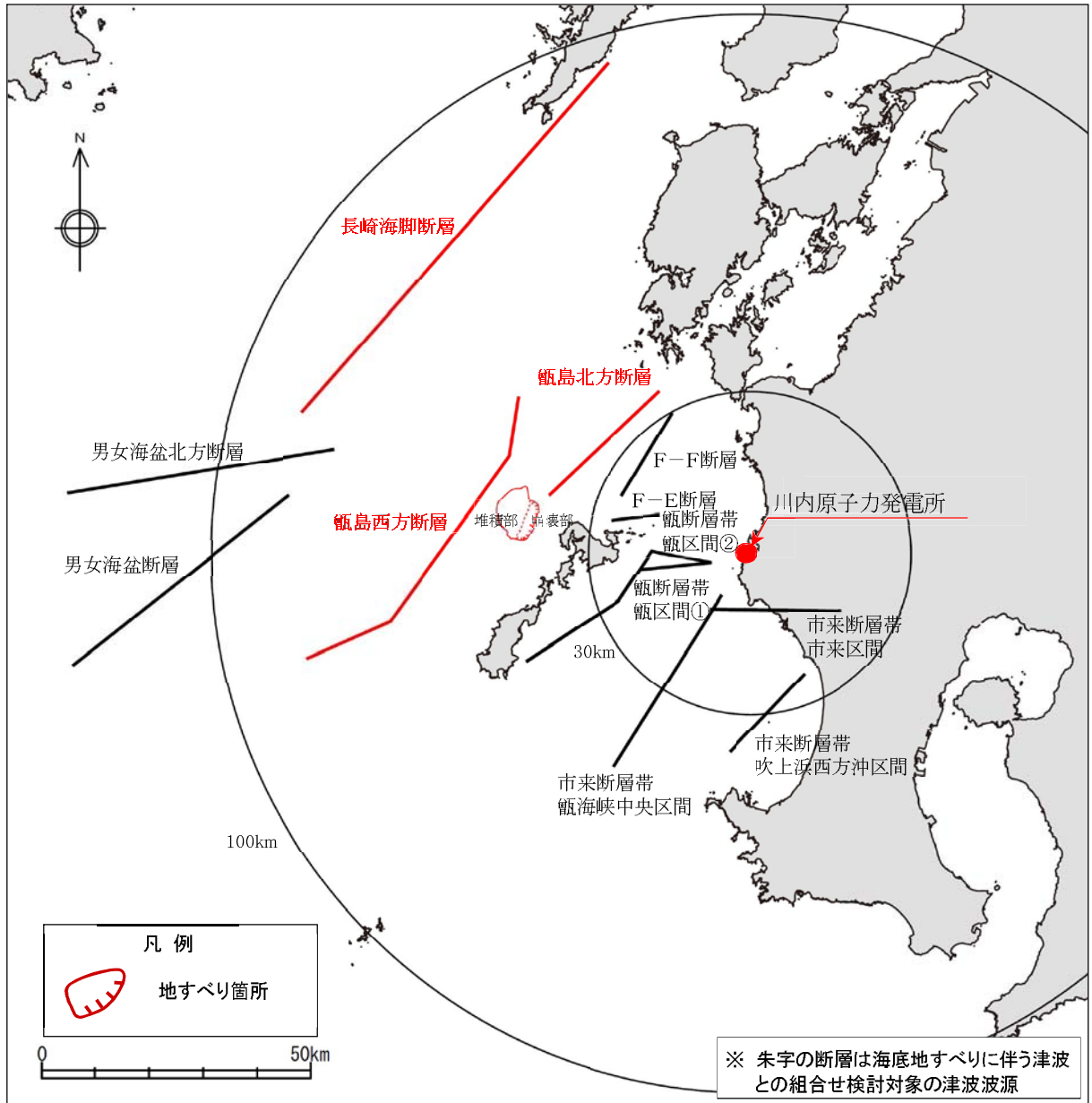
第1.2-19図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



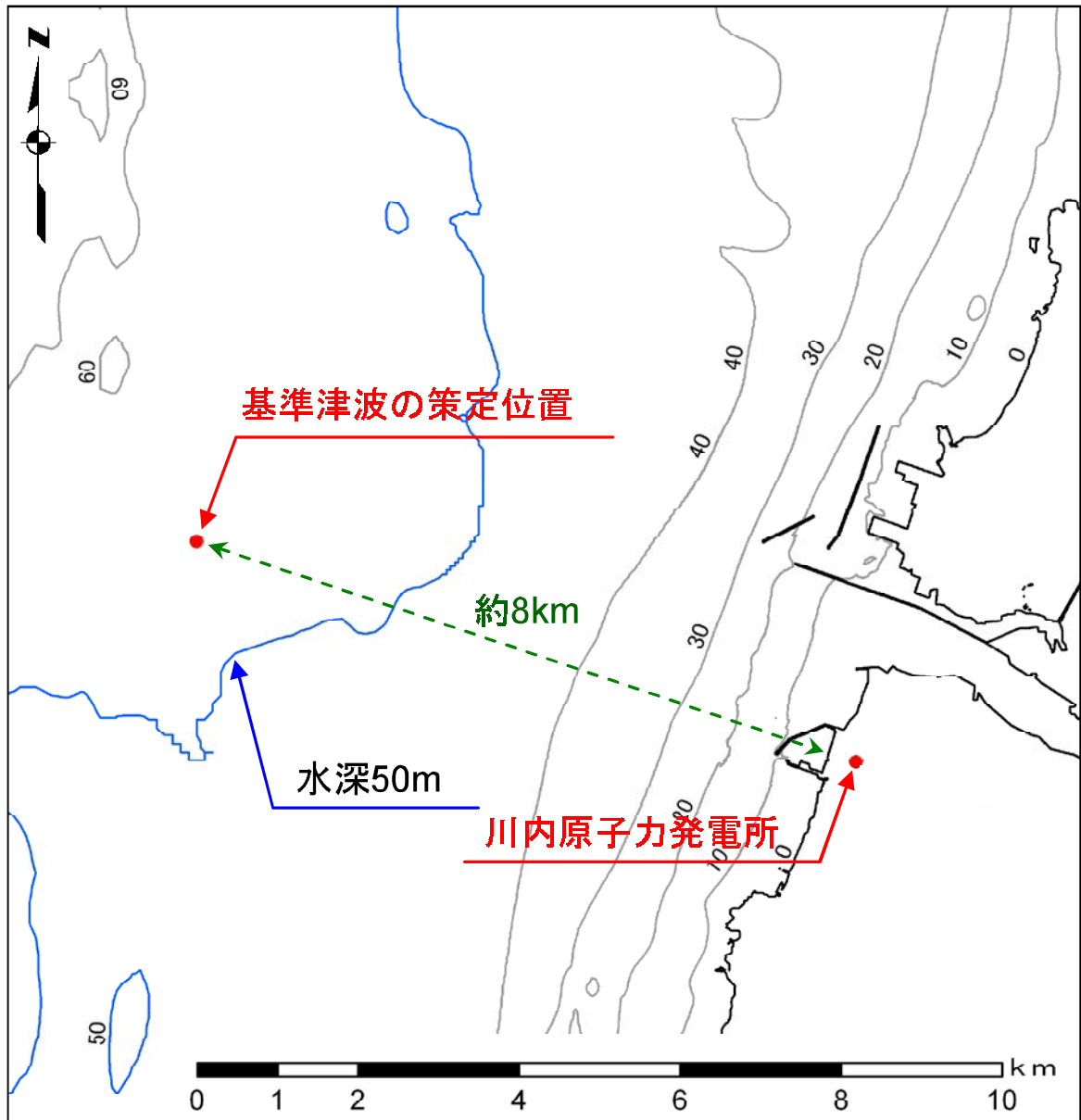
第1.2-19図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



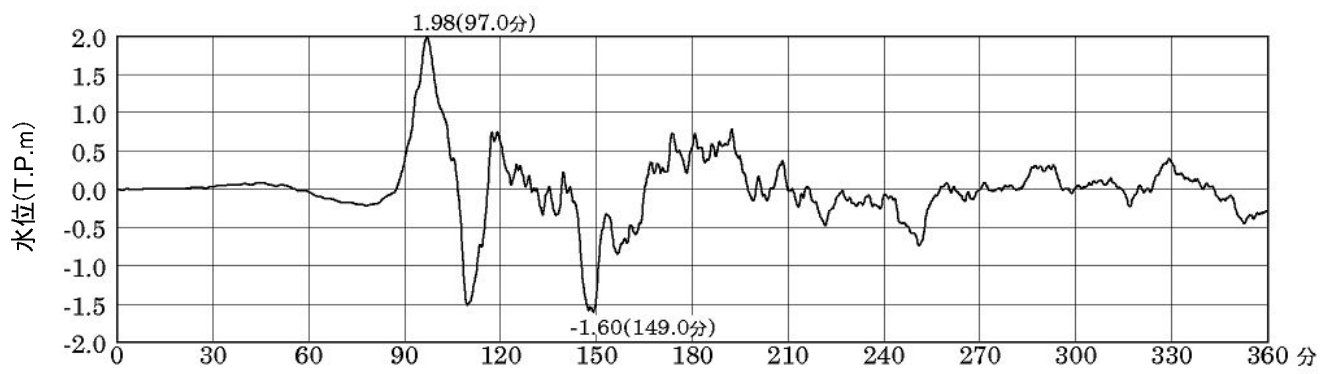
第1.2-19図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-20図 敷地周辺の海域活断層の津波波源及び海底地すべりの位置



第1.2-21図 基準津波の策定位置



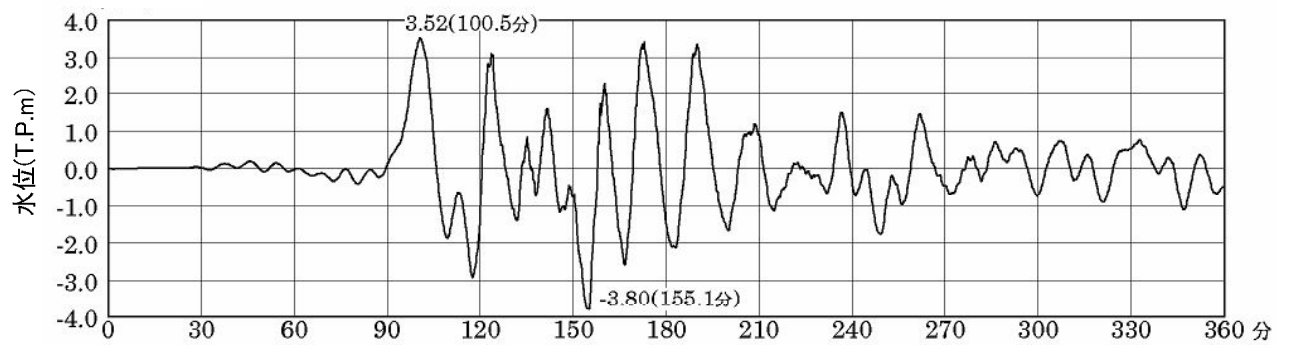
第1.2-22図 基準津波の時刻歴波形(初期潮位:T.P.±0.00m)



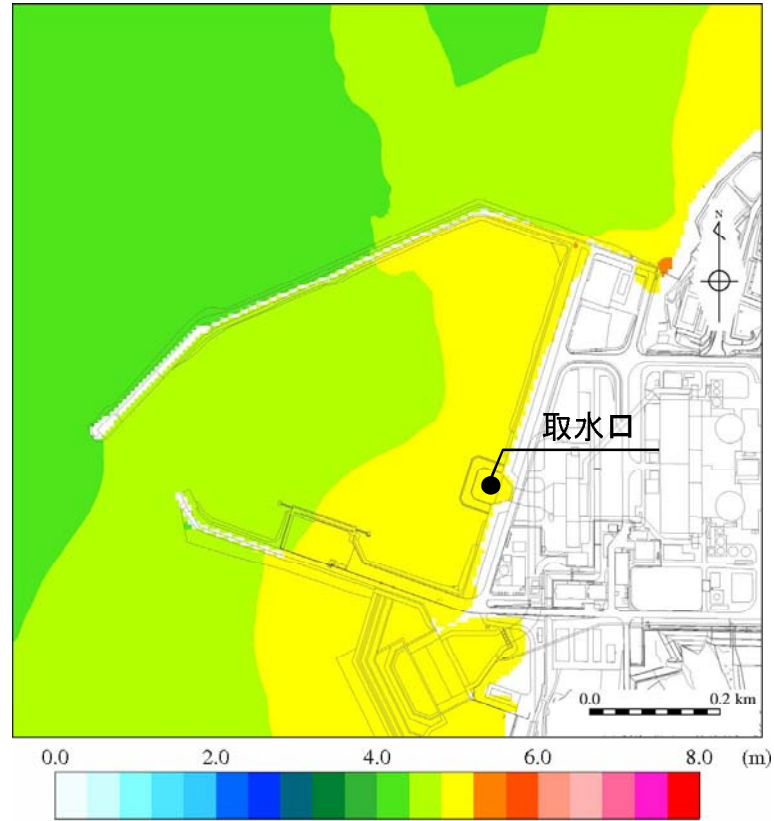
第1.2-23図(1) 基準津波の最大水位上昇量分布
(初期潮位 : T.P.±0.00m)



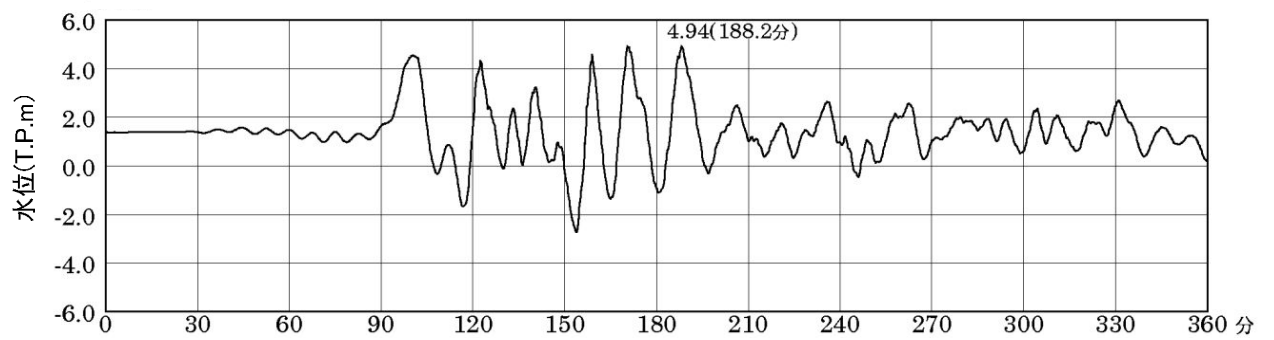
第1.2-23図(2) 基準津波の最大水位下降量分布
(初期潮位 : T.P.±0.00m)



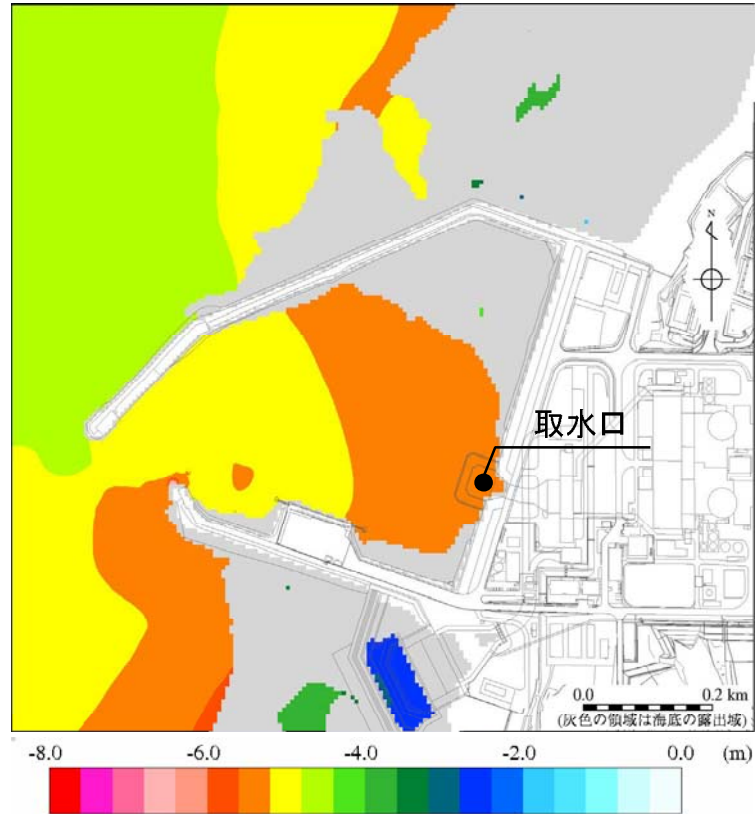
第1.2-23図(3) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(初期潮位 : T.P.±0.00m)



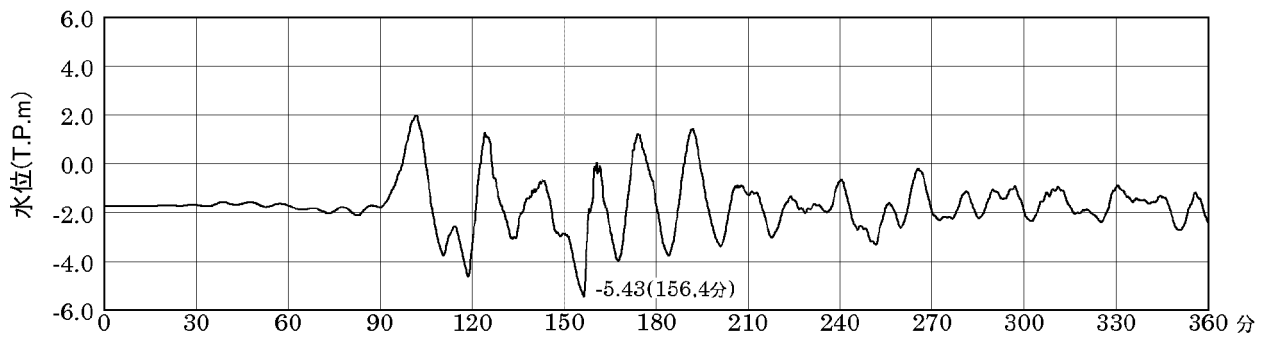
第1.2-24図(1) 基準津波の最高水位分布(朔望平均満潮位を考慮)



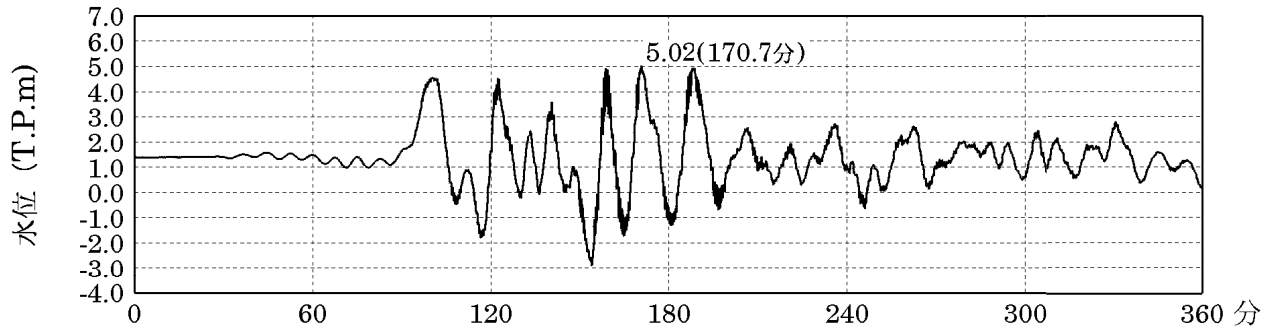
第1.2-24図(2) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均満潮位を考慮)



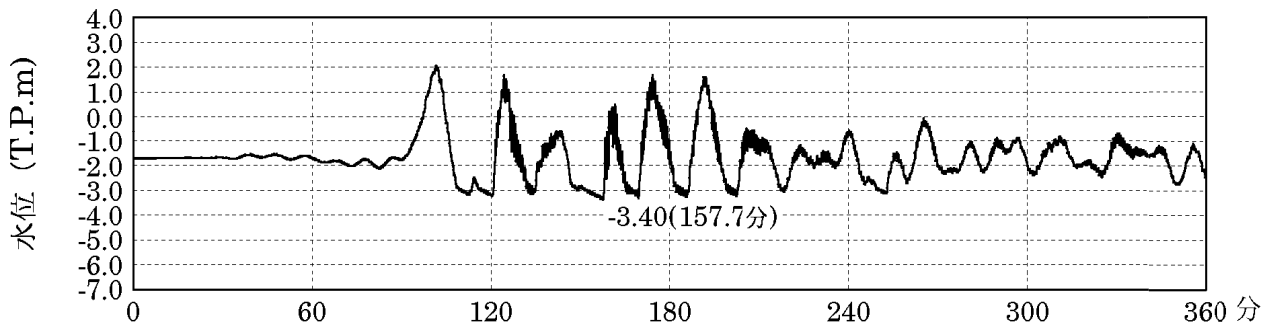
第1.2-24図(3) 基準津波の最低水位分布(朔望平均干潮位を考慮)



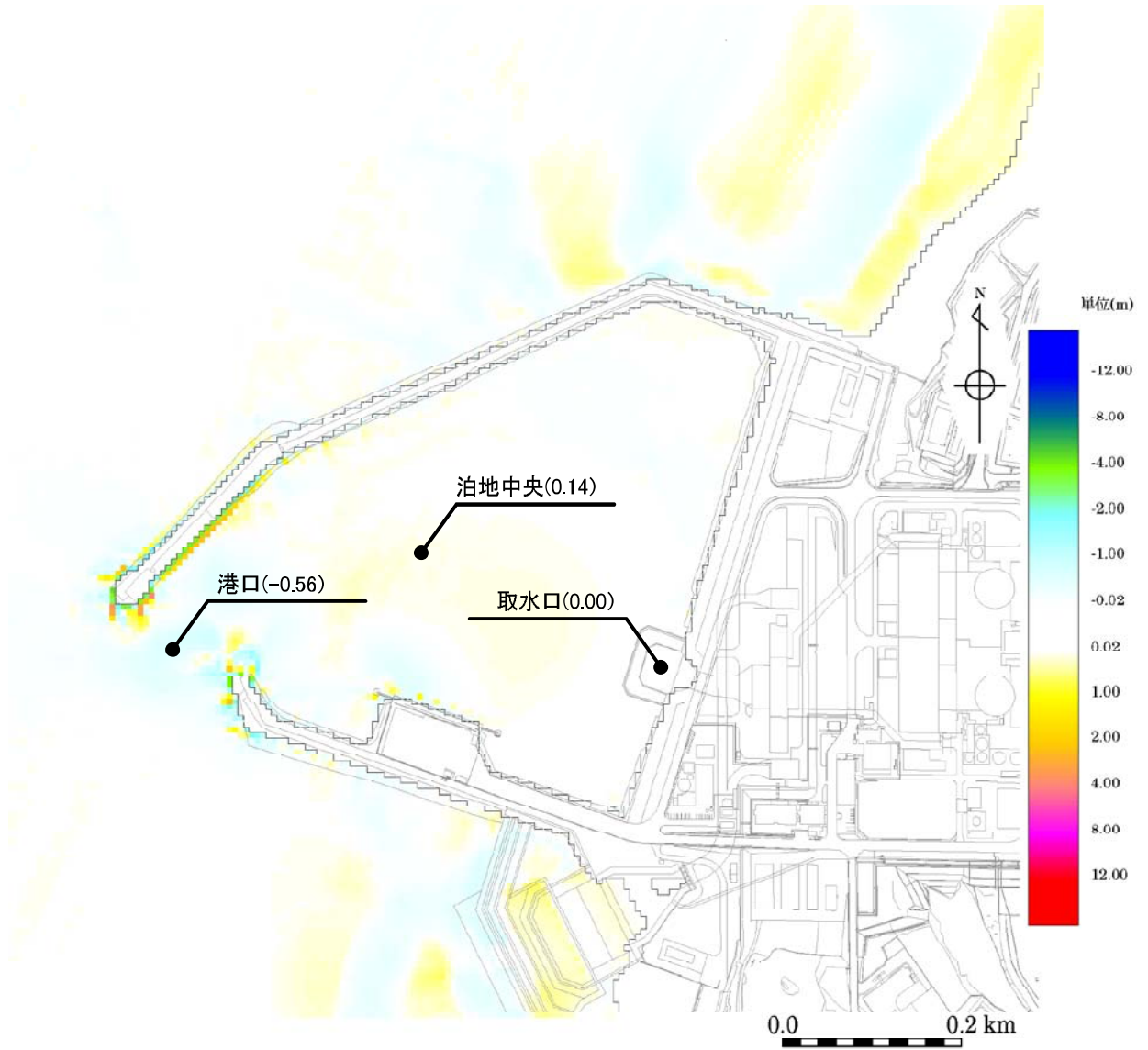
第1.2-24図(4) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均干潮位を考慮)



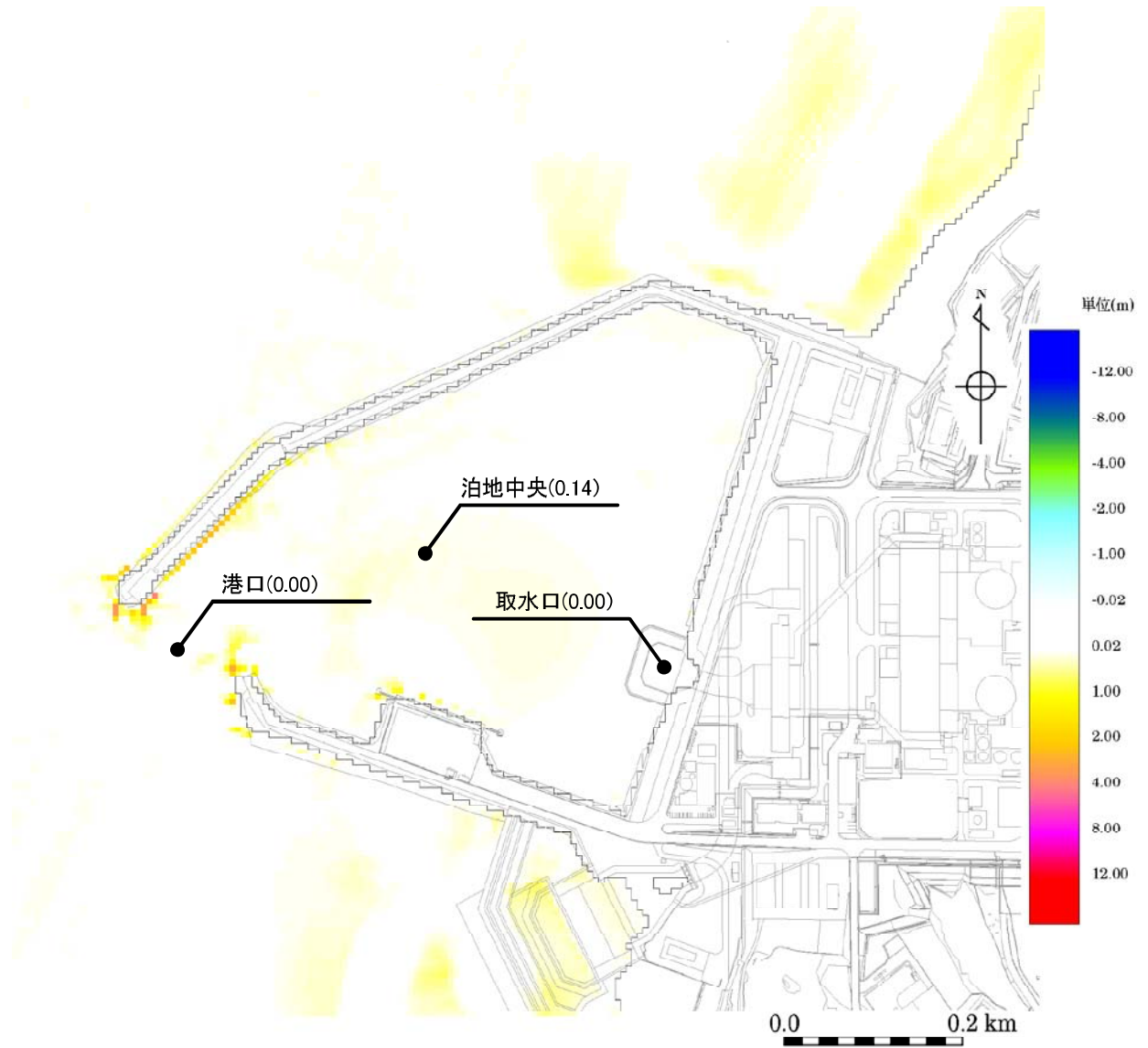
第1.2-26図(1) 取水ピットでの時刻歴波形
 (水位上昇側、朔望平均満潮位を考慮)



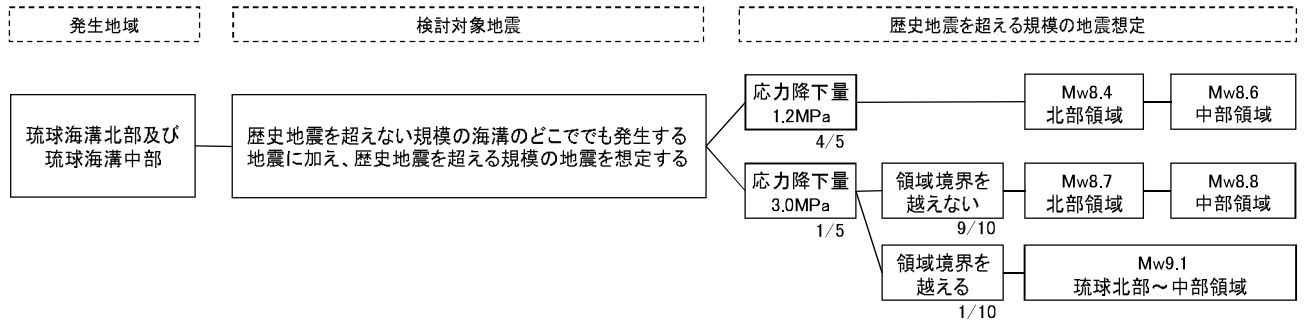
第1.2-26図(2) 取水ピットでの時刻歴波形
 (水位下降側、朔望平均干潮位を考慮)



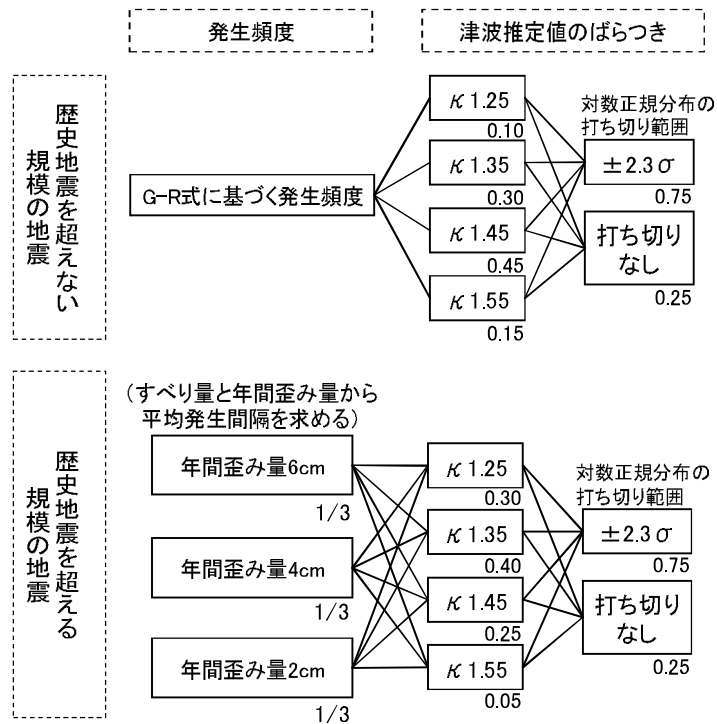
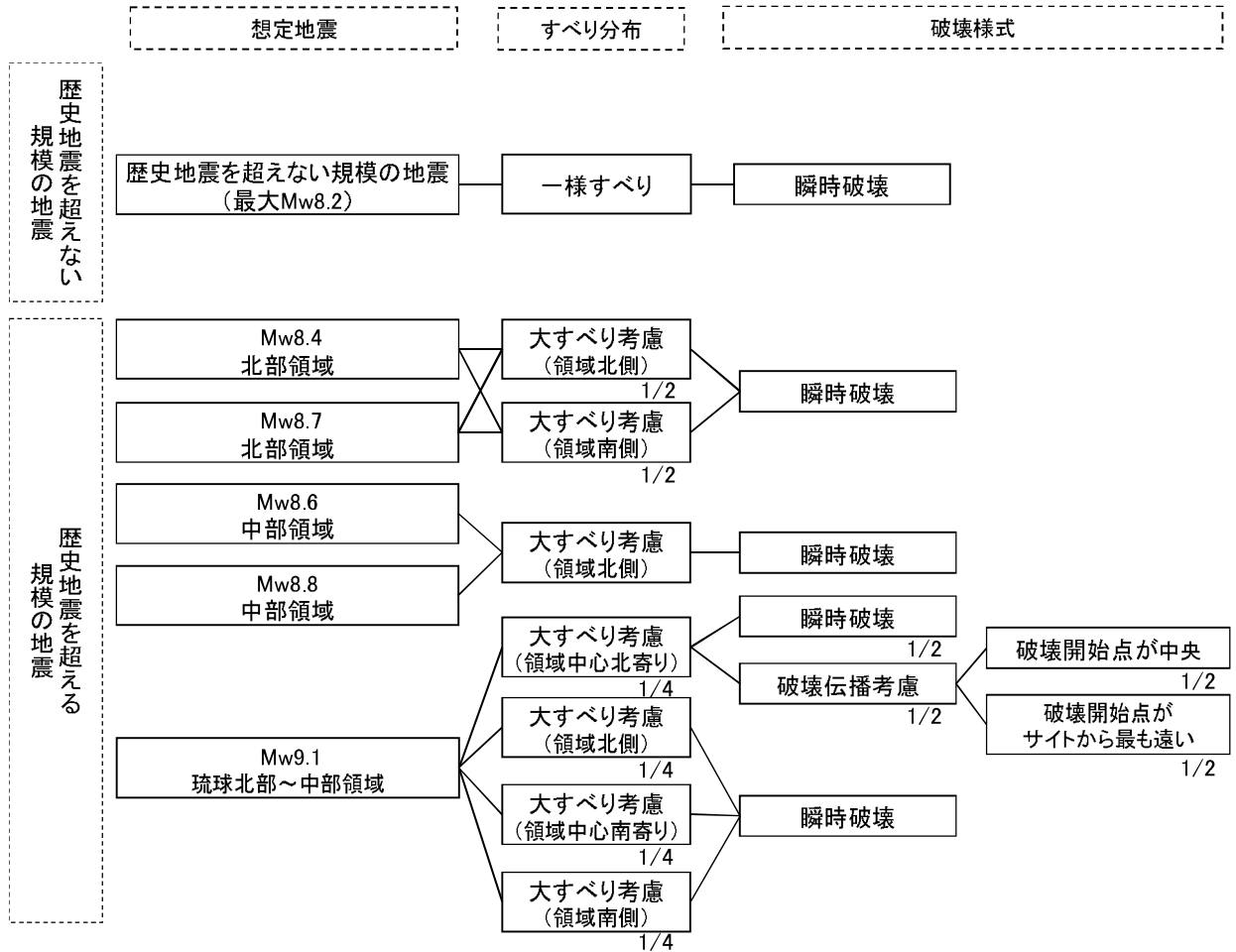
第1.2-27図(1) 砂移動による最終地形変化量



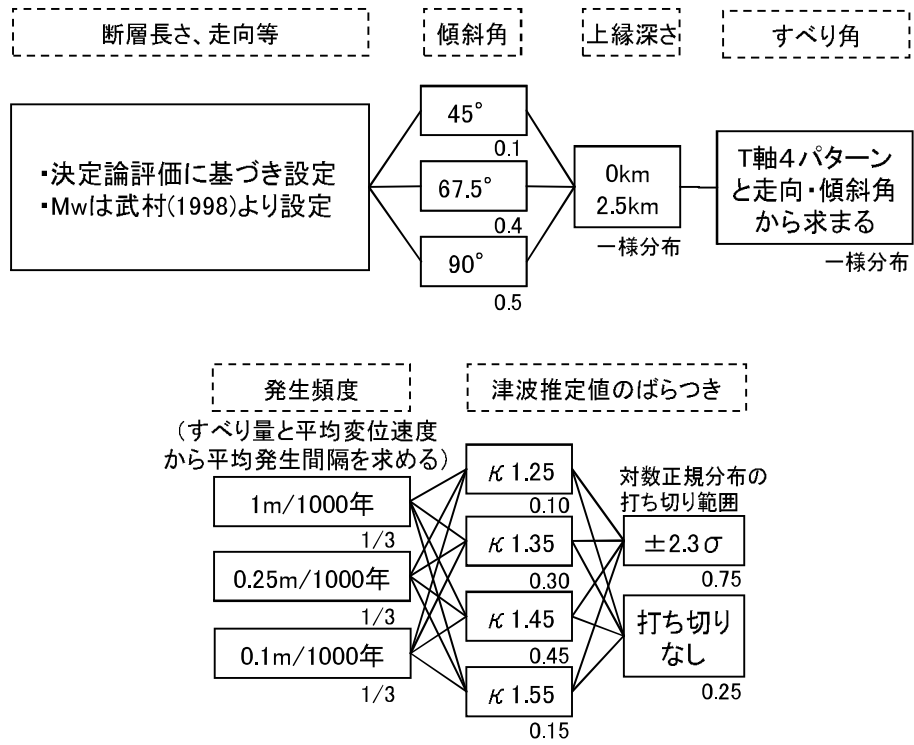
第1.2-27図(2) 砂移動による最大堆積厚



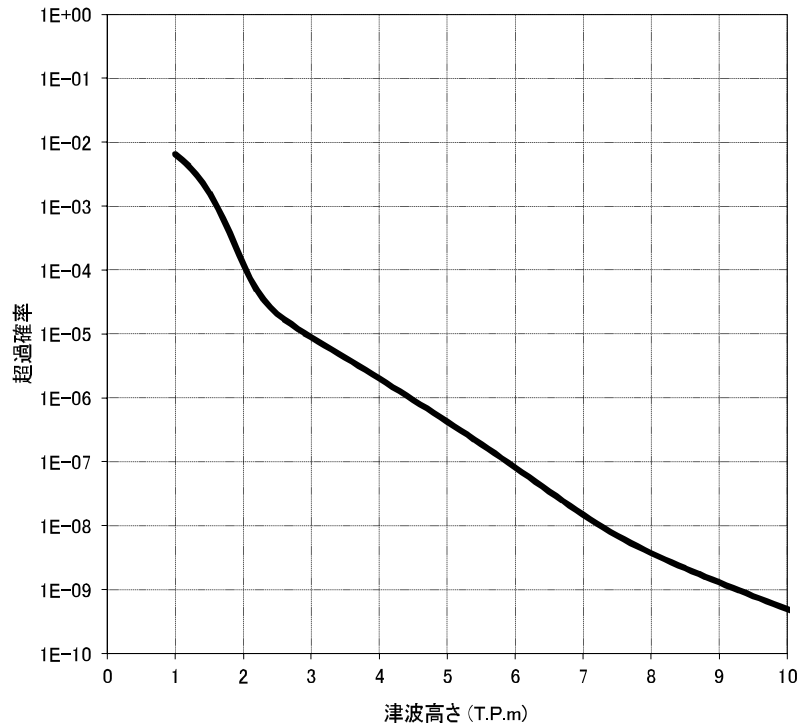
第1.2-28図(1) ロジックツリー(プレート間地震)



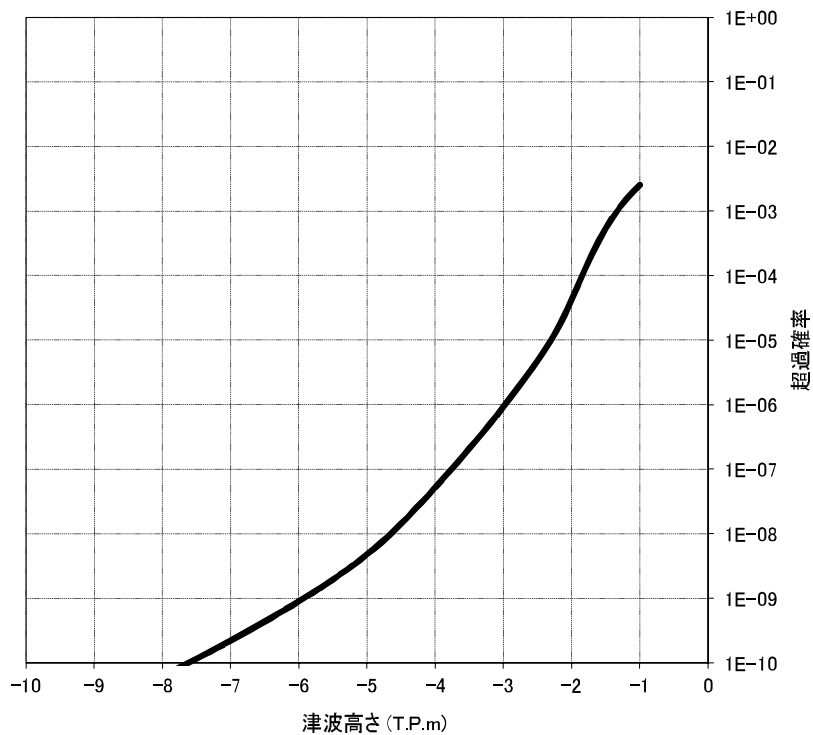
第1.2-28図(2) ロジックツリー(プレート間地震)



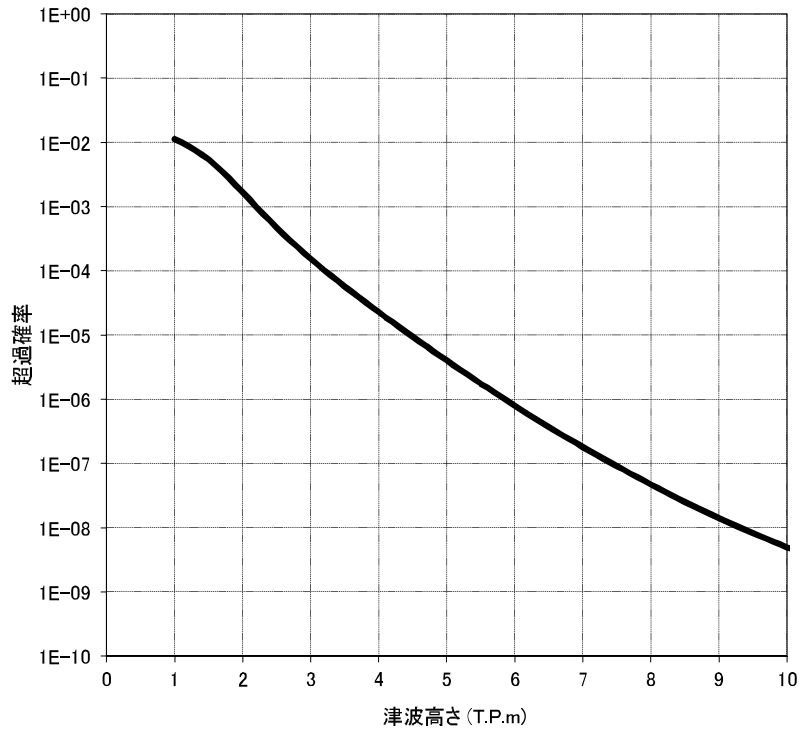
第1.2-28図(3) ロジックツリー(海域活断層による地殻内地震)



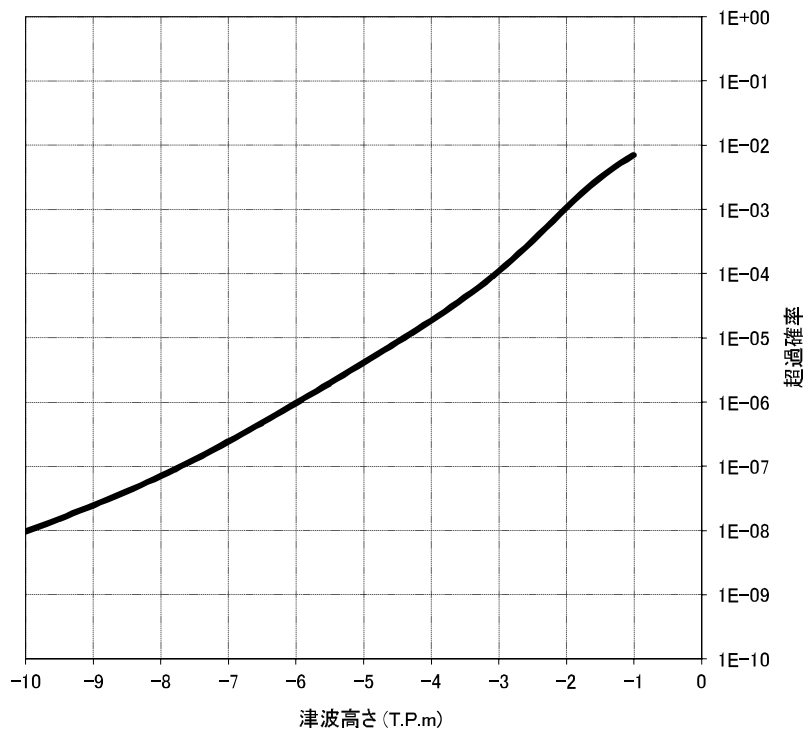
第1.2-29図(1) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



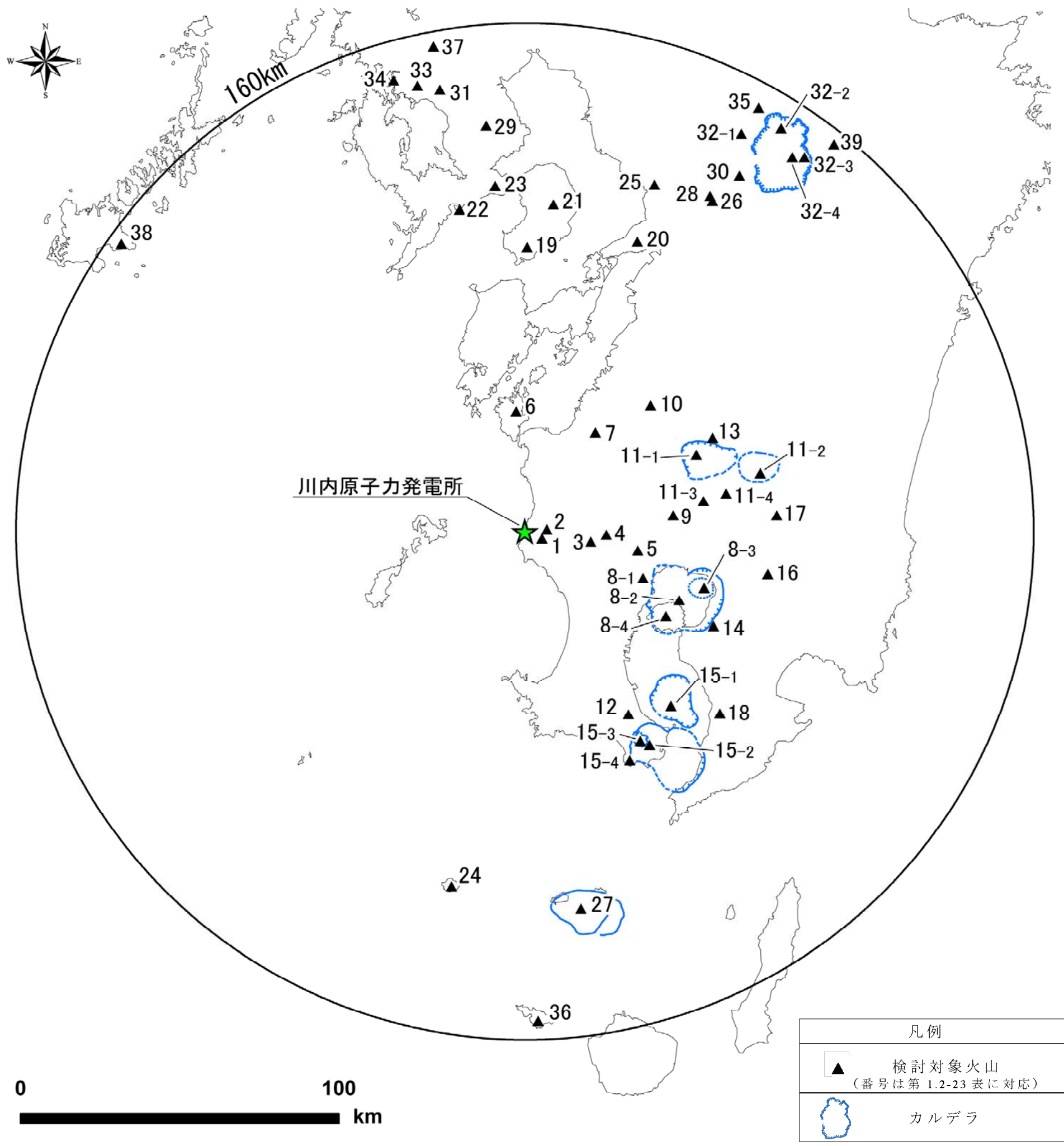
第1.2-29図(2) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



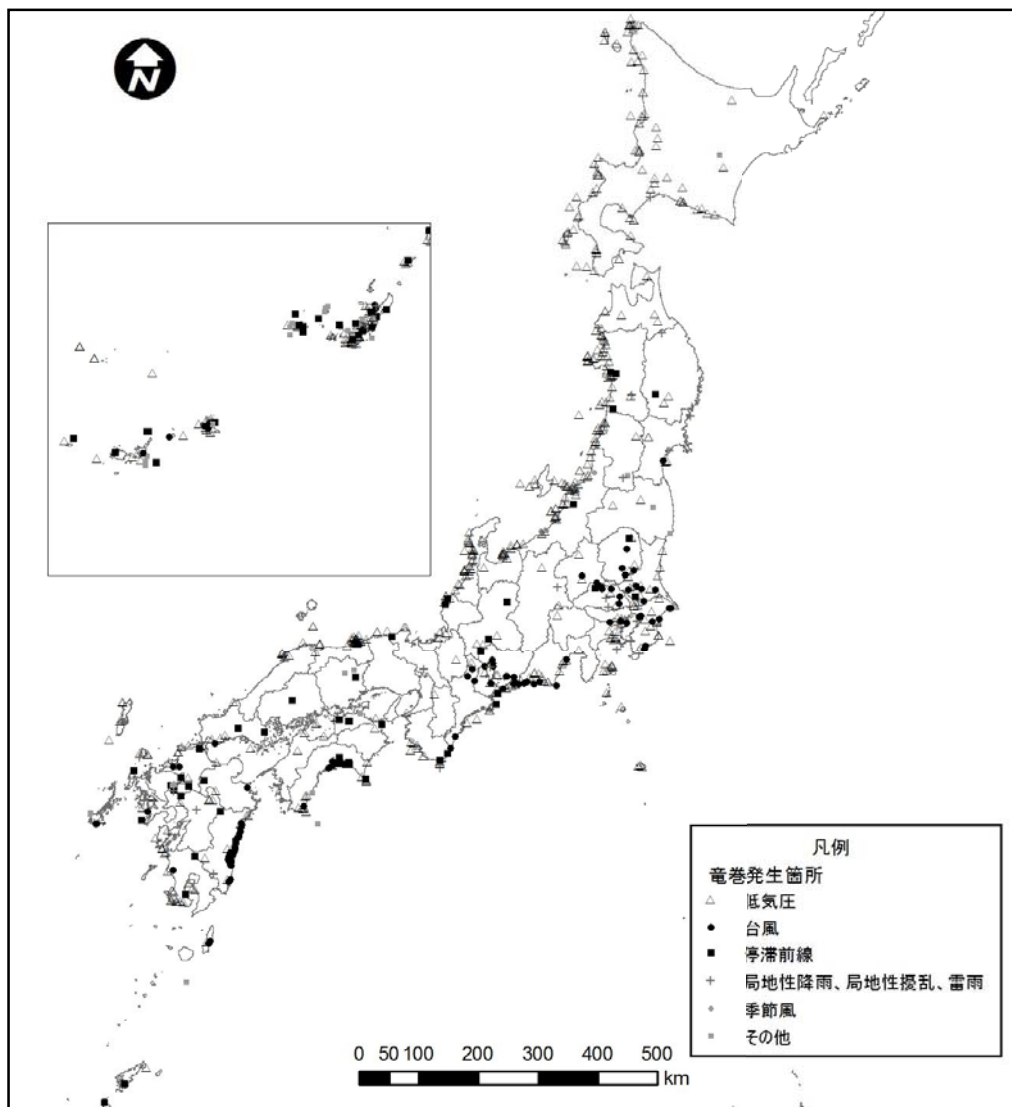
第1.2-29図(3) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



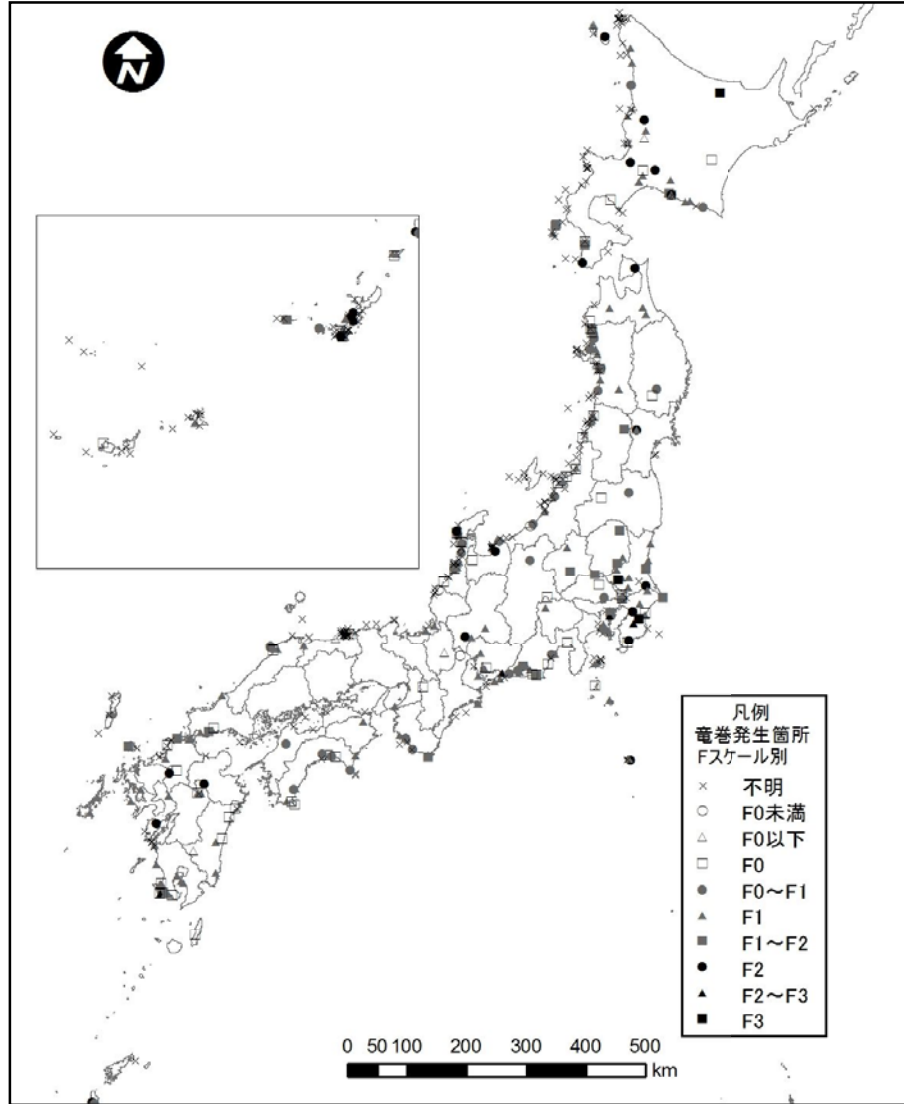
第1.2-29図(4) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



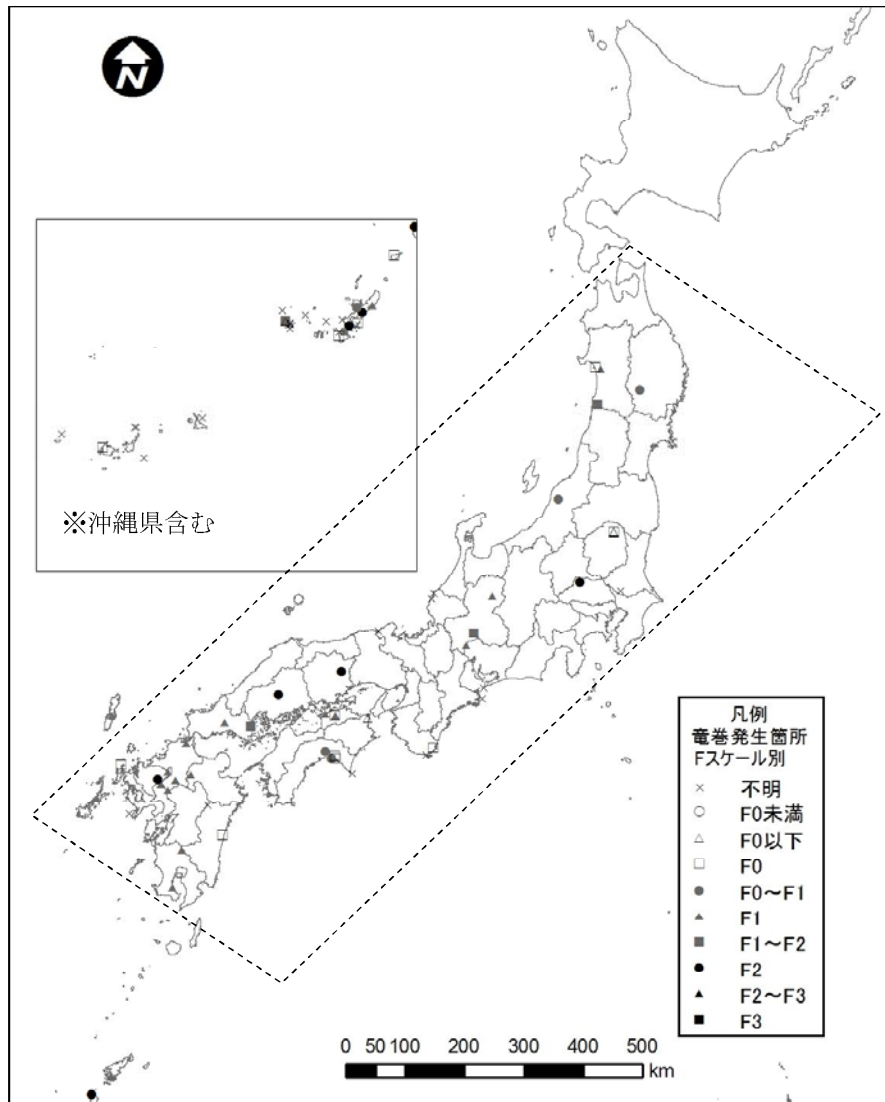
第1.2-30図 地理的領域の検討対象火山の位置



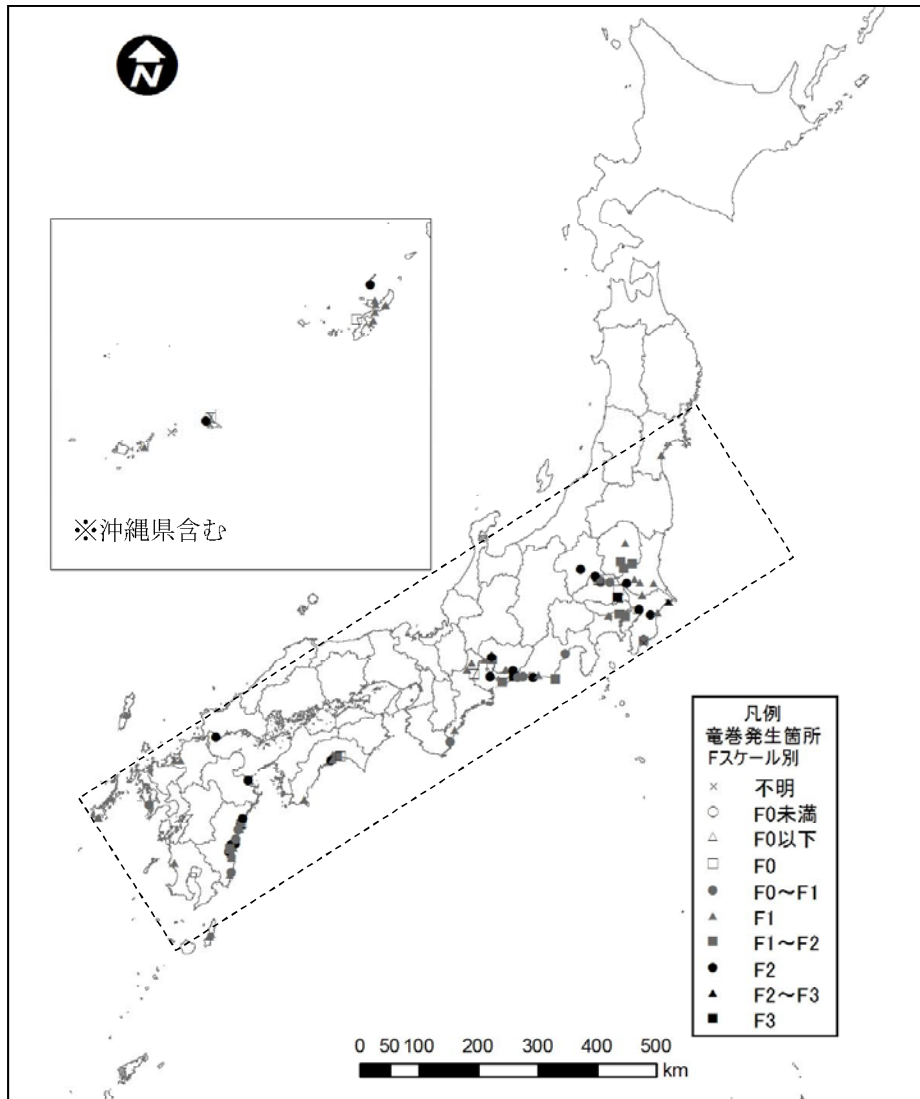
第1.2-31図 気象要因別の竜巻発生位置



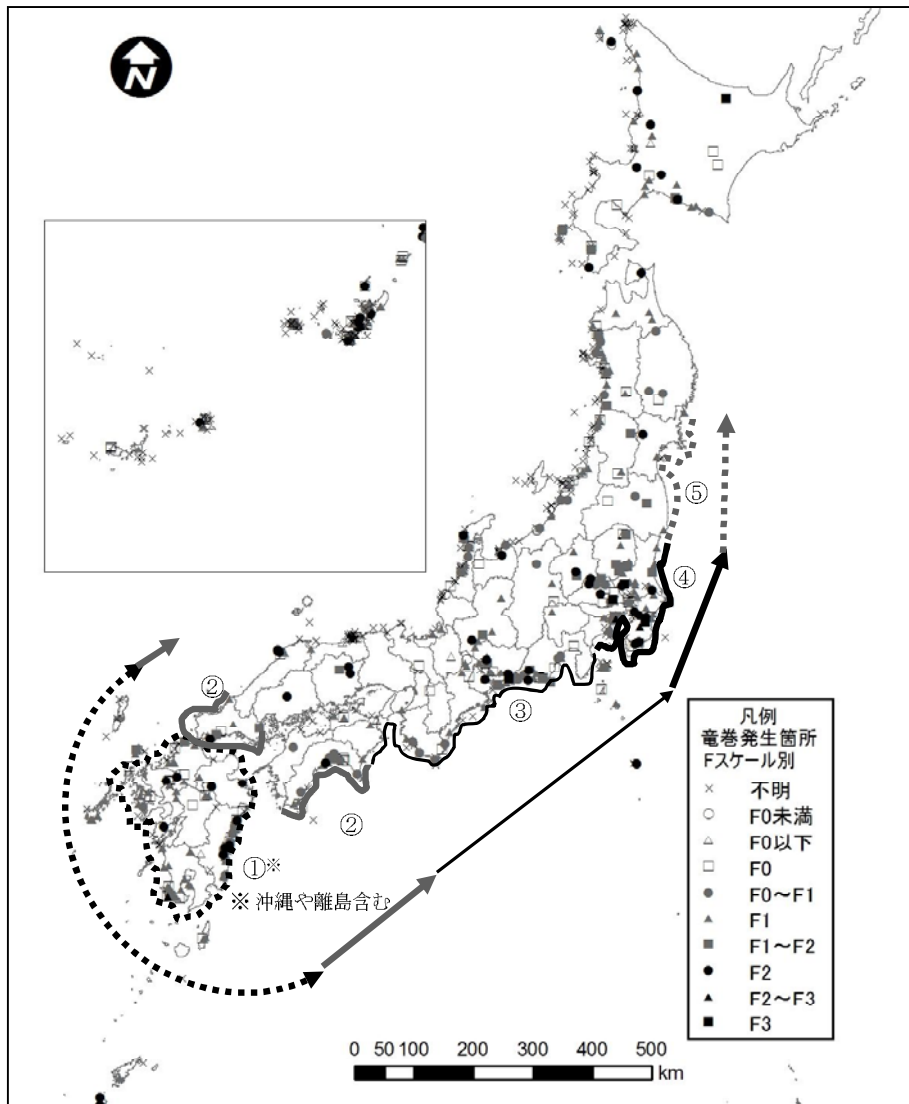
第1.2-32図 竜巻発生位置(低気圧起因)



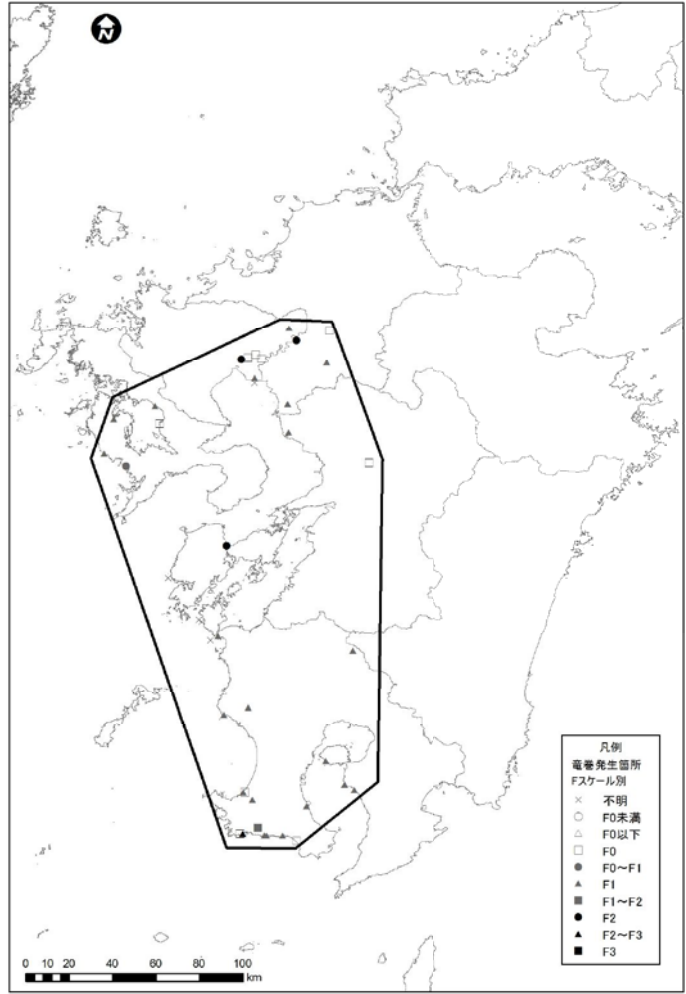
第1.2-33図 竜巻発生位置(停滞前線起因)



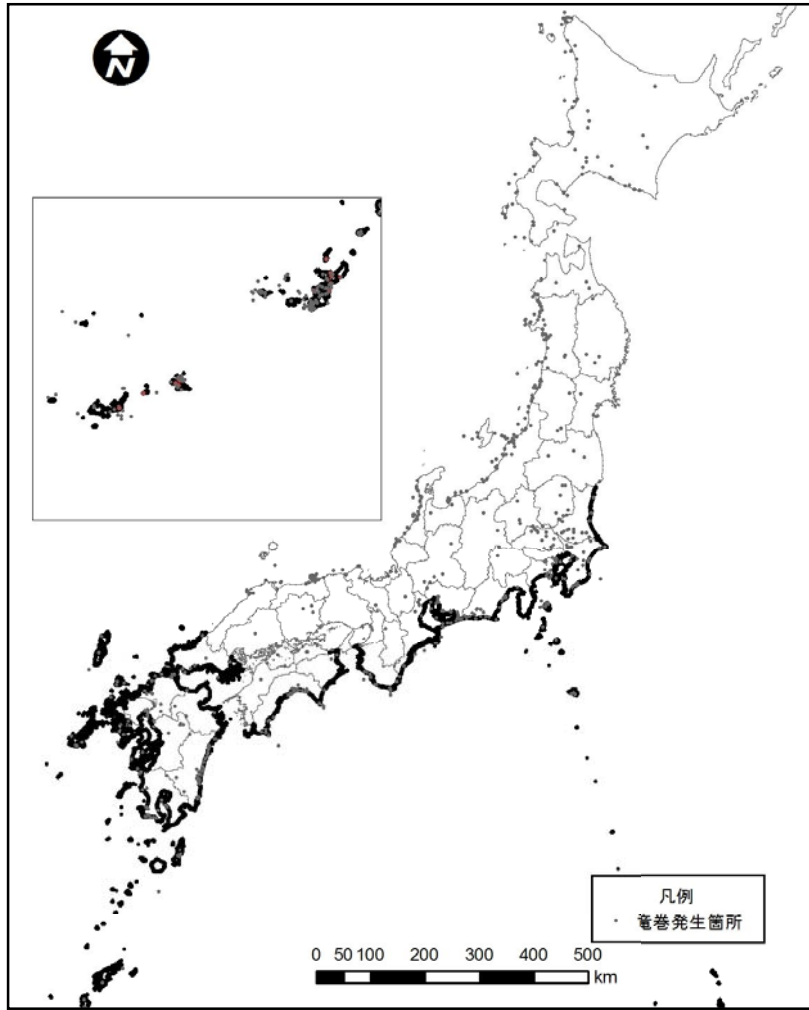
第1.2-34図 竜巻発生位置(台風起因)



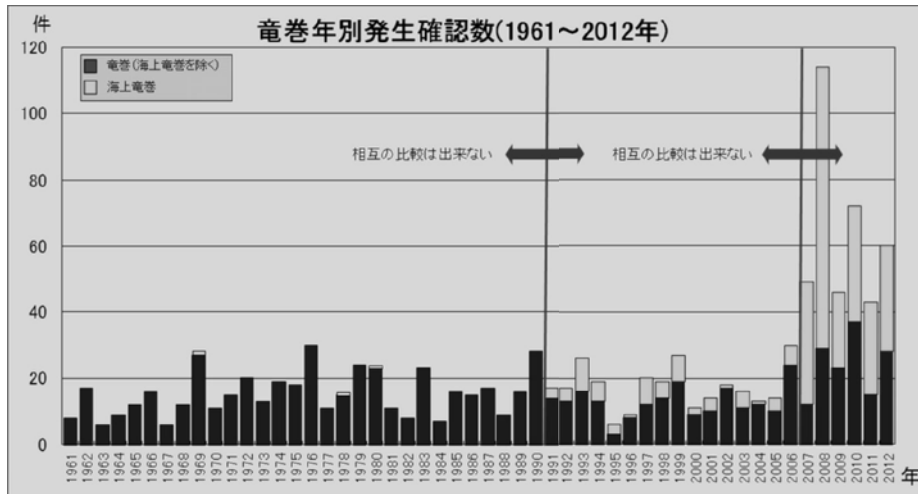
第1.2-35図 Fスケール別の竜巻発生位置



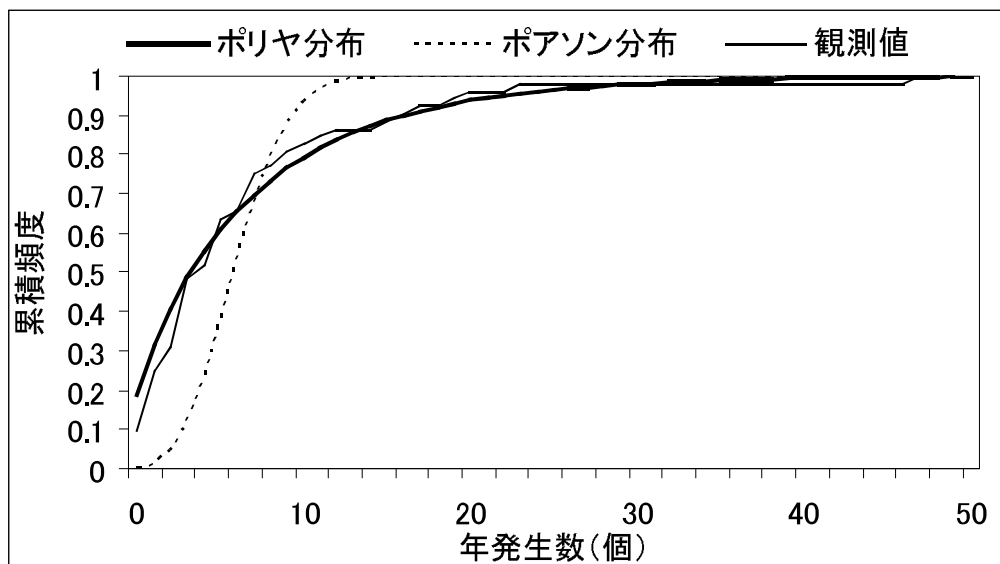
第1.2-36図 集中地域⑨におけるFスケール別竜巻発生位置



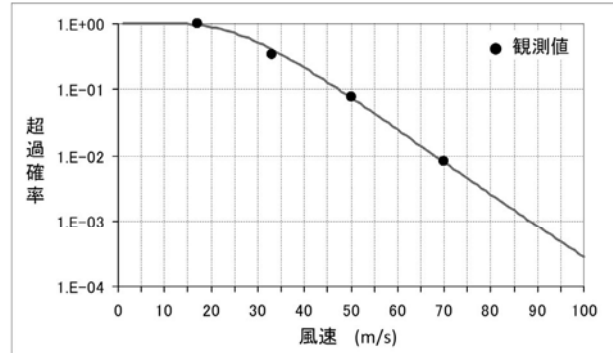
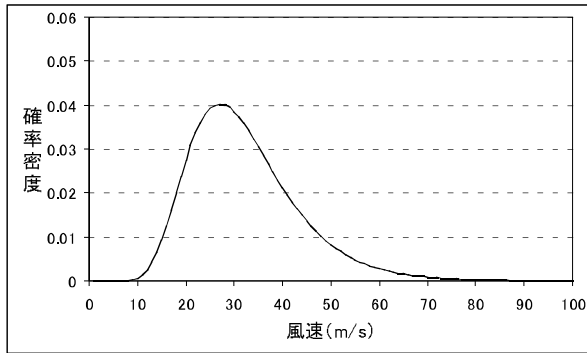
第1.2-37図 竜巻検討地域



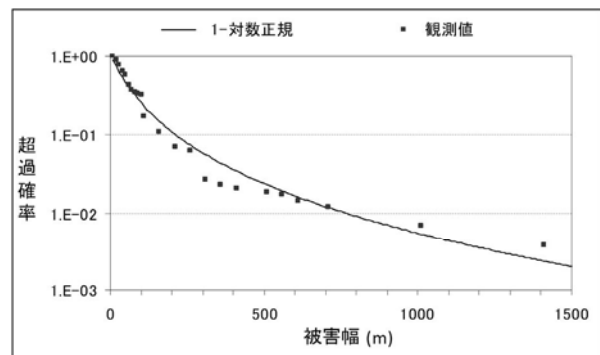
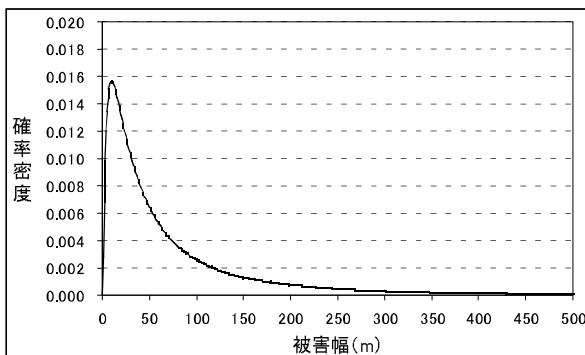
第1.2-38図 竜巻の年発生数(出典:気象庁ホームページ)



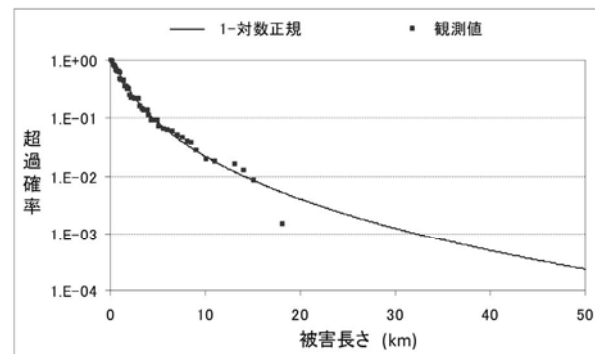
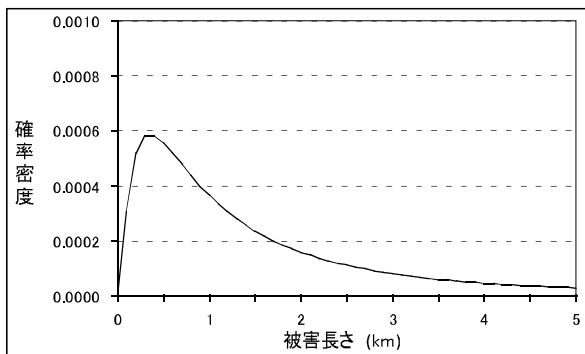
第1.2-39図 竜巻検討地域における竜巻の年発生数の累積頻度



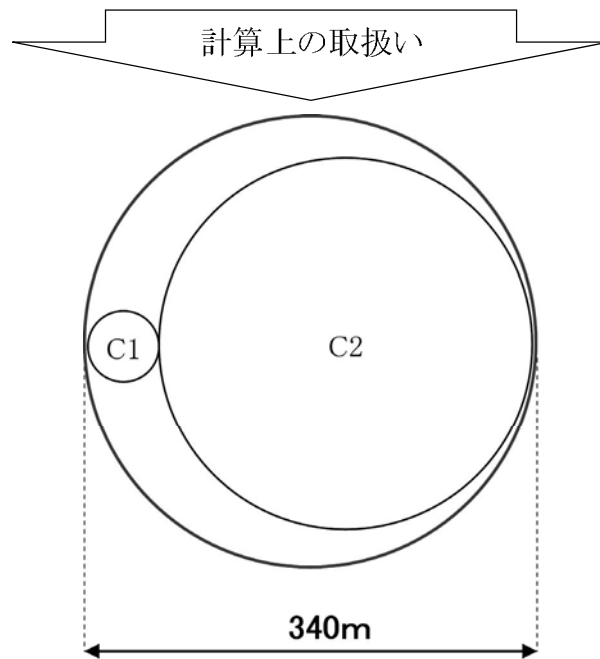
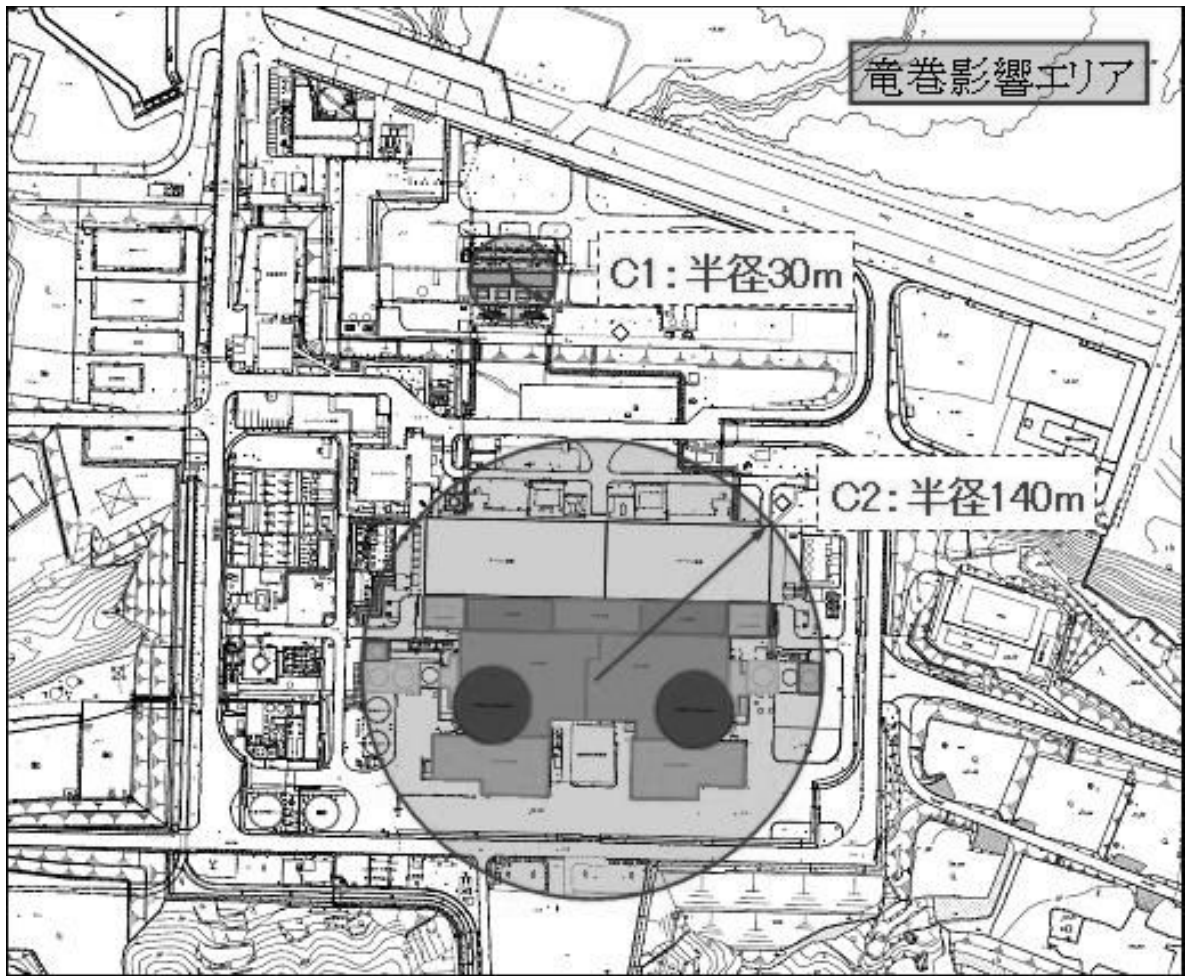
第1.2-40図 風速の確率密度分布(左)と超過確率(右)



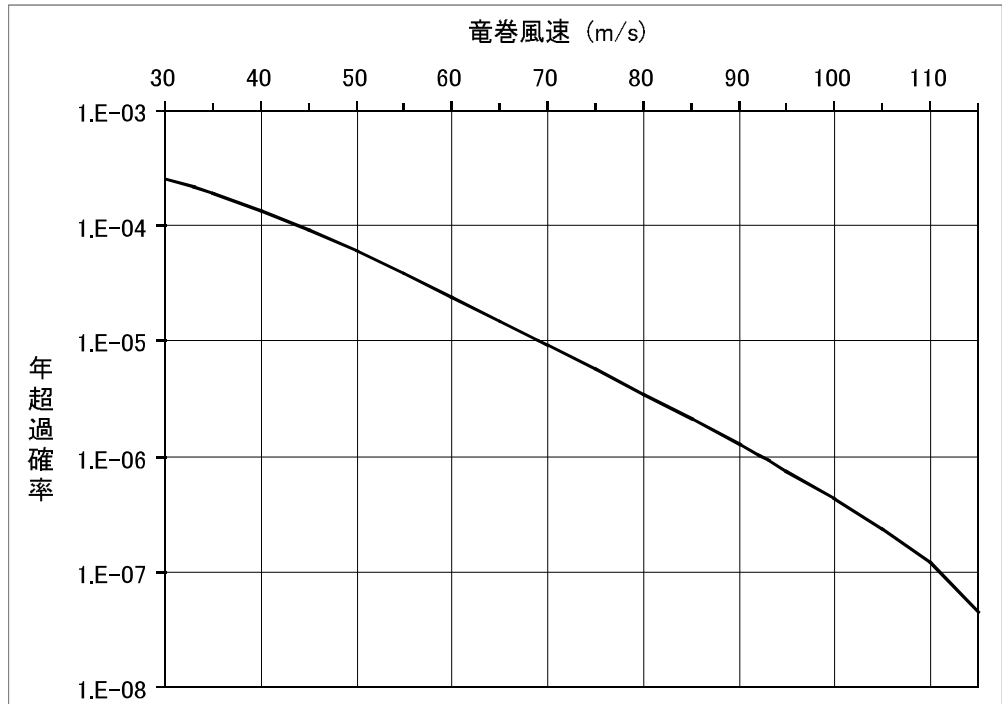
第1.2-41図 被害幅の確率密度分布(左)と超過確率(右)



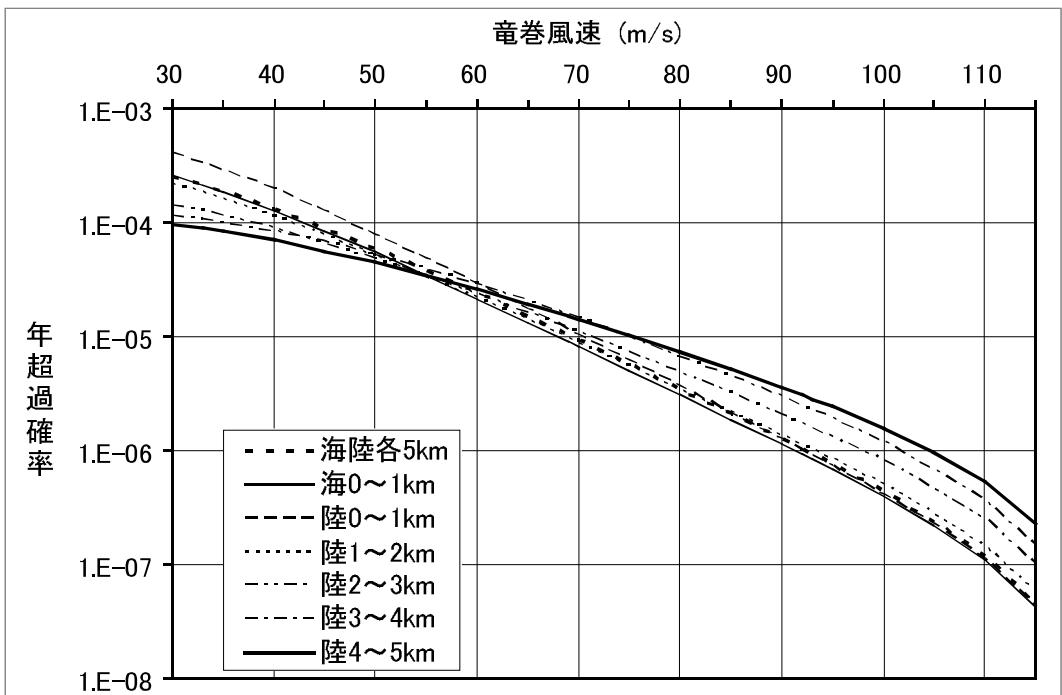
第1.2-42図 被害長さの確率密度分布(左)と超過確率(右)



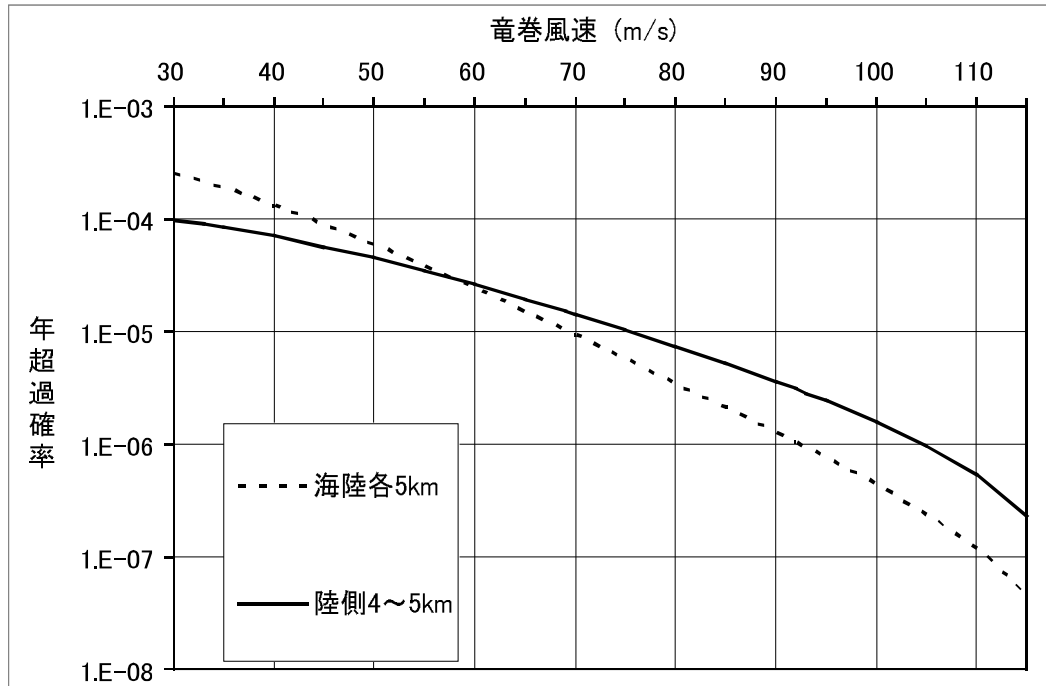
第1.2-43図 竜巻影響エリア



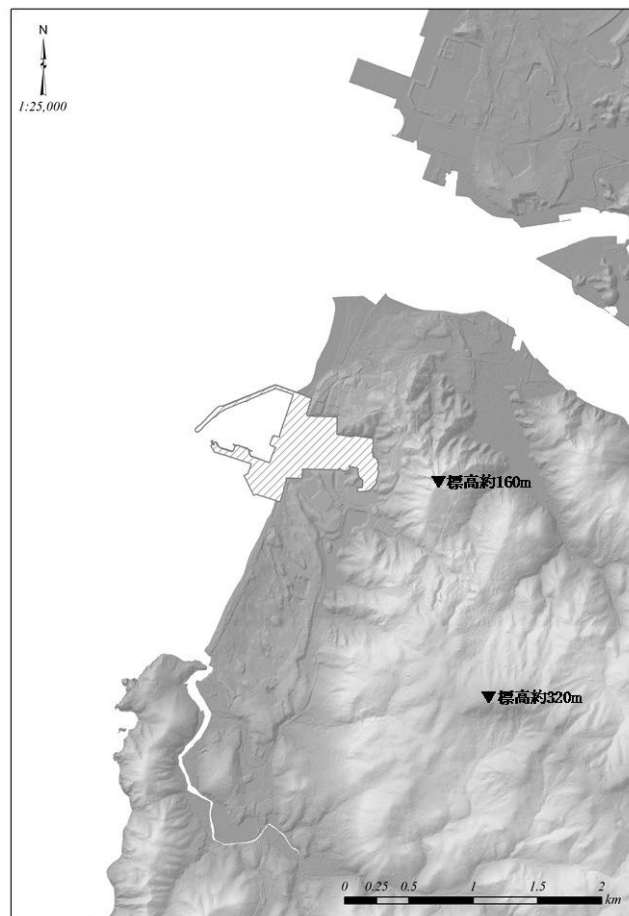
第1.2-44図 竜巻最大風速のハザード曲線(海側、陸側5km範囲)



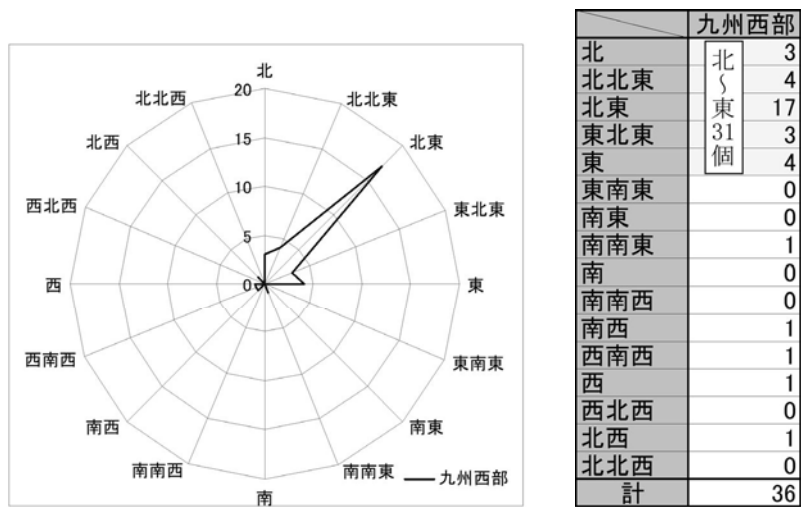
第1.2-45図 竜巻最大風速のハザード曲線(1km範囲)



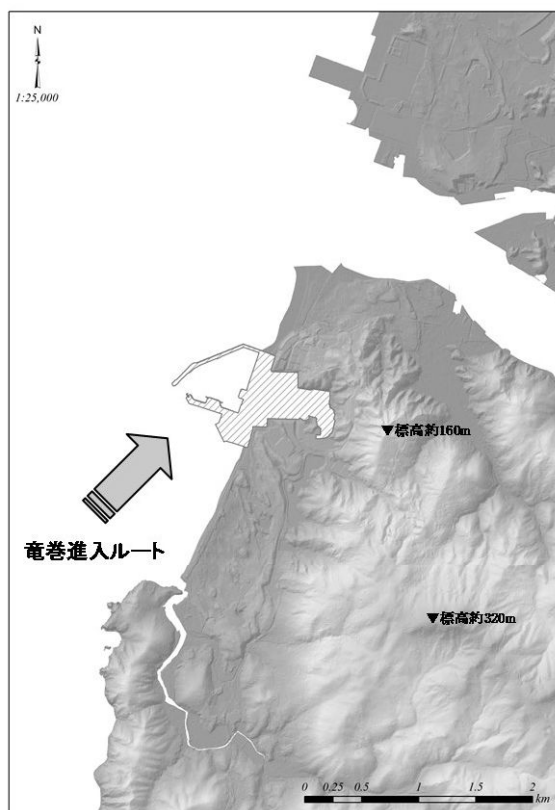
第1.2-46図 竜巻最大風速のハザード曲線



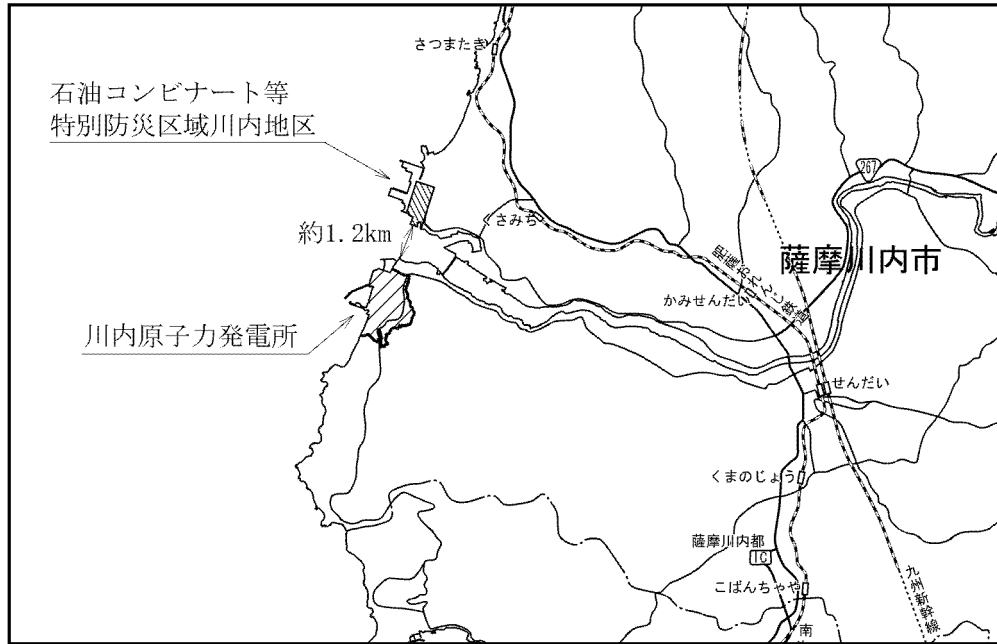
第1.2-47図 川内原子力発電所周辺の地形



第1.2-48図 九州西部で発生した竜巻の移動方向



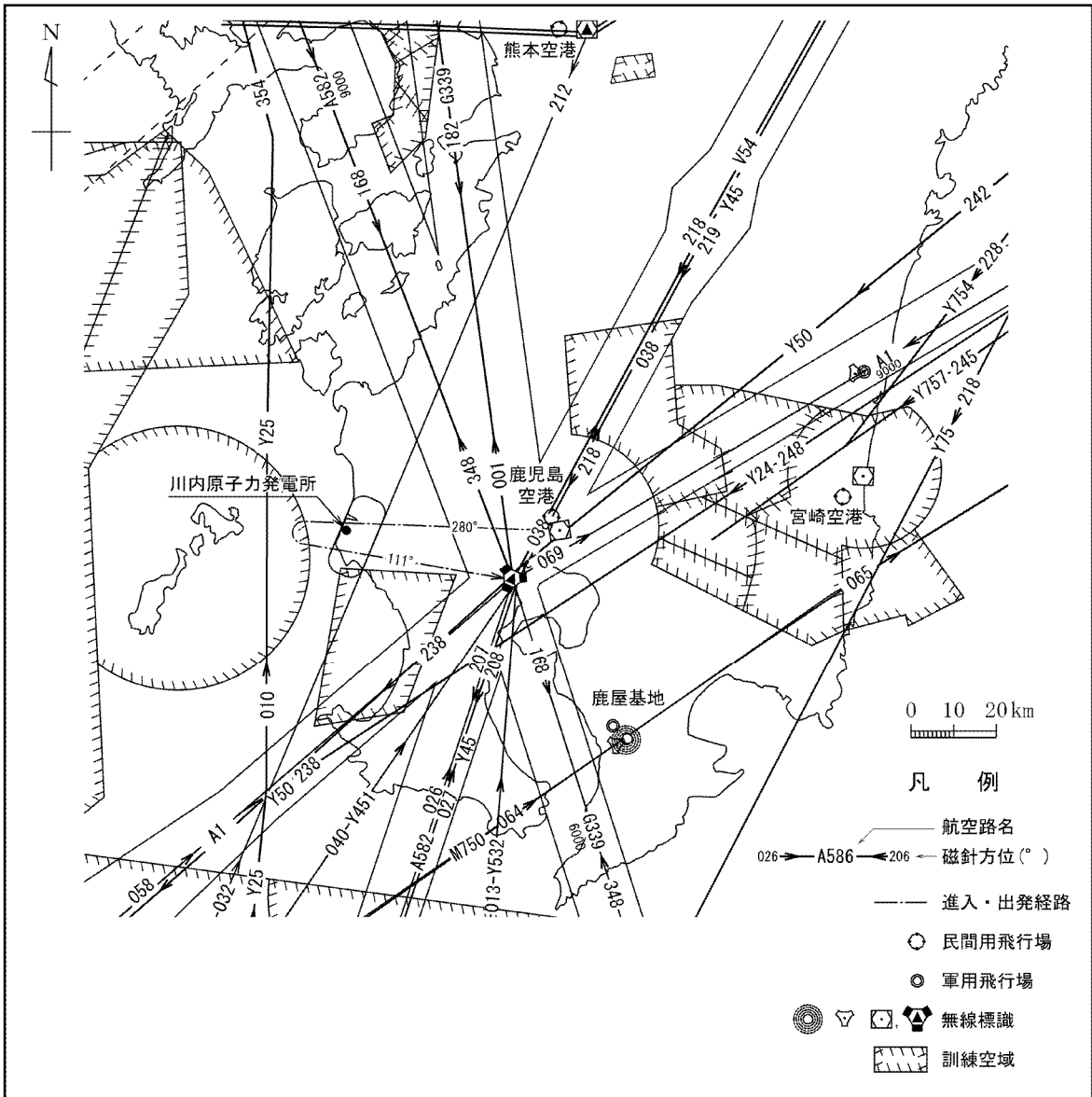
第1.2-49図 竜巻の移動方向と川内原子力発電所の位置関係



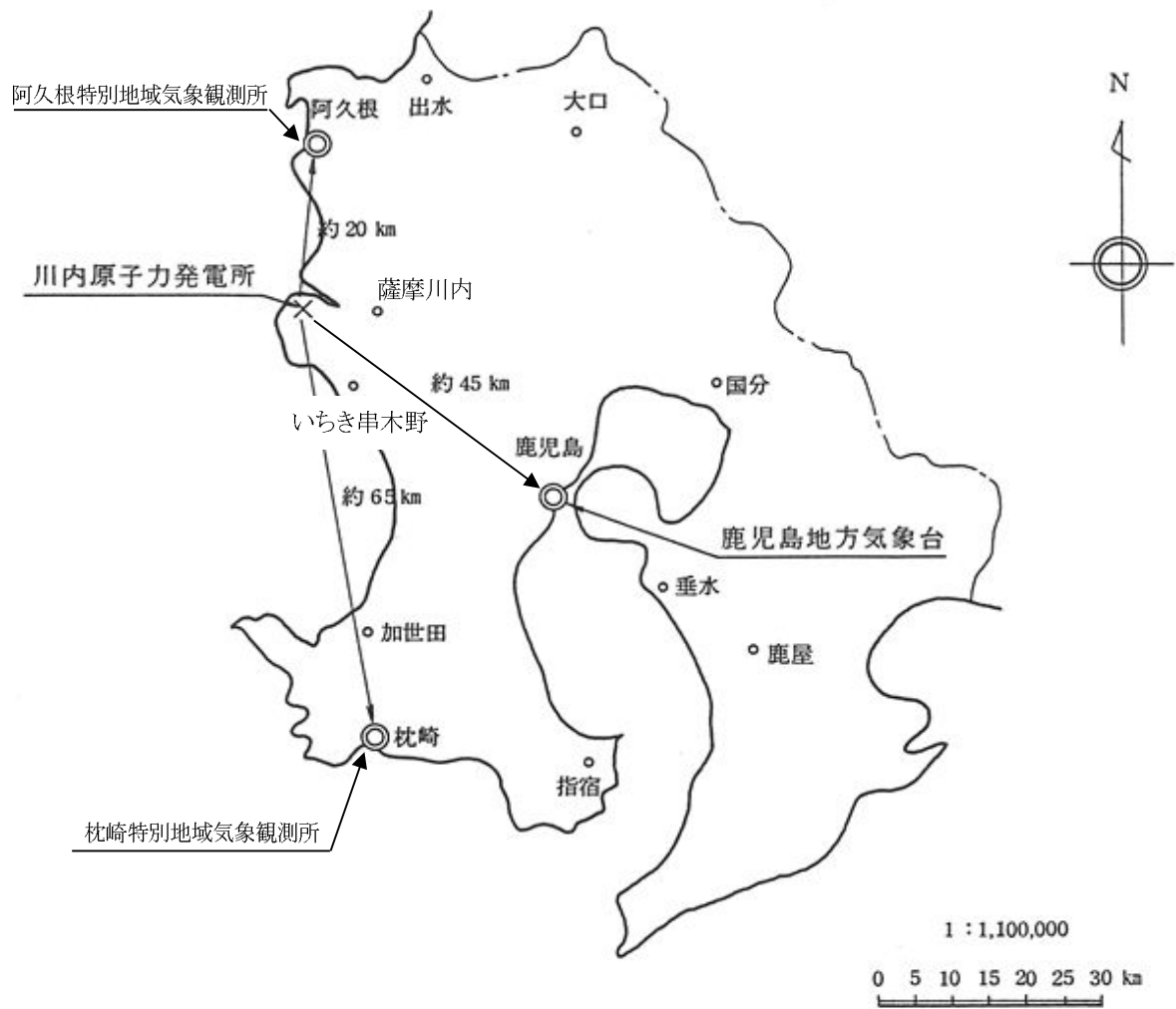
第1.2-50図 川内原子力発電所周辺のコンビナート施設の位置図



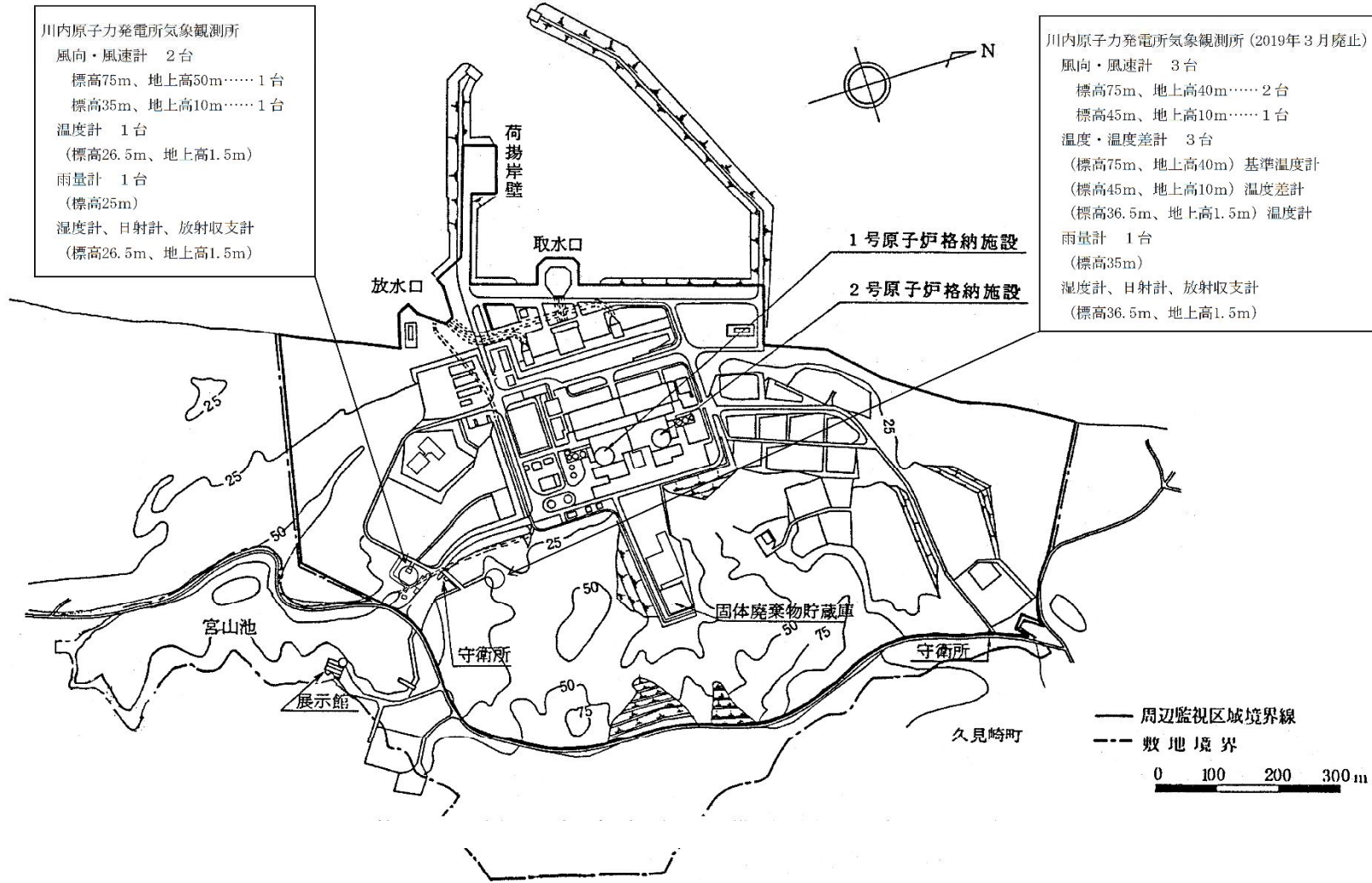
第1.2-51図 川内原子力発電所周辺の幹線道路、鉄道路線及び航路図



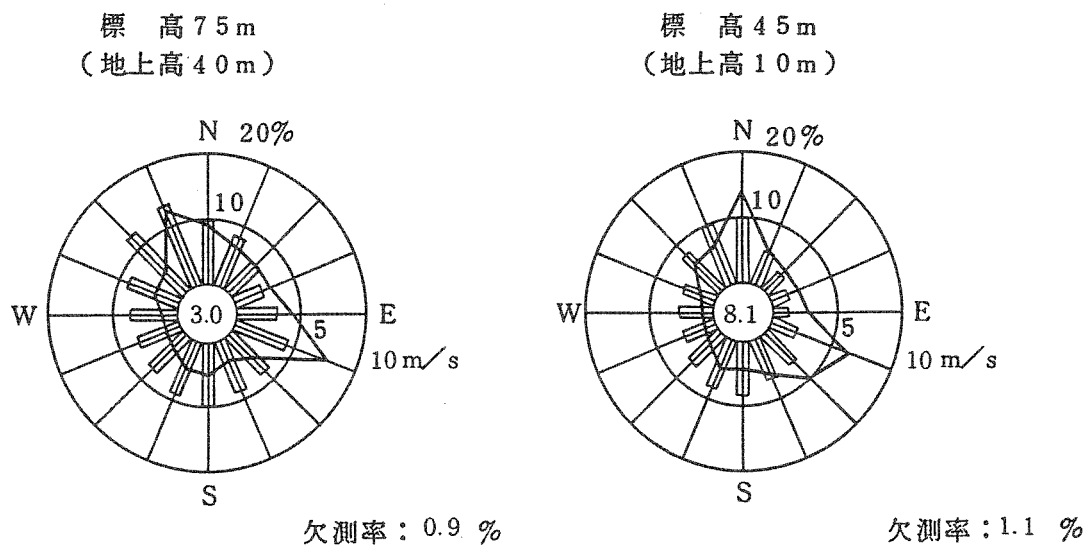
第1.2-52図 航空路等図



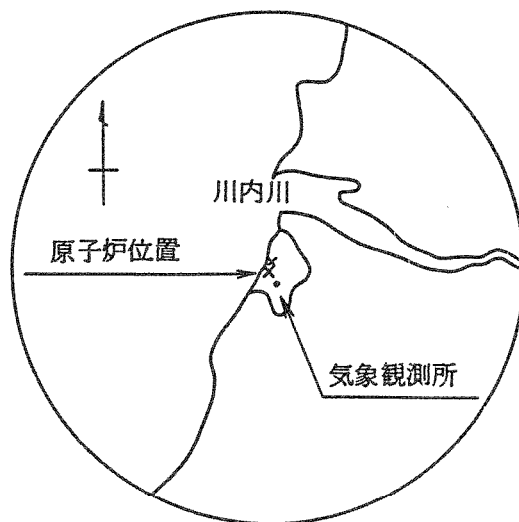
第1.2-53図 気象官署の所在地



第1.2-54図 気象観測設備配置図



- 注) 1. — 風向出現頻度(%)
 □ 平均風速(m/s)
 2. 小円内の数字は静穏(0.5 m/s未満)の頻度(%)

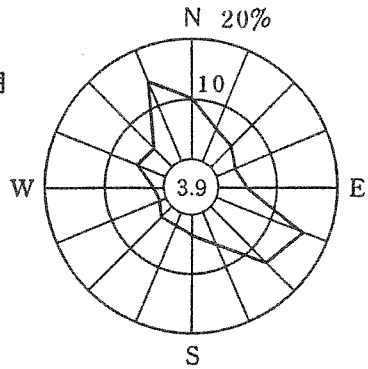


第1.2-55図 敷地の風配図(全年)

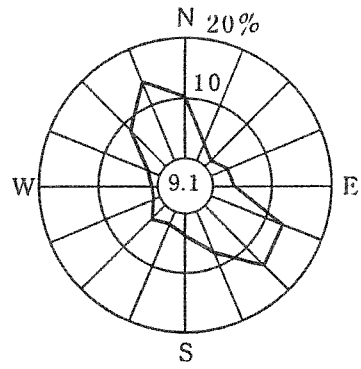
標高 75 m
(地上高 40 m)

標高 45 m
(地上高 10 m)

昭和 61 年 4 月

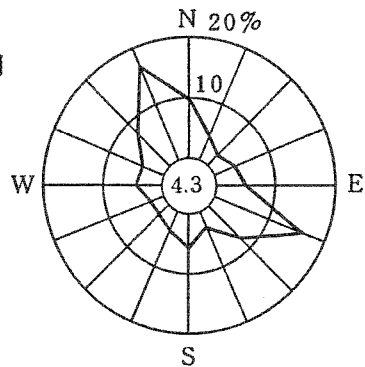


欠測率：1.1 %

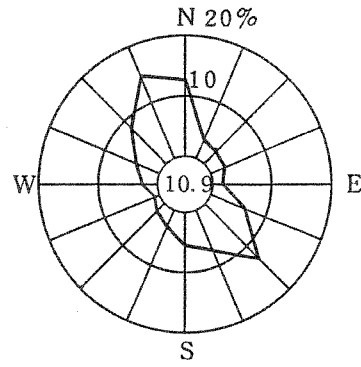


欠測率：1.0 %

昭和 61 年 5 月

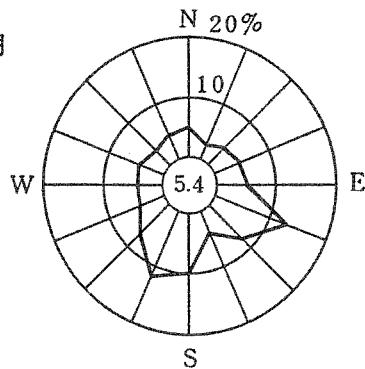


欠測率：0.1 %

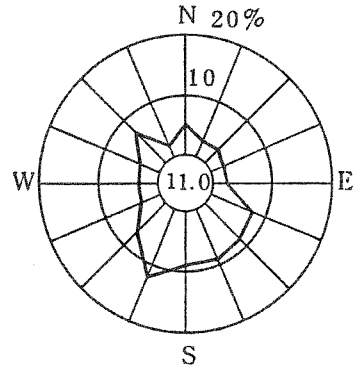


欠測率：0.3 %

昭和 61 年 6 月



欠測率：0.1 %



欠測率：0 %

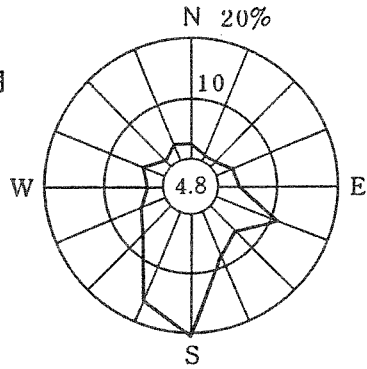
注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

第1.2-56図(1) 敷地の風配図(その1)(4~6月)

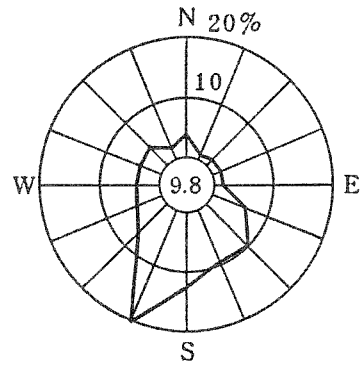
標高 75 m
(地上高 40 m)

標高 45 m
(地上高 10 m)

昭和 61 年 7 月

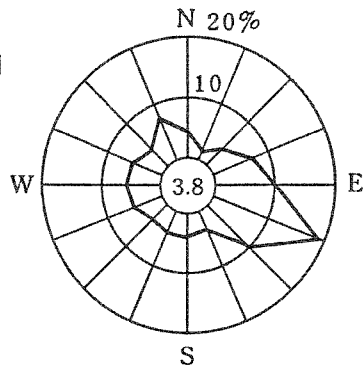


欠測率: 0%

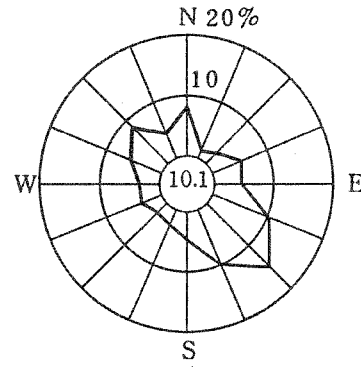


欠測率: 0%

昭和 61 年 8 月

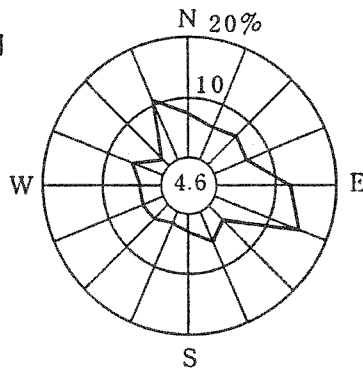


欠測率: 0.1%

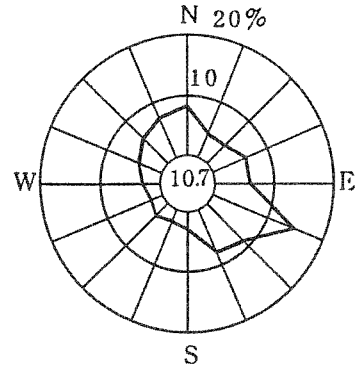


欠測率: 0%

昭和 61 年 9 月



欠測率: 0.1%



欠測率: 0.1%

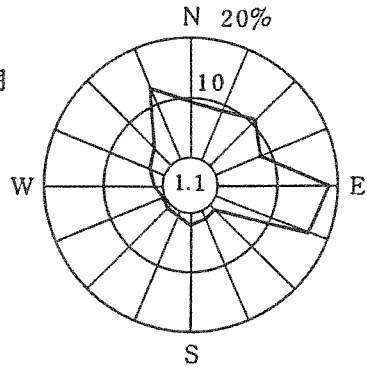
注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

第1.2-56図(2) 敷地の風配図(その2)(7~9月)

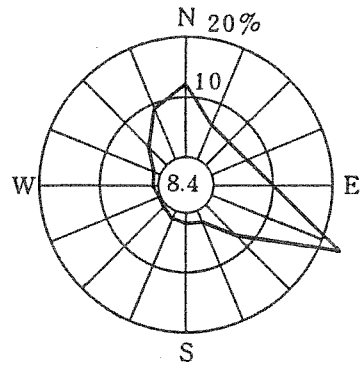
標高75m
(地上高40m)

標高45m
(地上高10m)

昭和61年10月

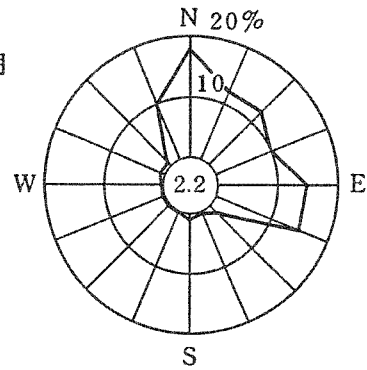


欠測率: 0.9%

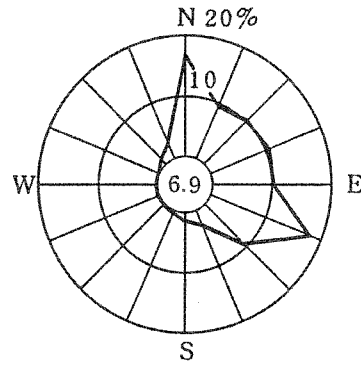


欠測率: 0.5%

昭和61年11月

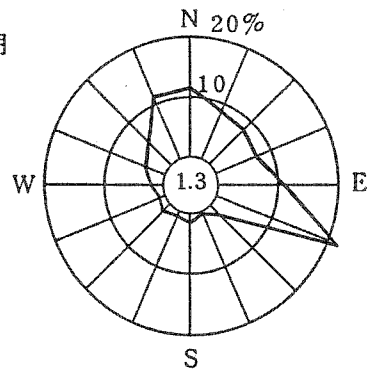


欠測率: 0%

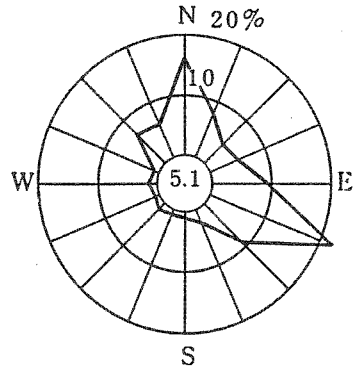


欠測率: 0%

昭和61年12月



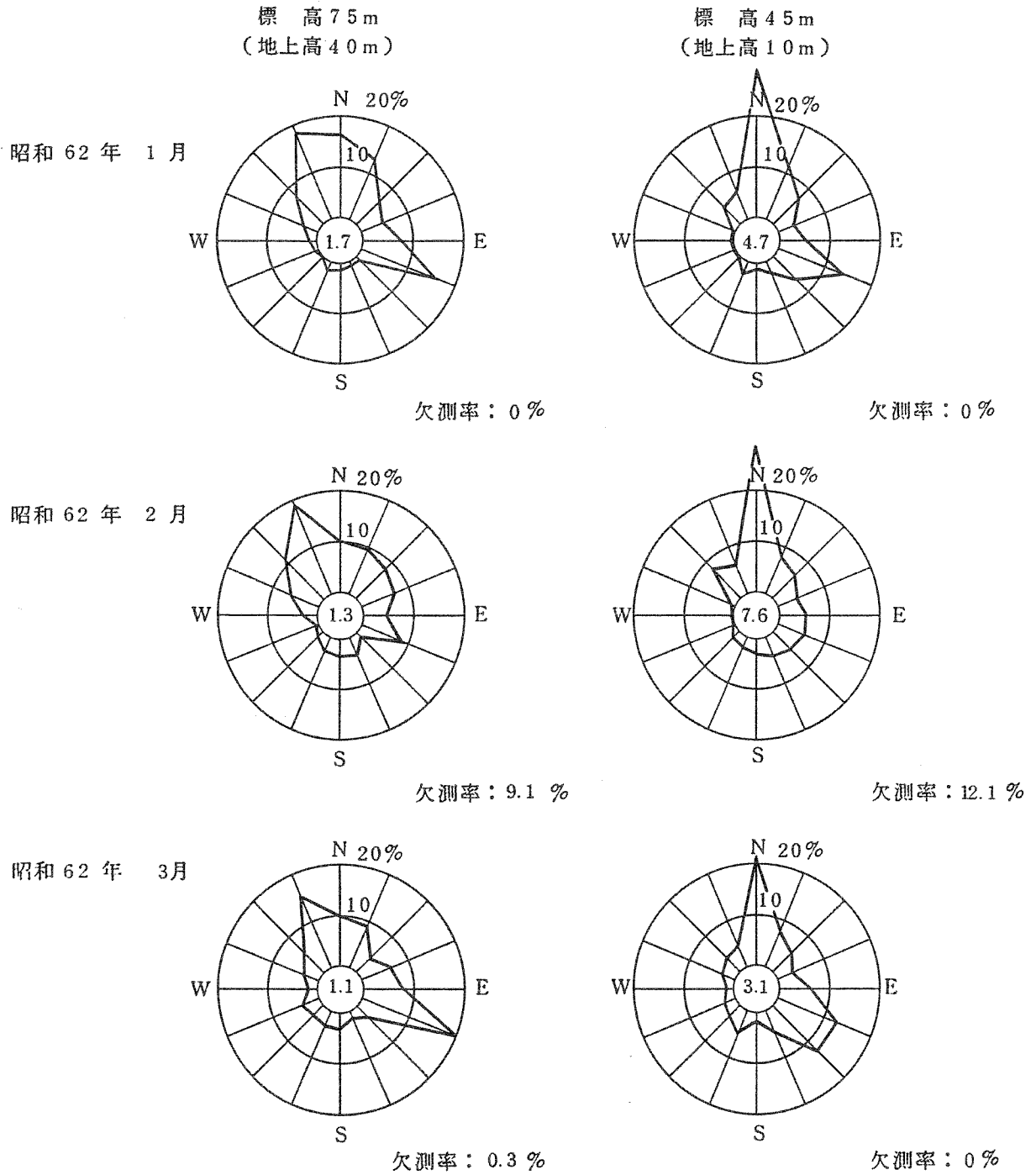
欠測率: 0%



欠測率: 0%

注) 小円内の数字は静穏(0.5 m/s未満)の頻度(%)

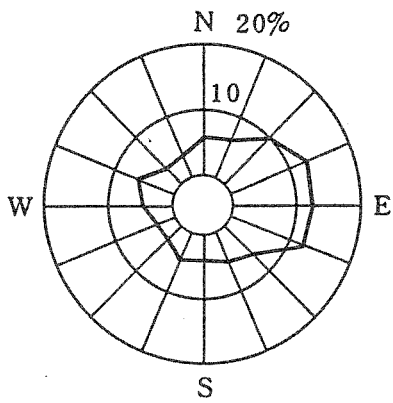
第1.2-56図(3) 敷地の風配図(その3)(10~12月)



注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)。

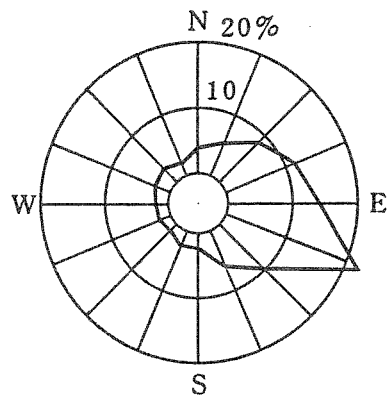
第1.2-56図(4) 敷地の風配図(その4)(1~3月)

標高 75 m
(地上高 40 m)



欠測率: 0.9 %

標高 45 m
(地上高 10 m)

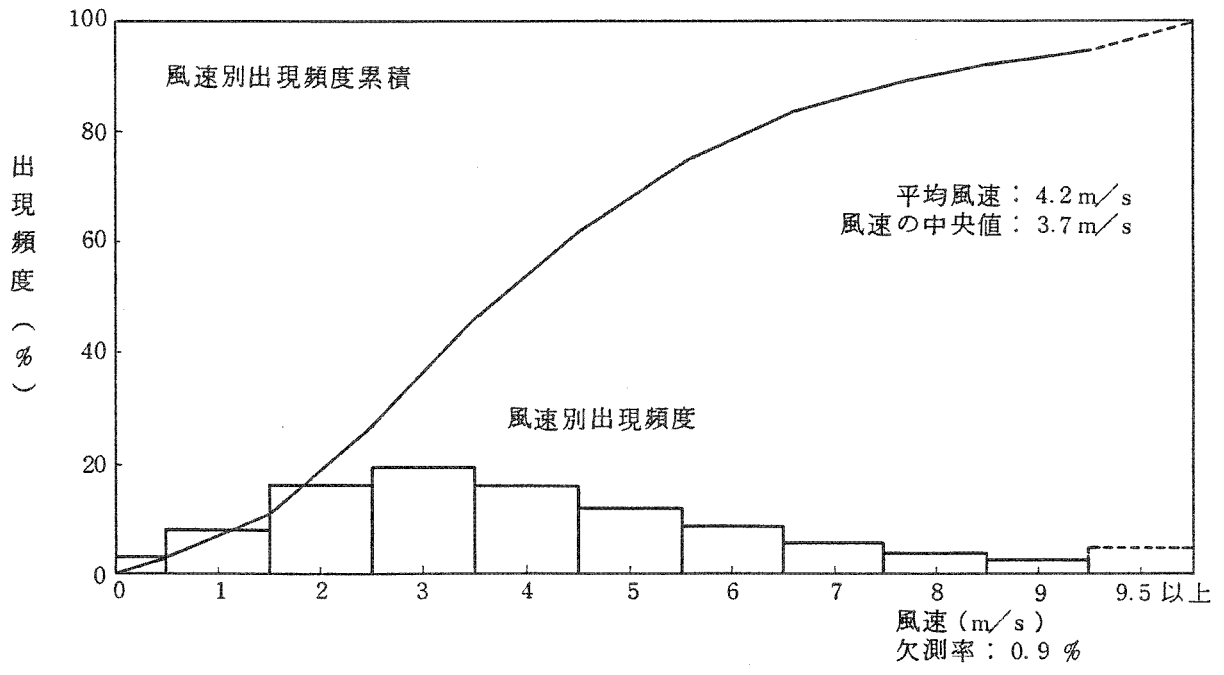


欠測率: 1.1 %

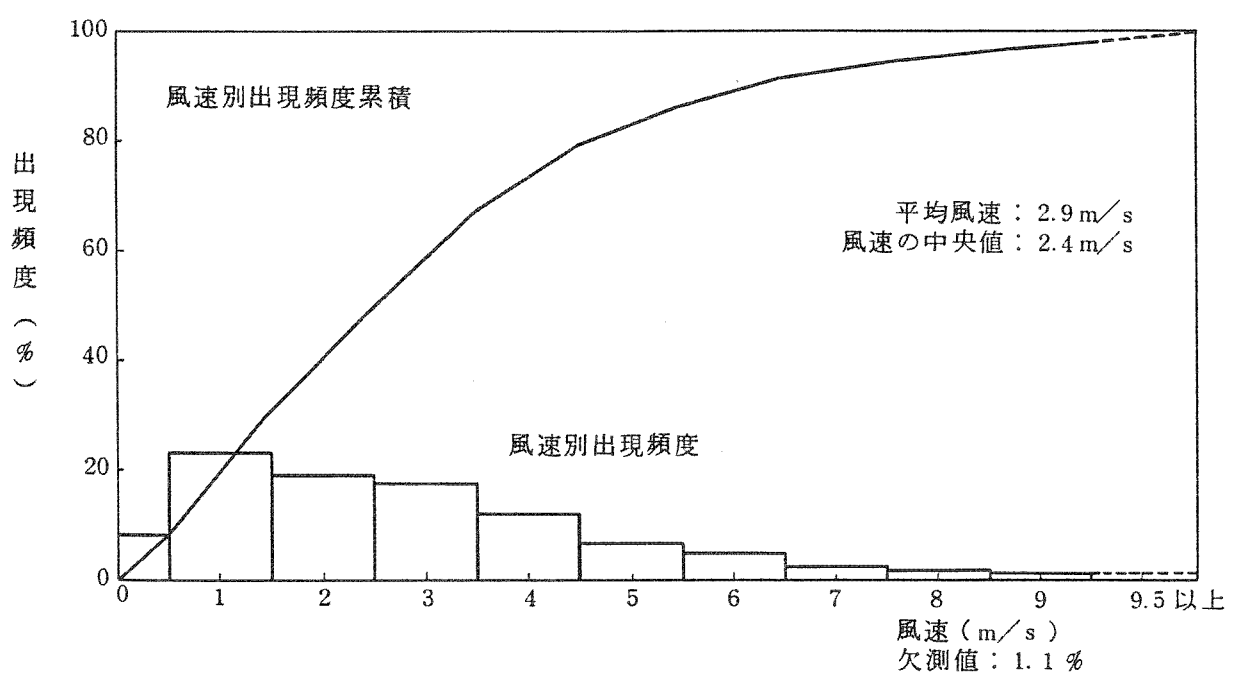
低風速 (0.5 ~ 2.0 m/s) の出現頻度

観測点	出現頻度 (%)
標高 45 m	34.8
標高 75 m	16.8

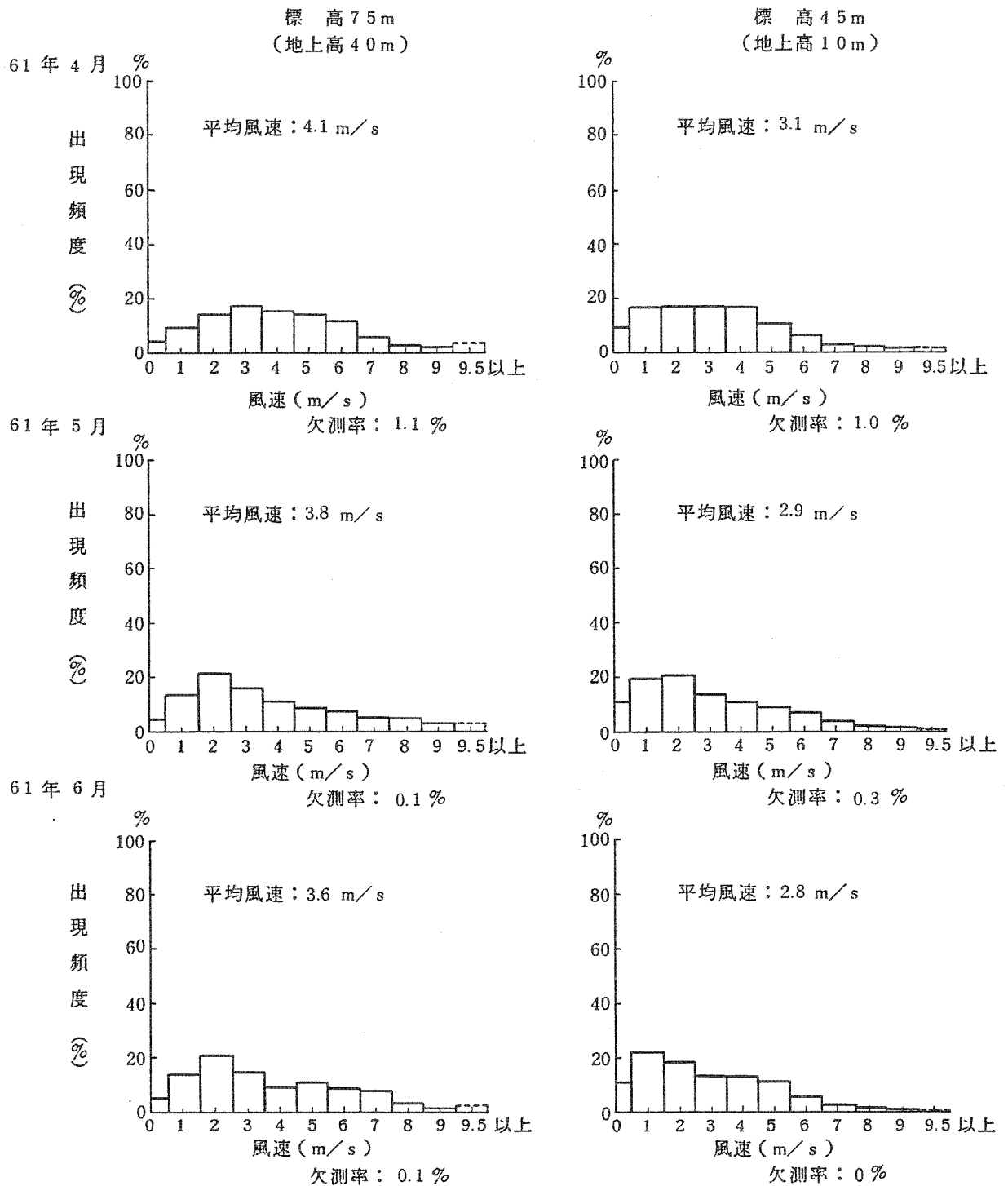
第1.2-57図 低風速 (0.5 ~ 2.0 m/s) 時の風配図



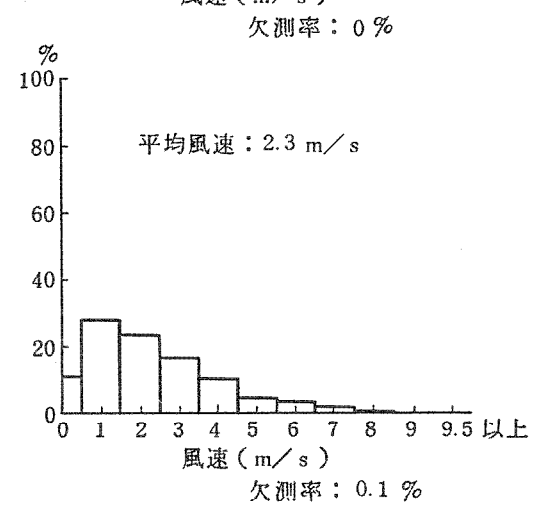
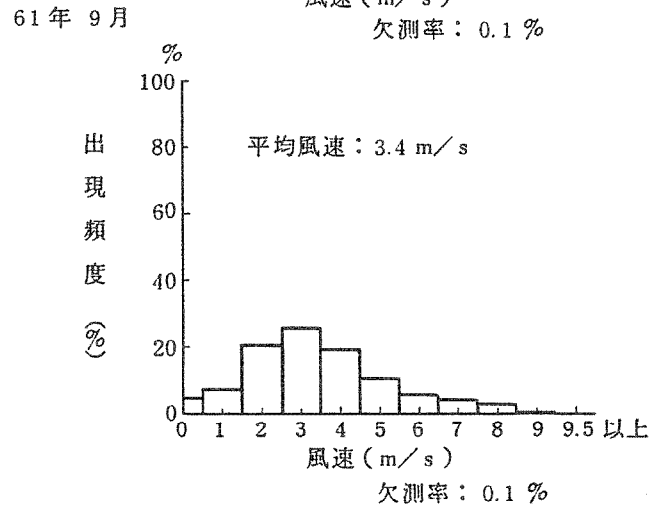
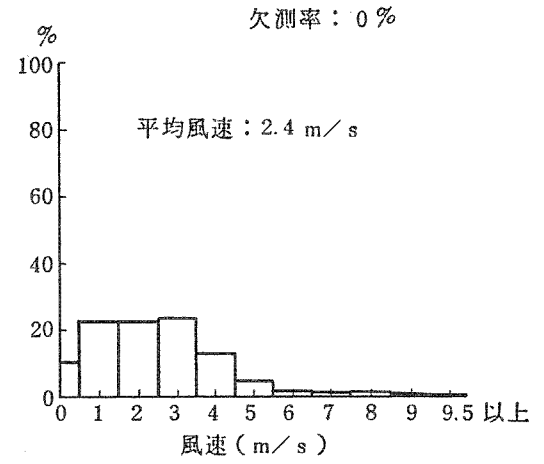
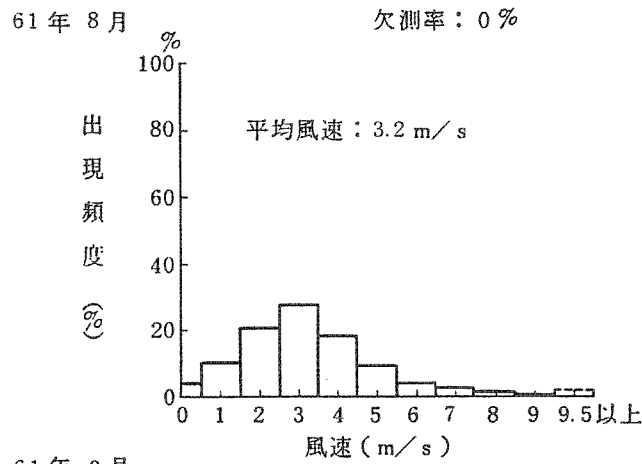
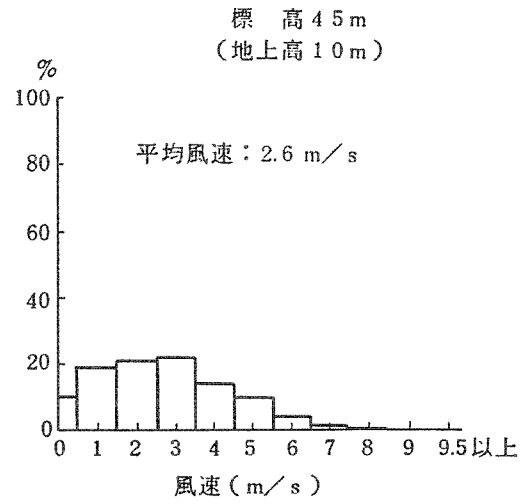
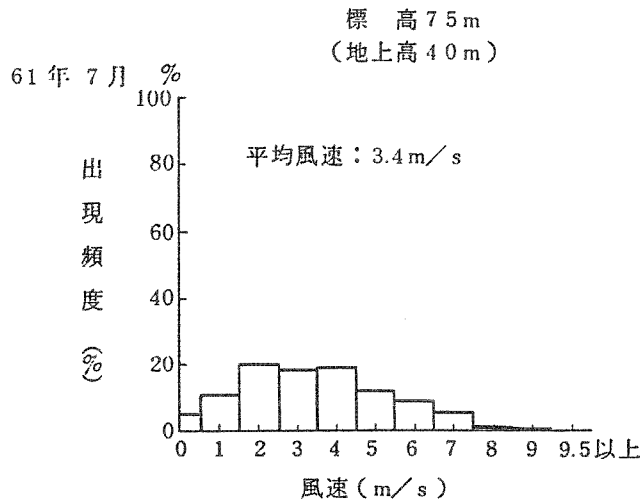
第1.2-58図(1) 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積
(標高75m、地上高40m)



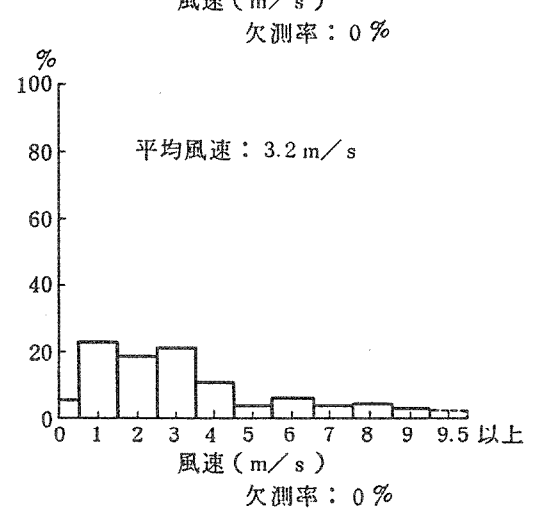
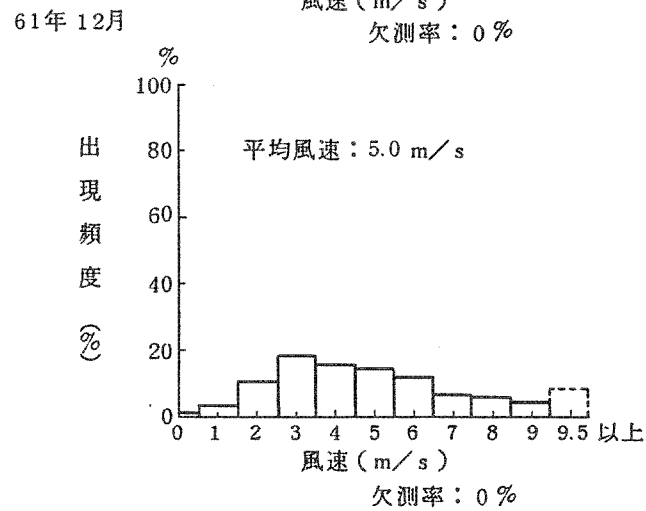
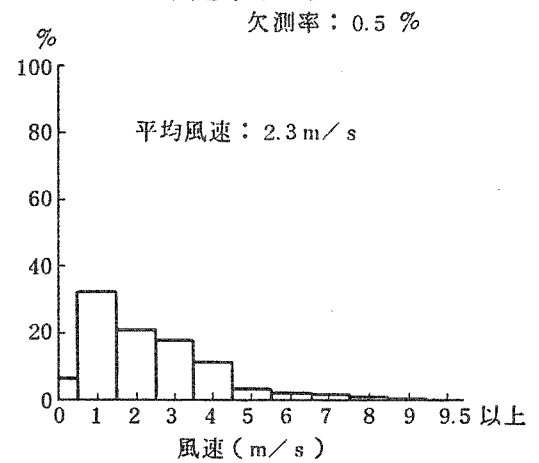
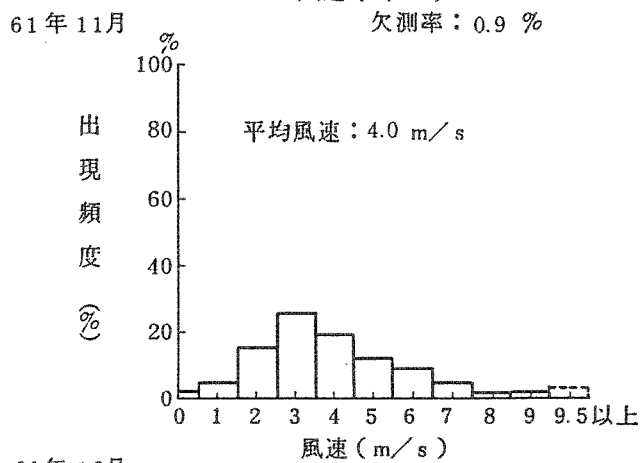
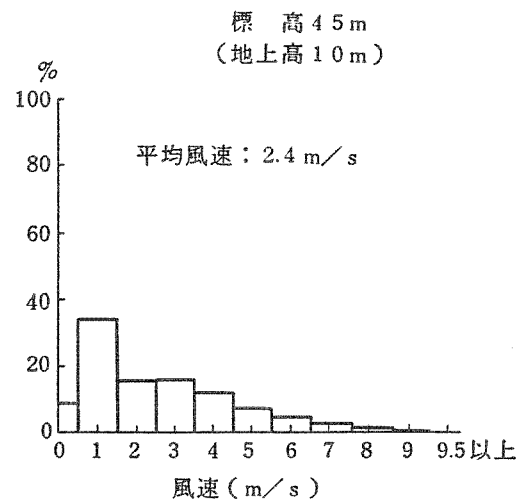
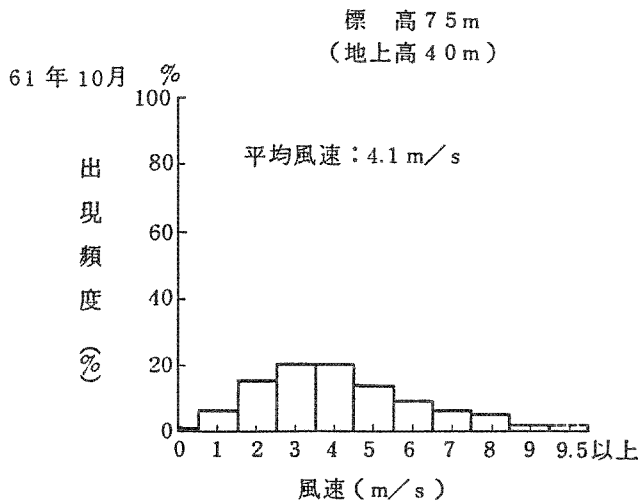
第1.2-58図(2) 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積
(標高45m、地上高10m)



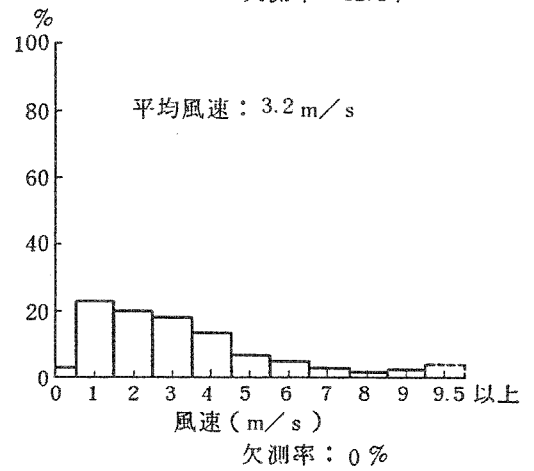
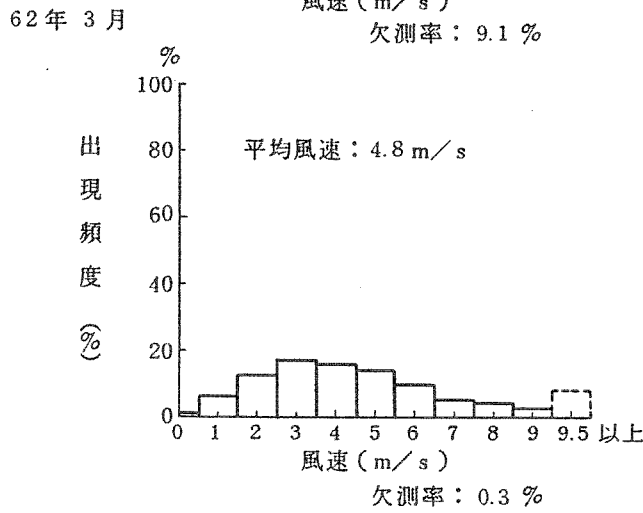
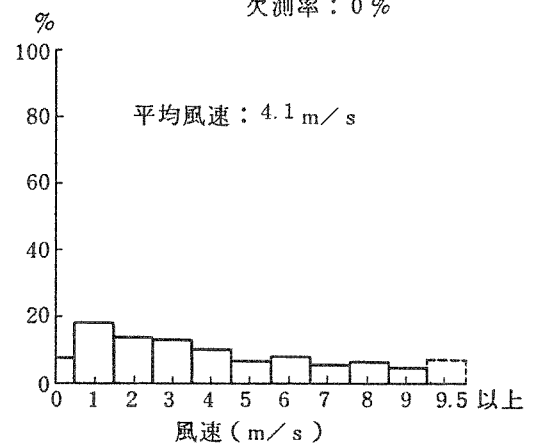
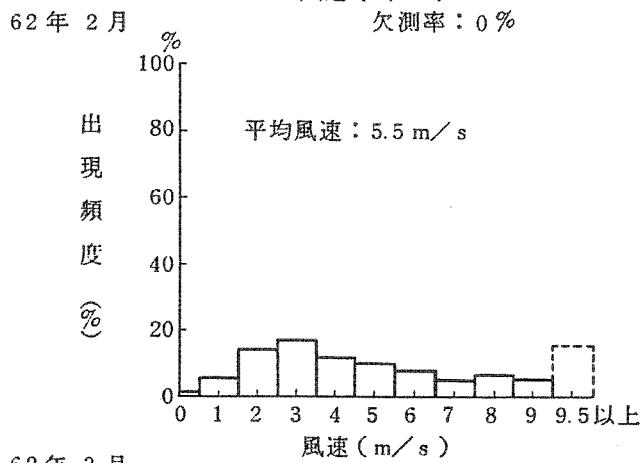
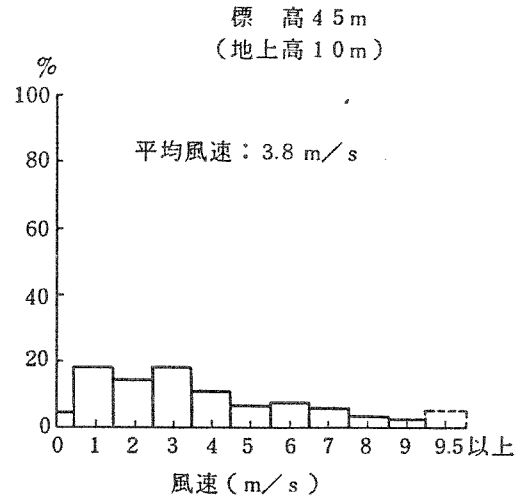
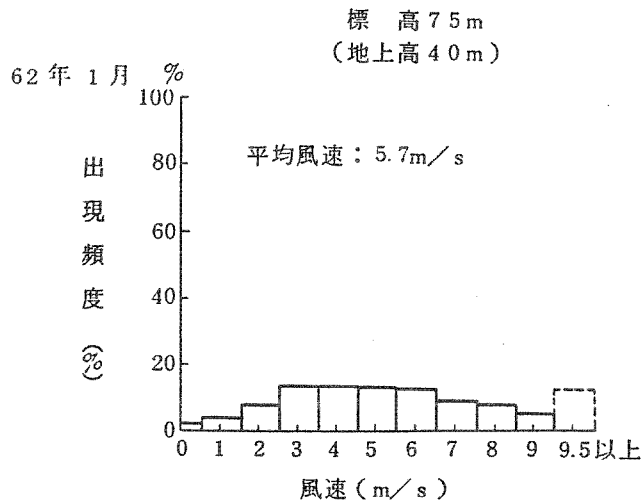
第1.2-59図(1) 月別風速別出現頻度(その1)(4~6月)



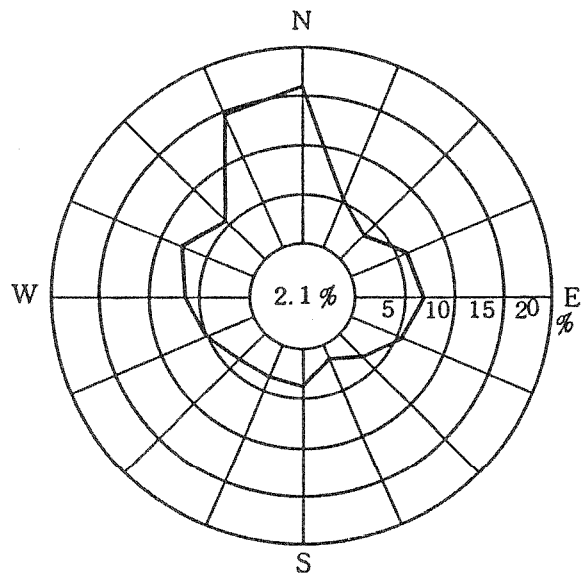
第1.2-59図(2) 月別風速別出現頻度(その2)(7~9月)



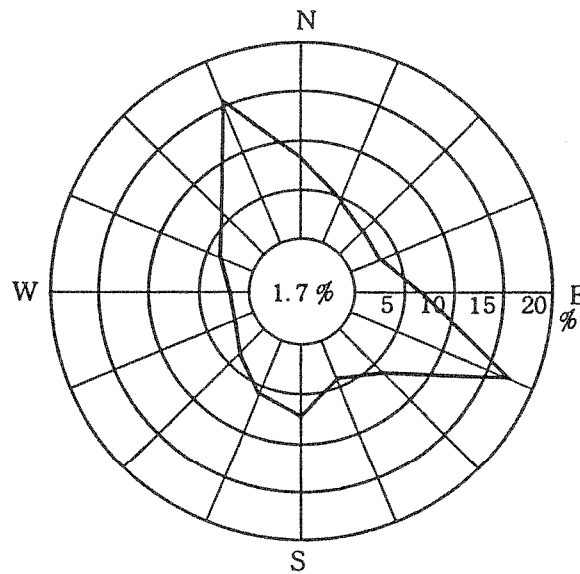
第1.2-59図(3) 月別風速別出現頻度(その3)(10~12月)



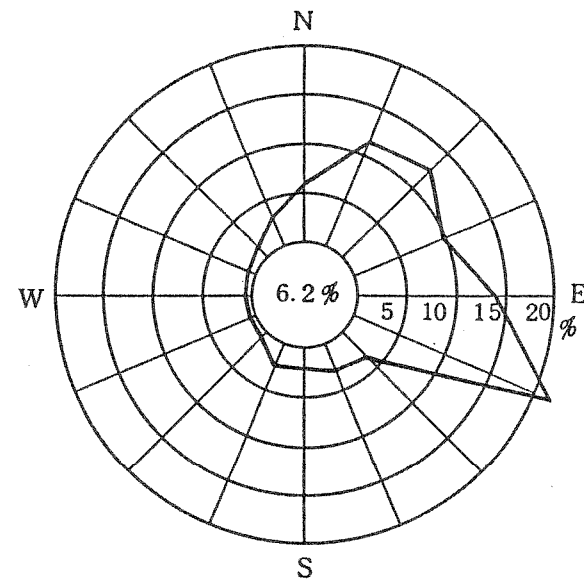
第1.2-59図(4) 月別風速別出現頻度(その4)(1~3月)



安定度 A, B, C型
(出現頻度 23.8%)



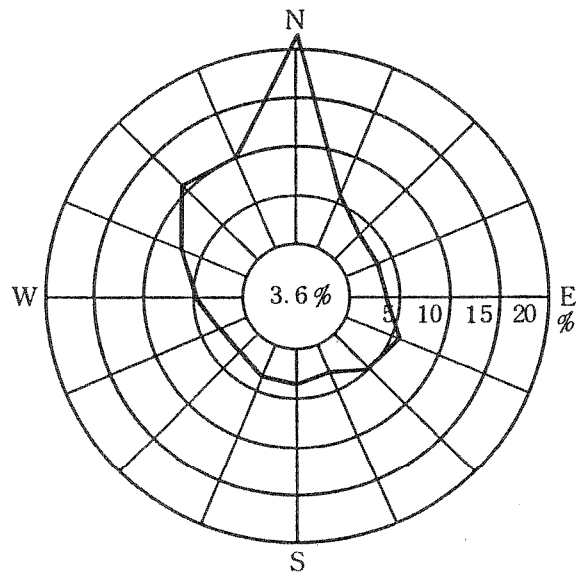
安定度 D型
(出現頻度 49.4%)



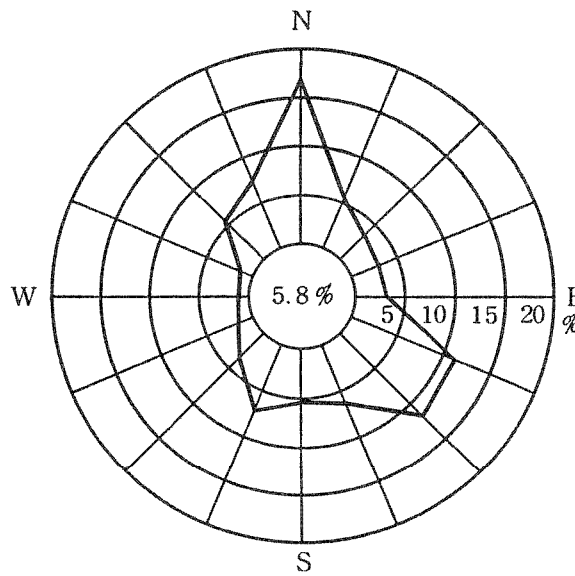
安定度 E, F, G型
(出現頻度 26.9%)

注) 円内は静穏の出現頻度を示す。

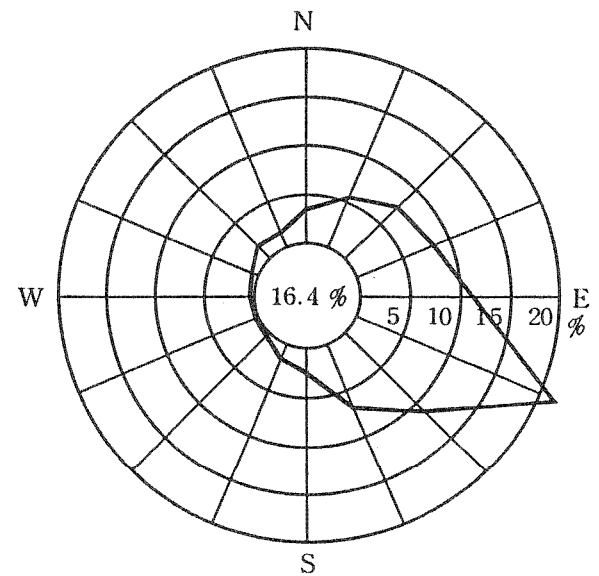
第1.2-60図(1) 年間大気安定度別風配図(標高75m、地上高40m)



安定度 A, B, C型
(出現頻度 23.8%)



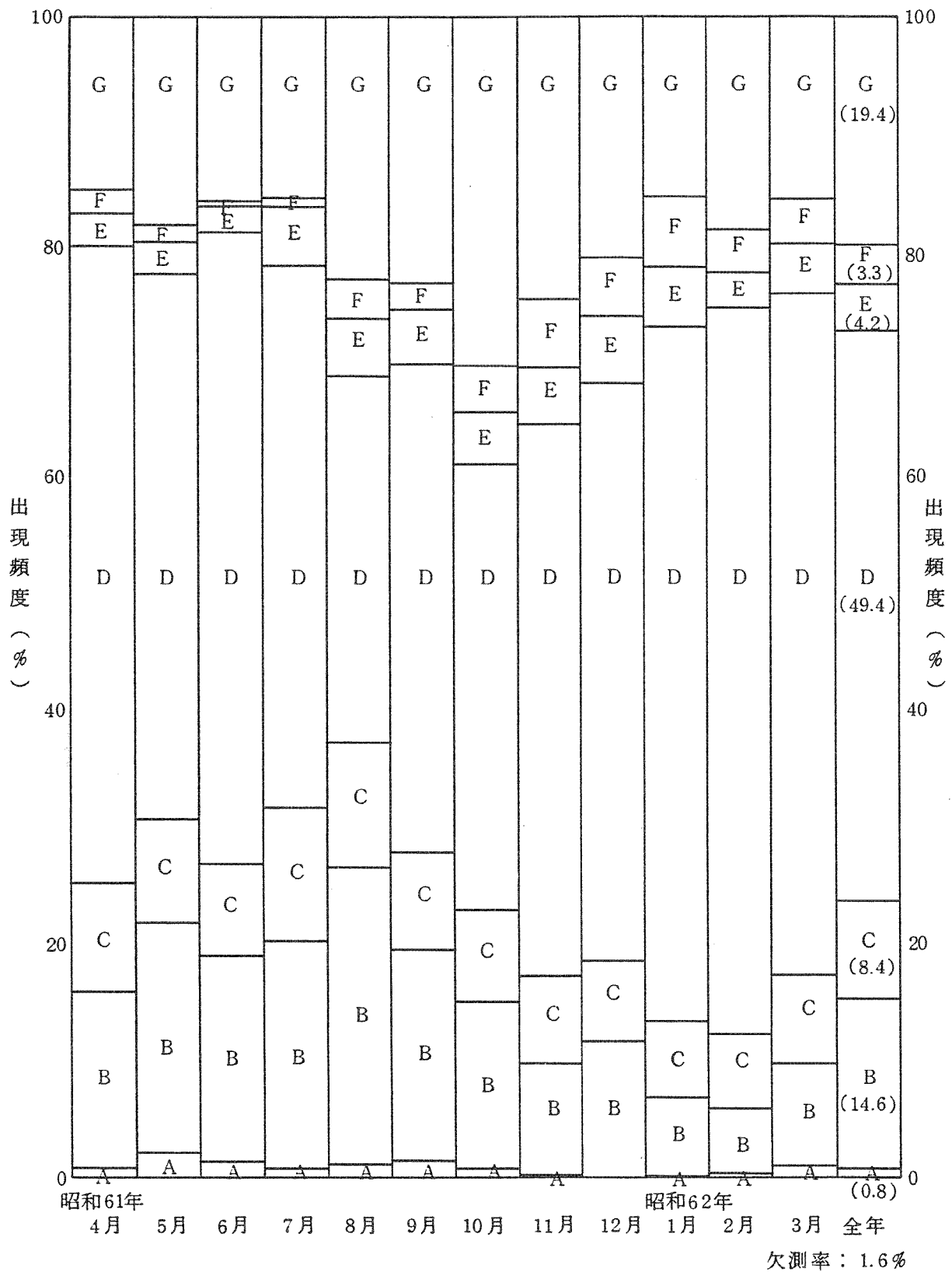
安定度 D型
(出現頻度 49.4%)



安定度 E, F, G型
(出現頻度 26.9%)

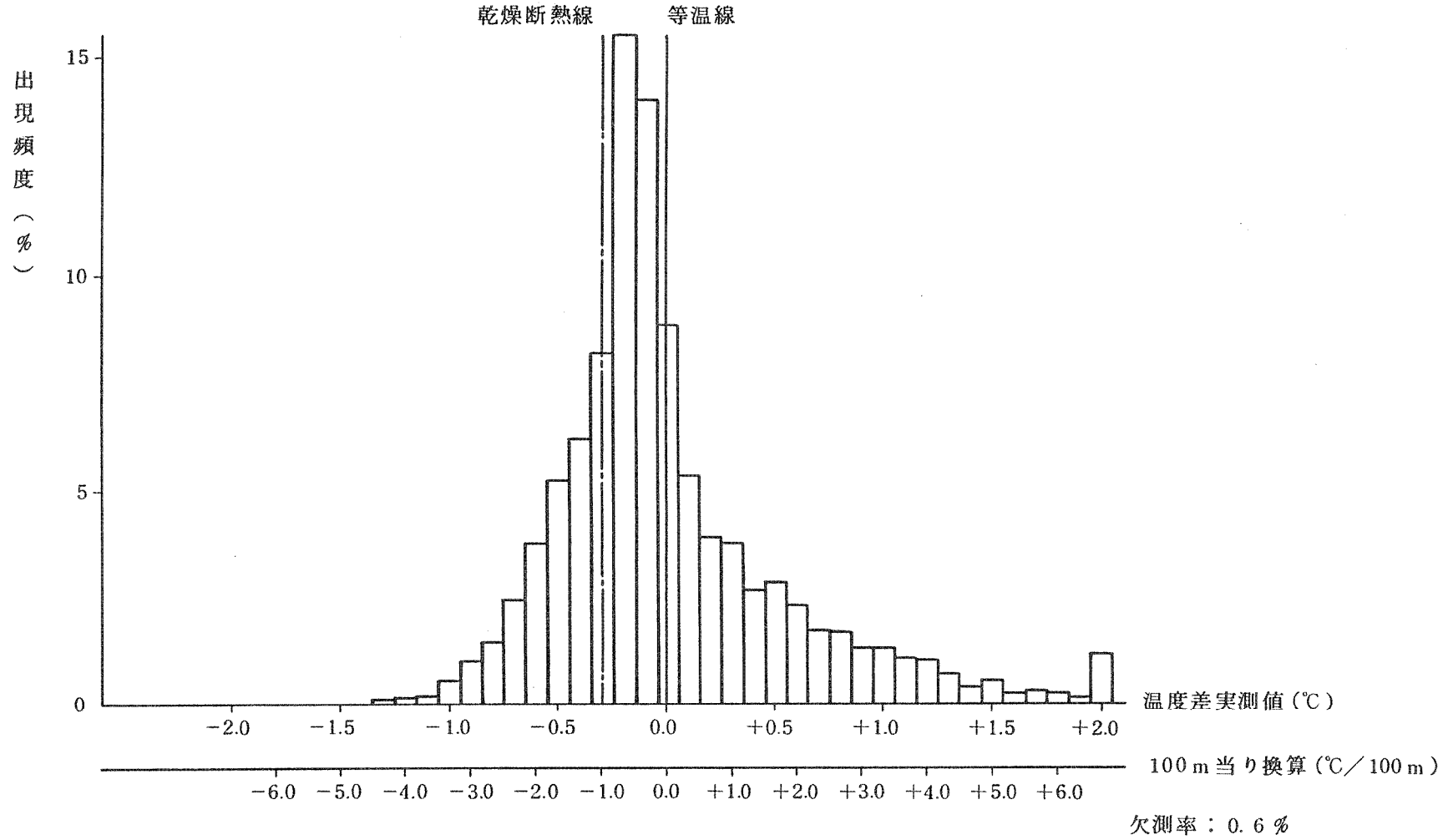
注) 円内は静穏の出現頻度を示す。

第1.2-60図(2) 年間大気安定度別風配図(標高45m、地上高10m)

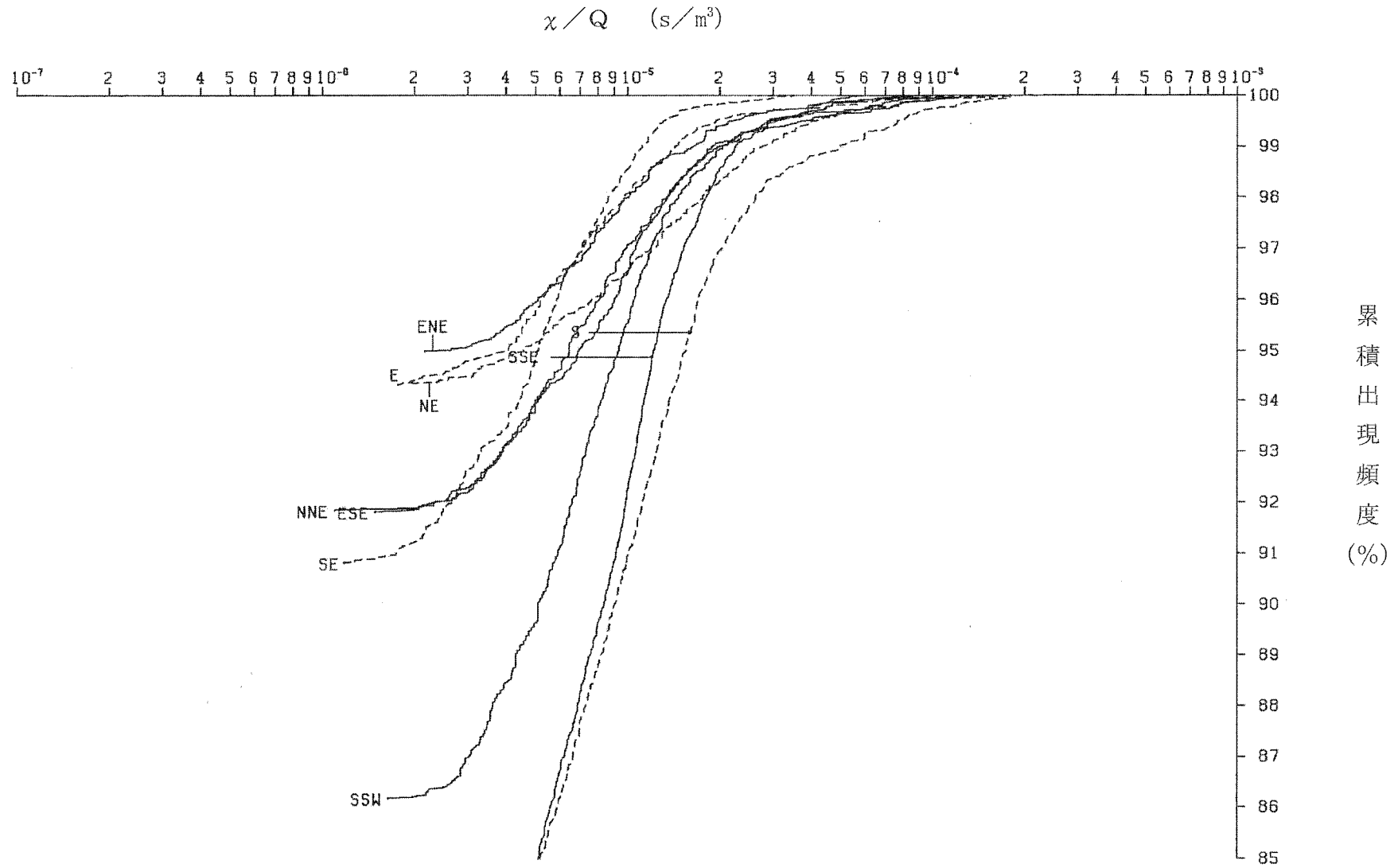


第1.2-61図 年間及び月別の大気安定度出現頻度

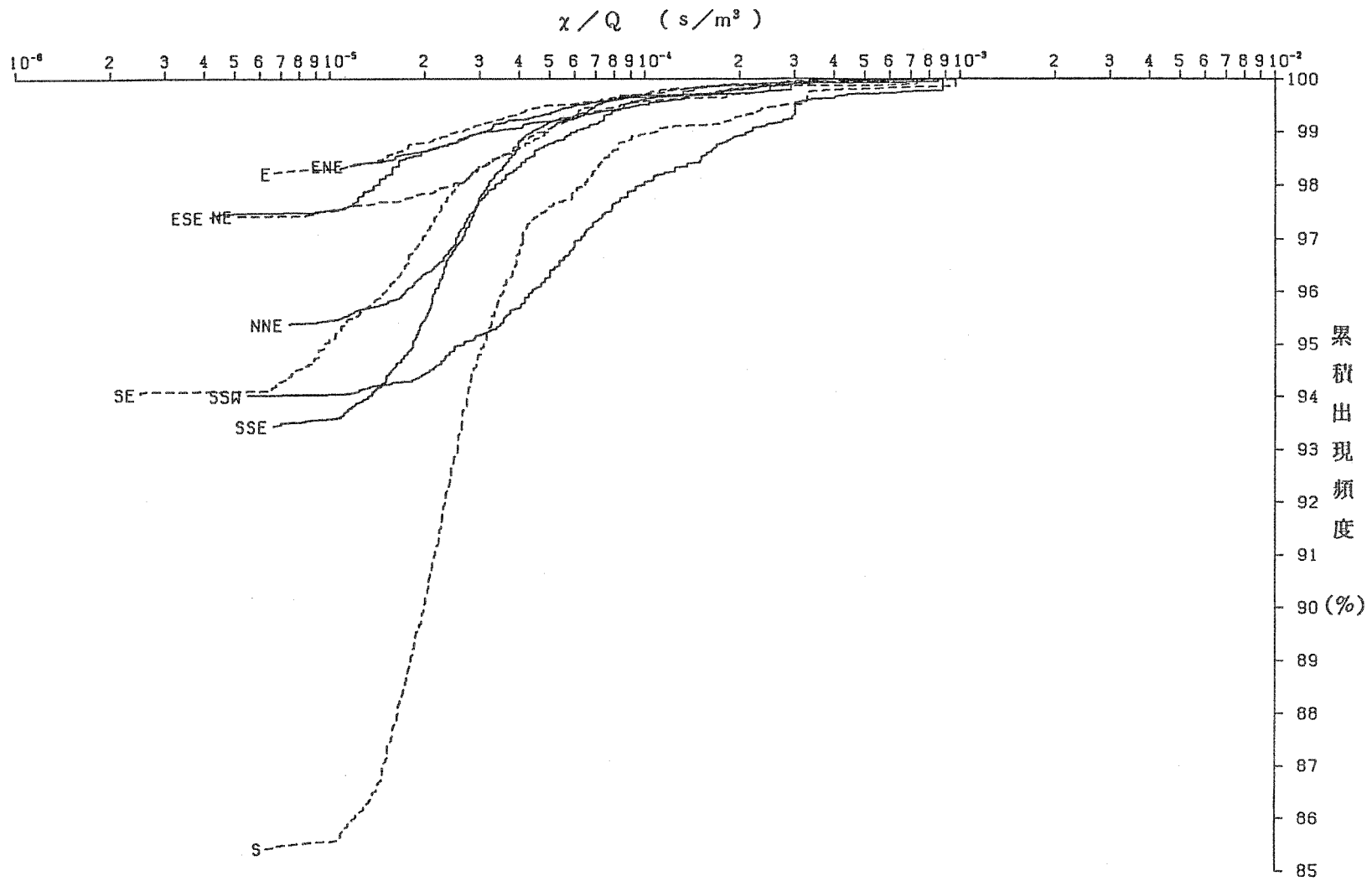
測定場所：川内原子力発電所気象観測所



第1.2-62図 年間気温差出現頻度(標高75m—標高45m)

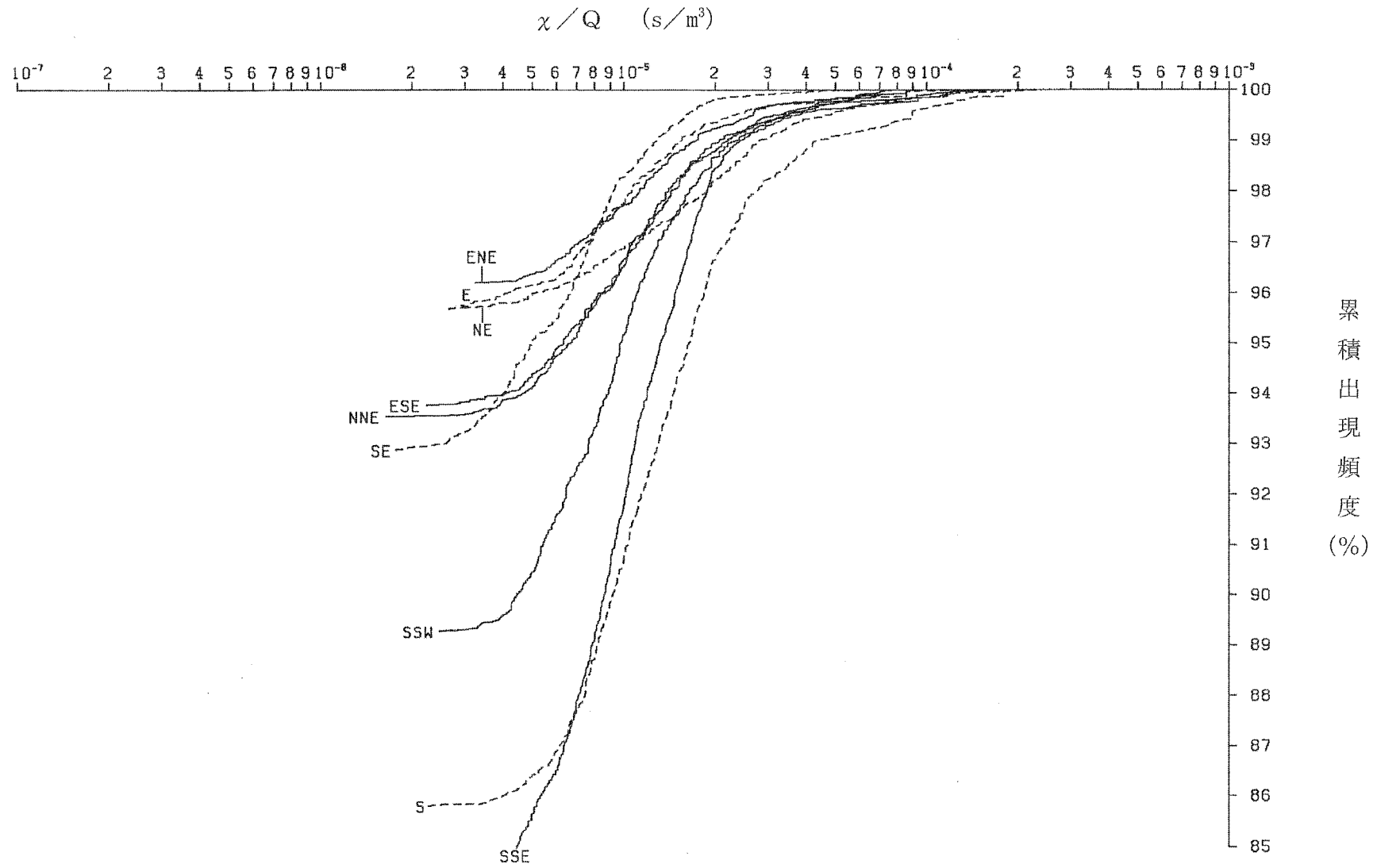


第1.2-63図(1) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)]

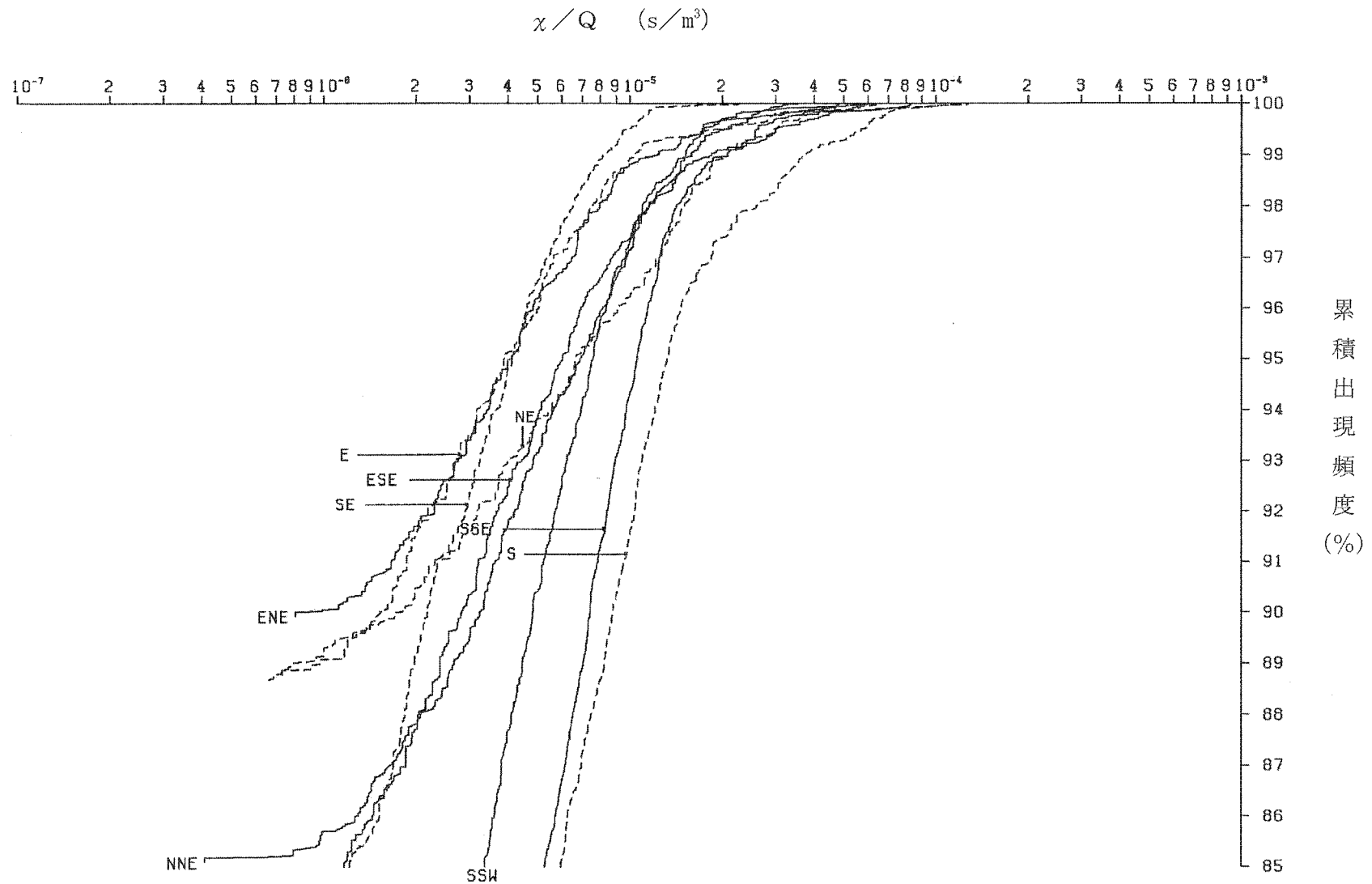


第1.2-63図(2) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度

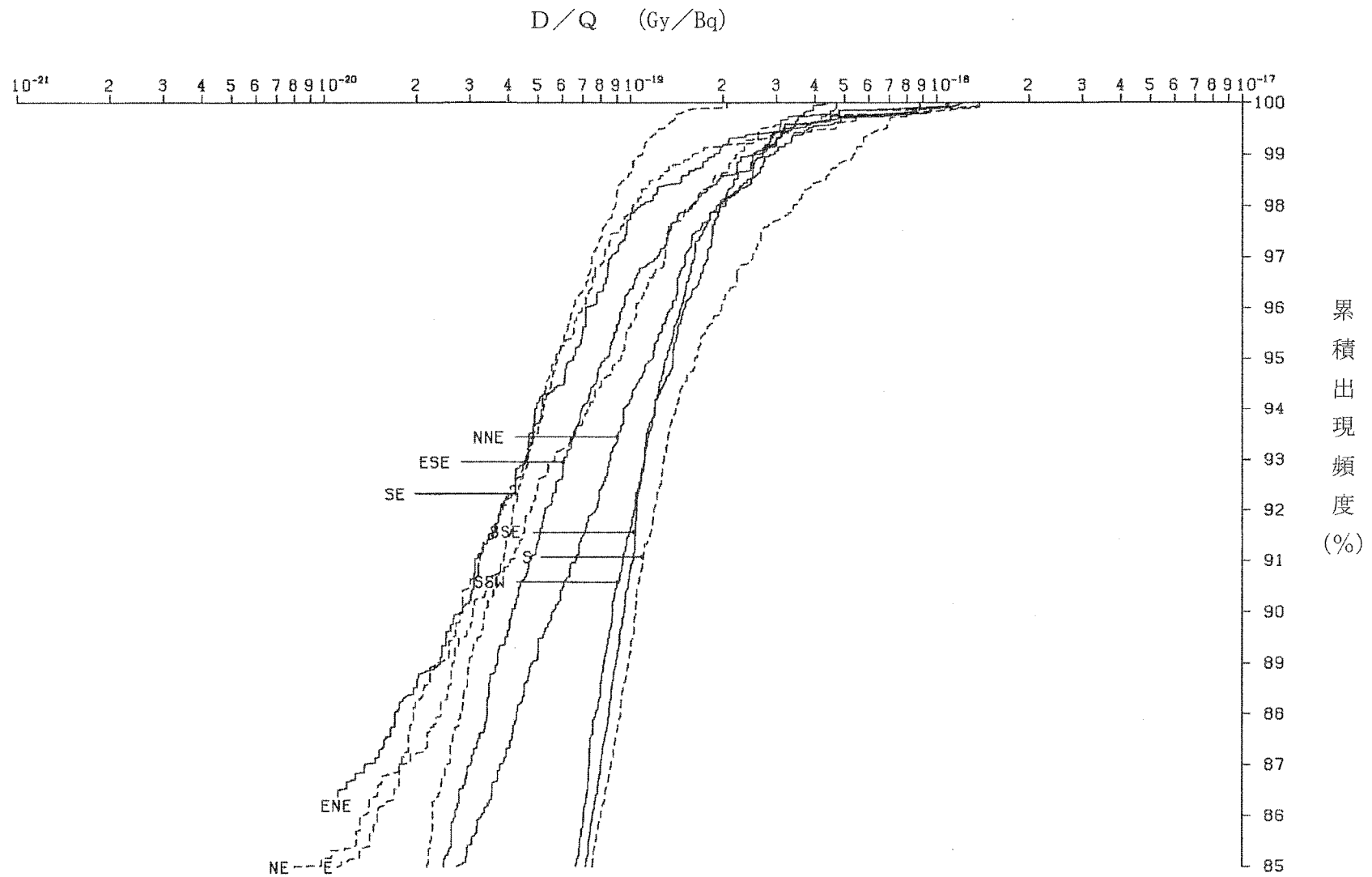
〔放射性気体廃棄物処理施設の破損、蒸気発生器伝熱管破損(事故、重大事故及び仮想事項時)、燃料集合体の落下〕



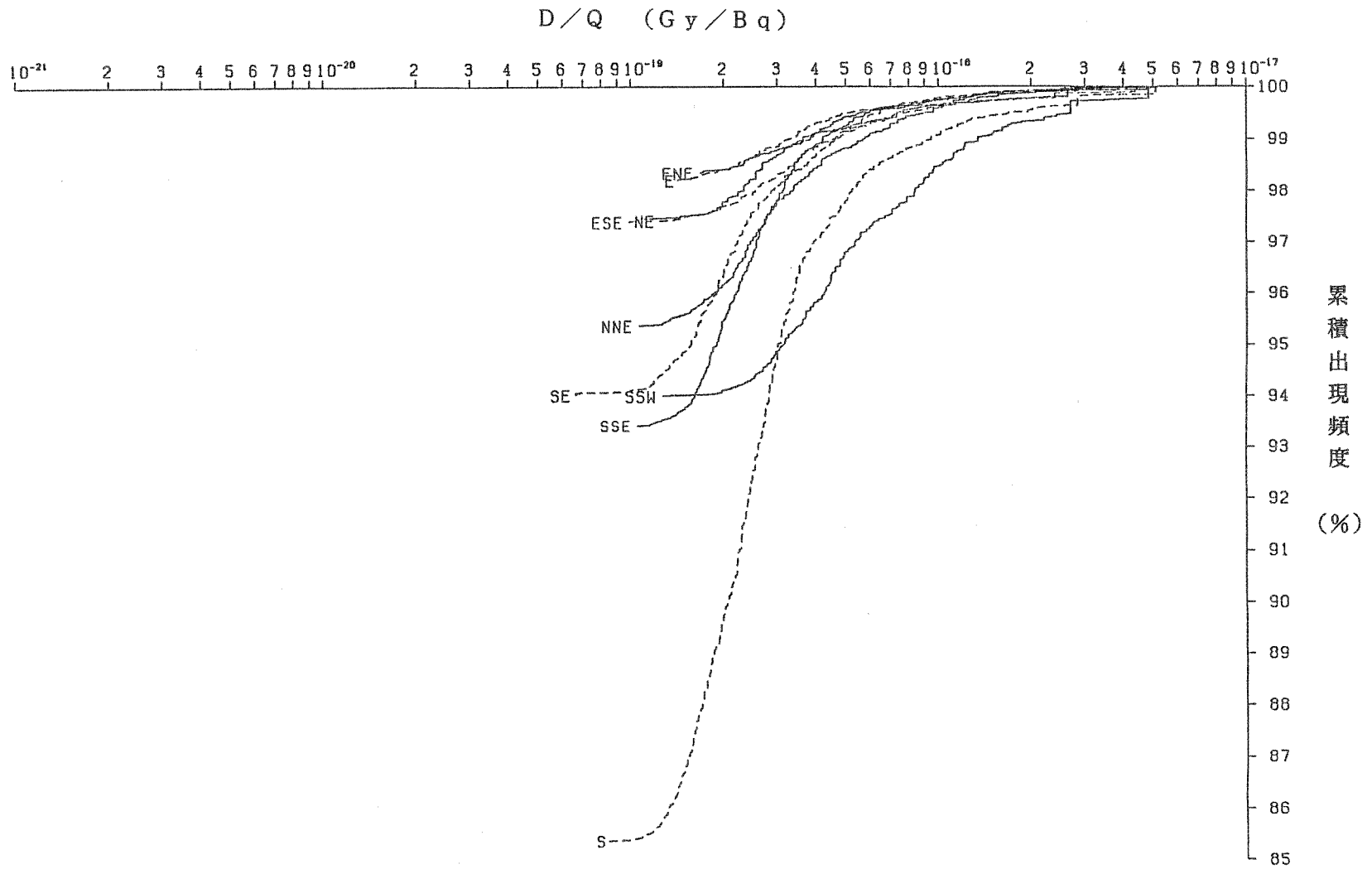
第1.2-63図(3) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
[制御棒飛び出し]



第1.2-63図(4) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)]

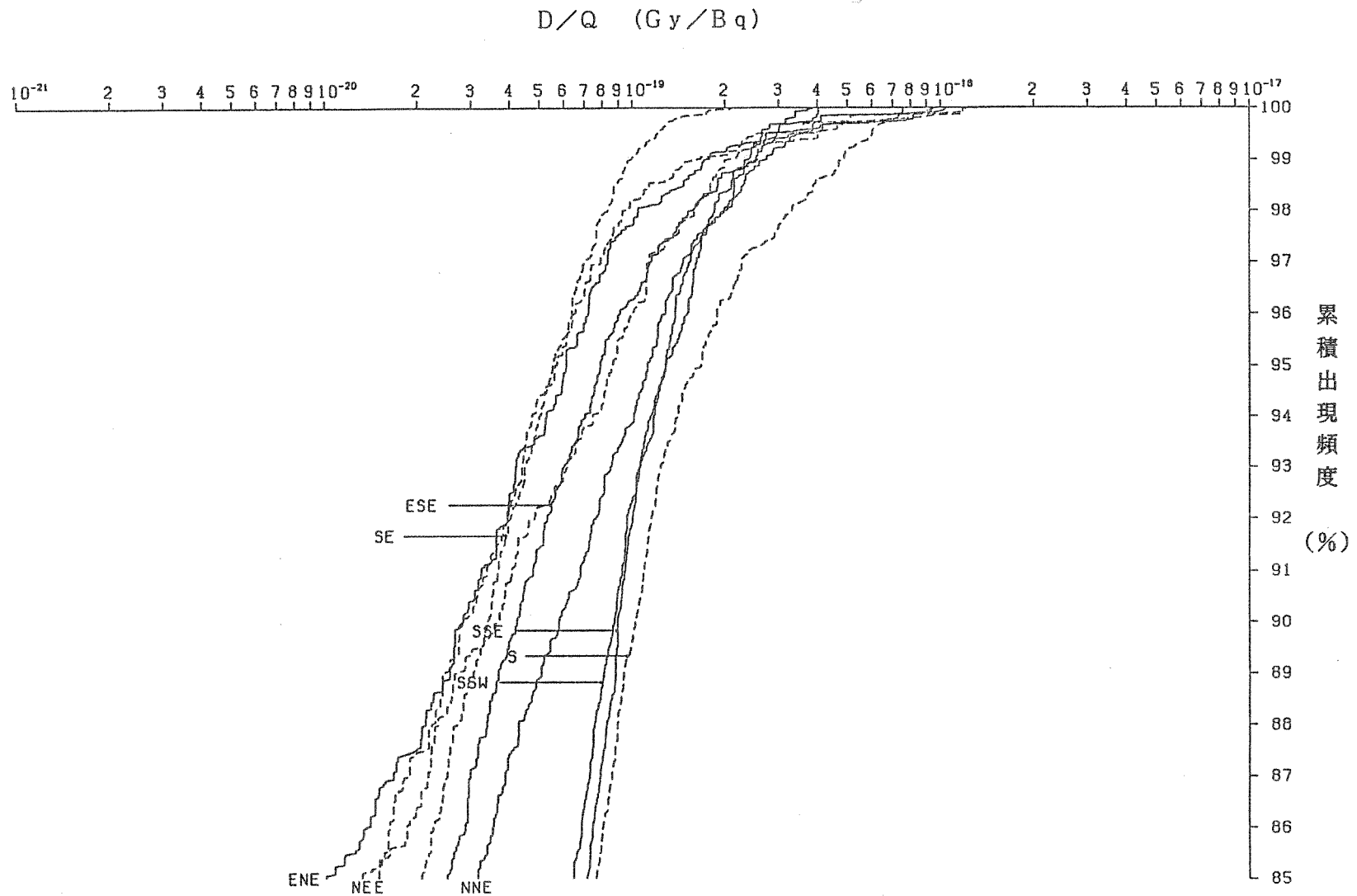


第1.2-63図(5) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)]



第1.2-63図(6) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度

〔放射性気体廃棄物処理施設の破損、蒸気発生器伝熱管破損(事故、重大事故及び仮想事項時)、燃料集合体の落下〕



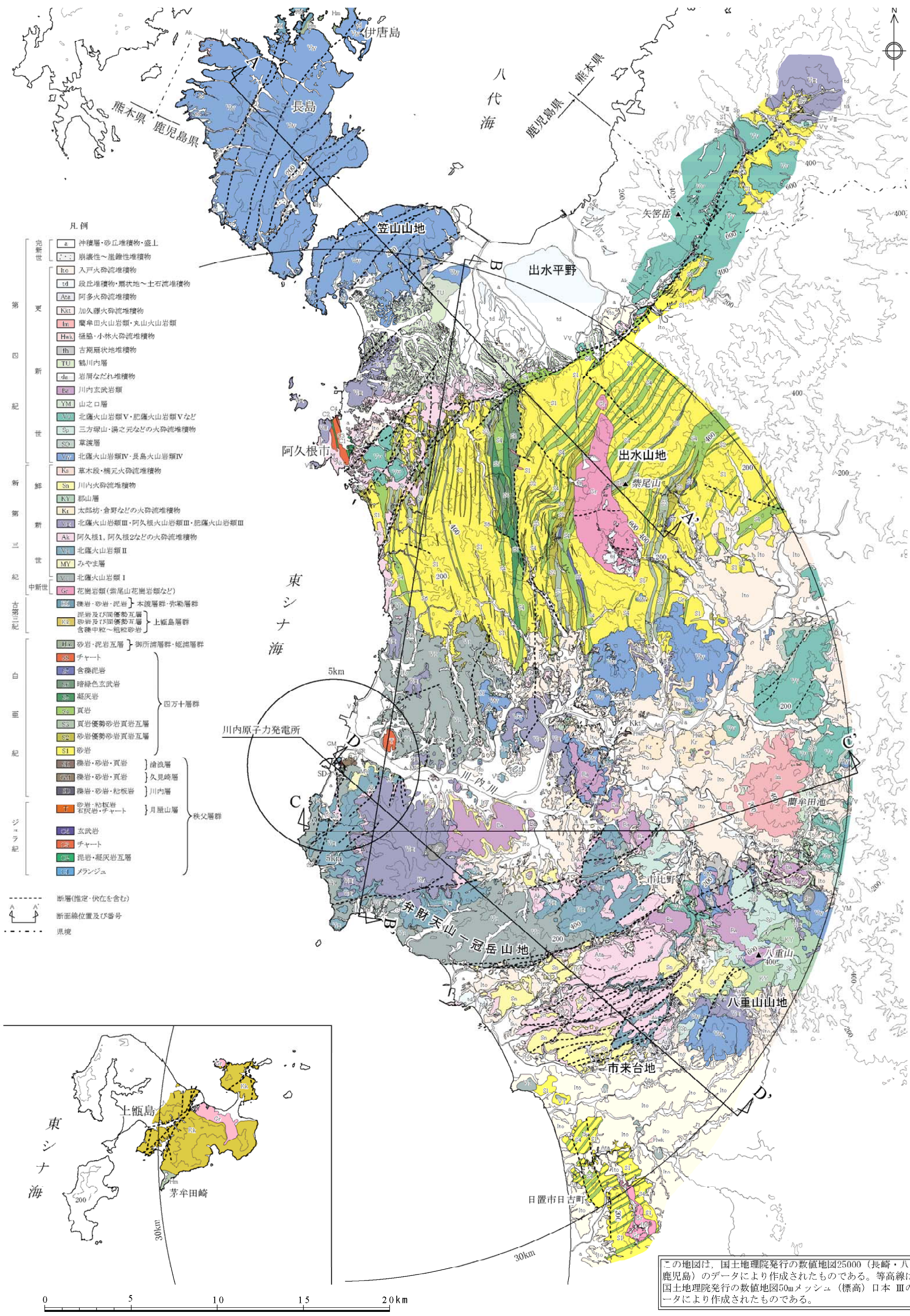
第1.2-63図(7) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度

制御棒飛び出し
 原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)



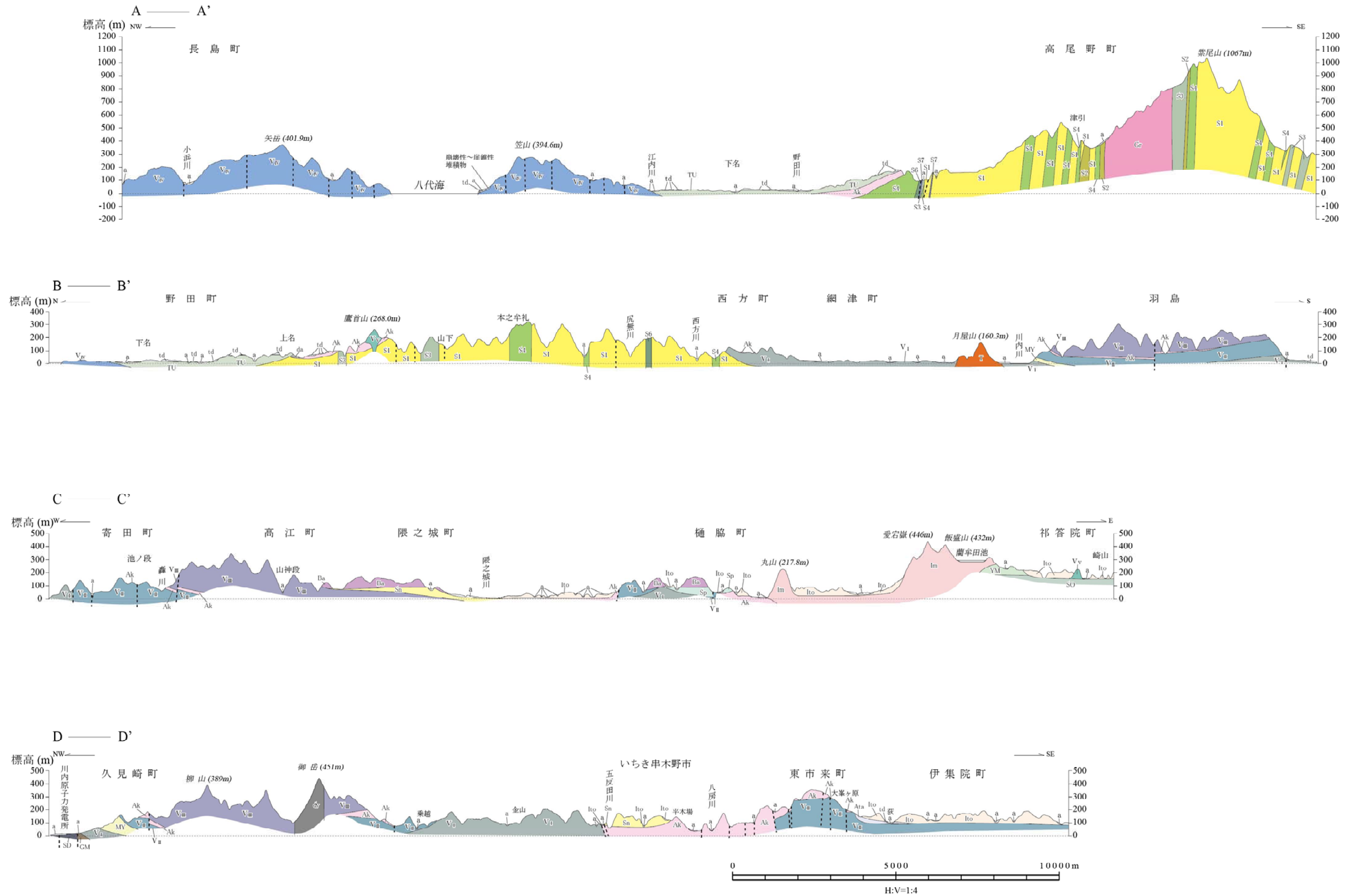
この地図は、国土院発行の20万分の1地勢図
(野母崎・八代・甌島・鹿兒島)を使用したものである。

第1.2-64図 敷地周辺陸域の地形図



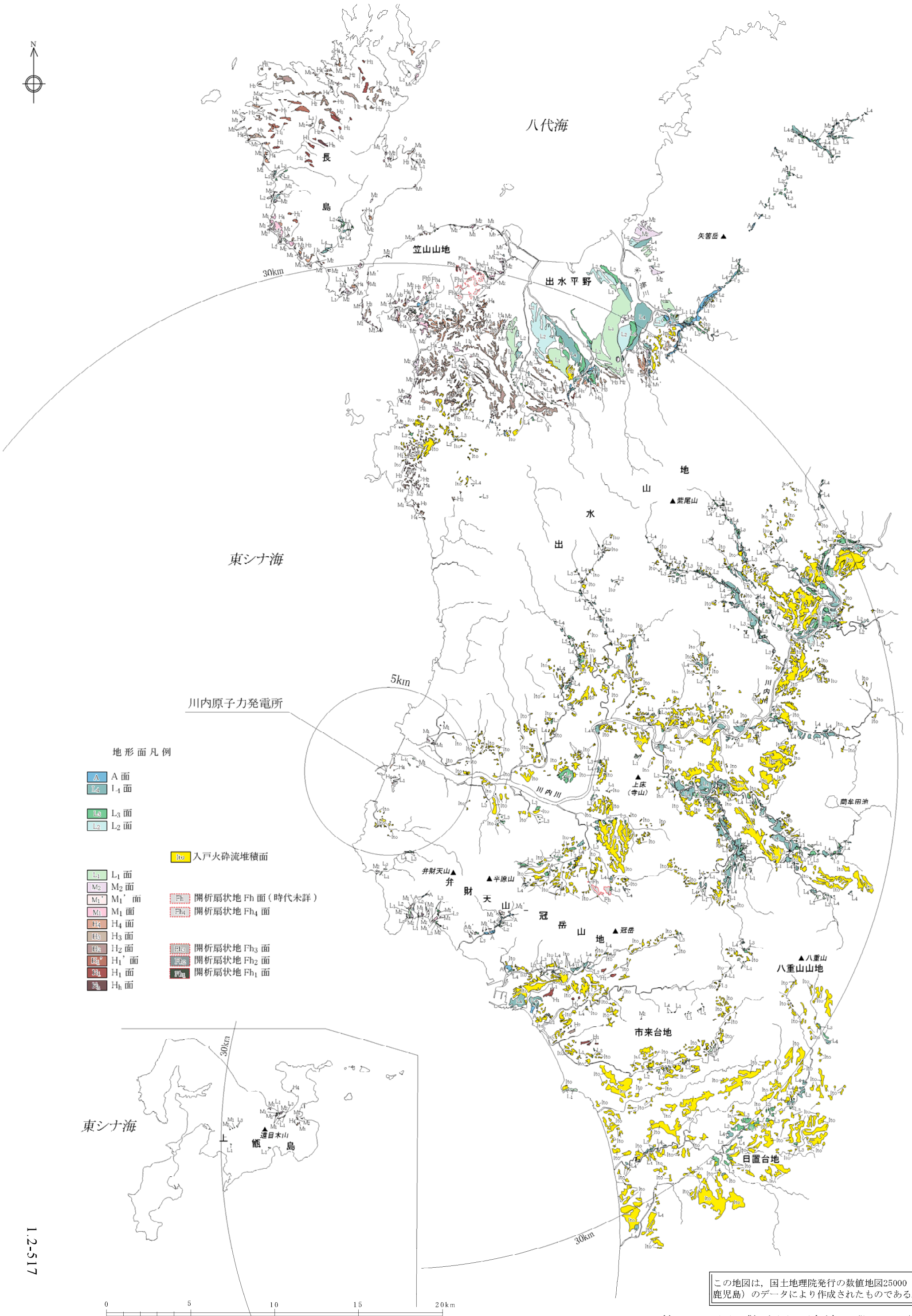
この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。等高線は、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)日本Ⅲのデータにより作成されたものである。

第1.2-65図 敷地周辺陸域の地質図



(注) 凡例は、第1.2-65図を参照。

第1.2-66図 敷地周辺陸域の地質断面図



地形面凡例

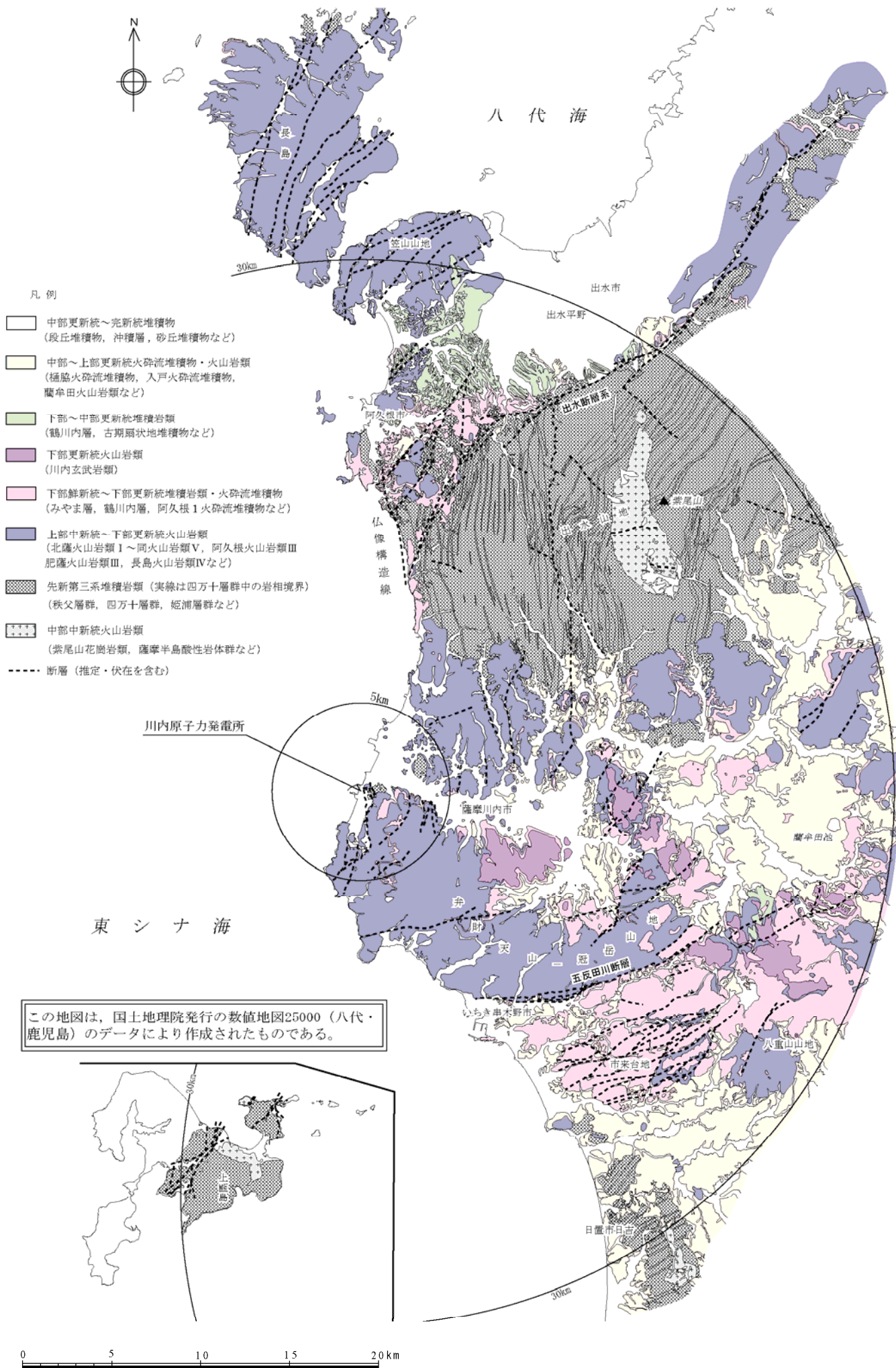
- A 面
- L₁ 面
- L₃ 面
- L₂ 面

- L₁ 面
- M₂ 面
- M₁' 面
- M₁ 面
- H₄ 面
- H₃ 面
- H₂ 面
- H₁' 面
- H₁ 面
- H_h 面

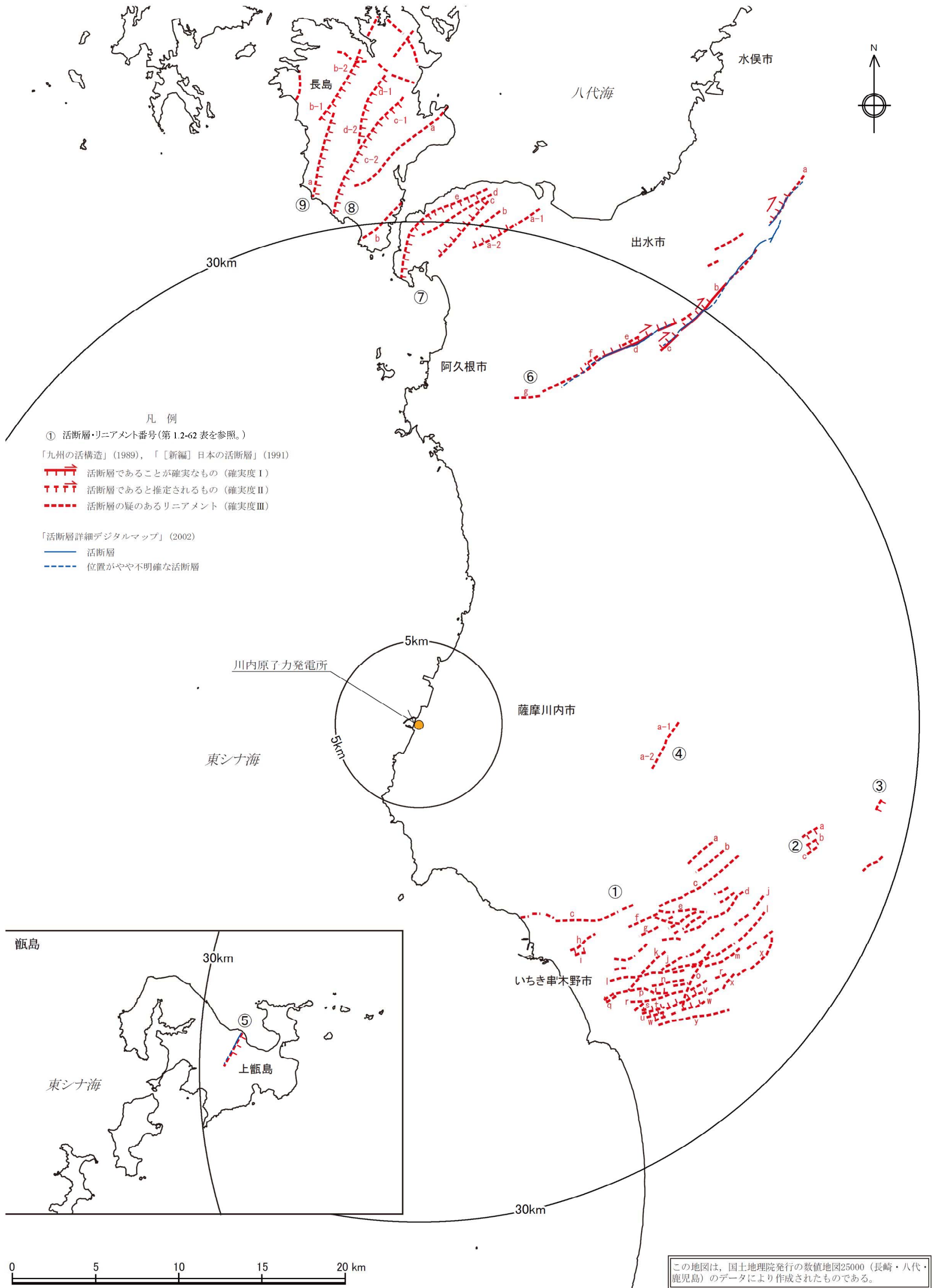
- 入戸火砕流堆積面
- 開析扇状地 Fh 面 (時代未詳)
- 開析扇状地 Fh₄ 面
- 開析扇状地 Fh₃ 面
- 開析扇状地 Fh₂ 面
- 開析扇状地 Fh₁ 面

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000（八代・鹿兒島）のデータにより作成されたものである。

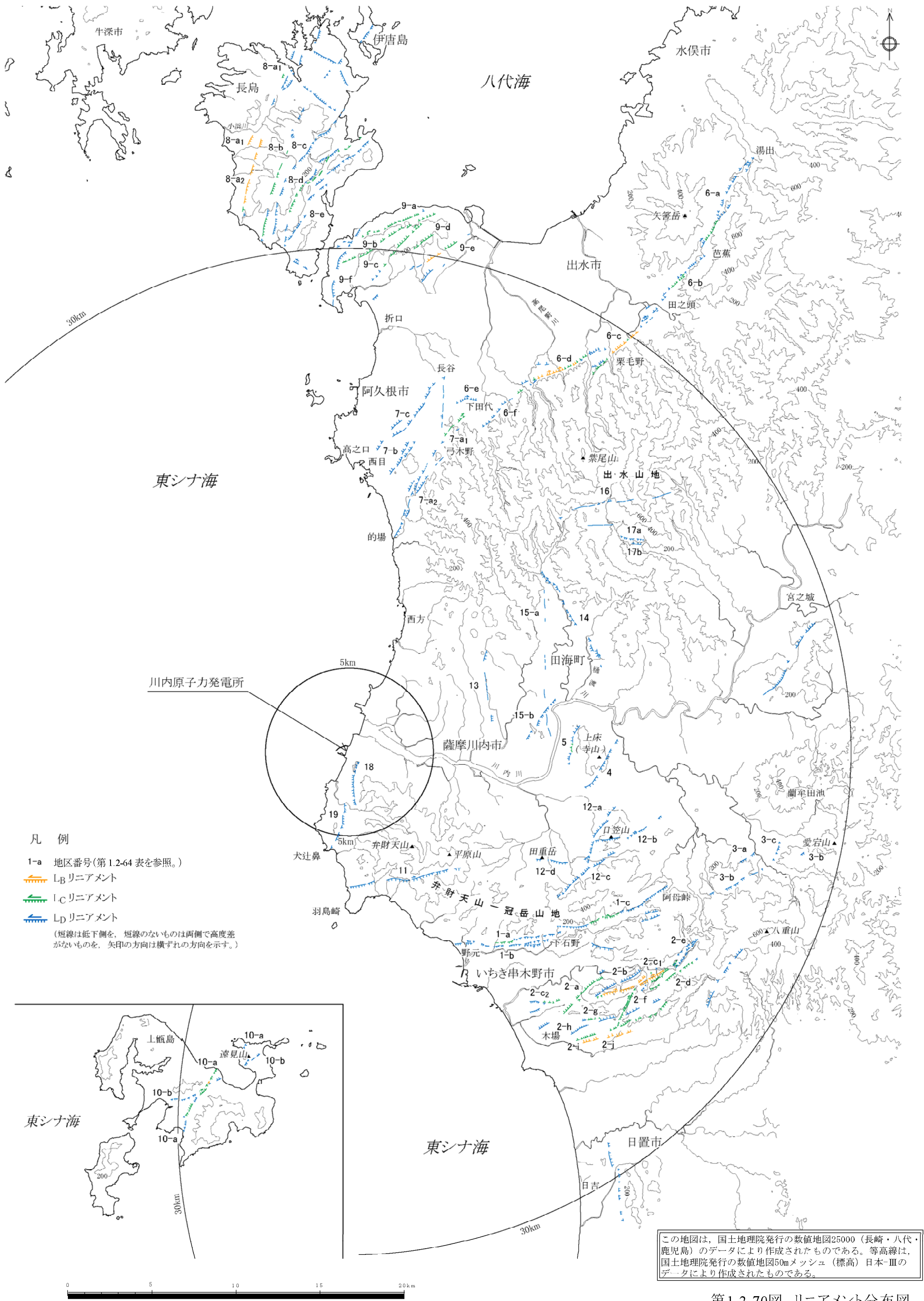
第1.2-67図 敷地周辺陸域の段丘面分布図



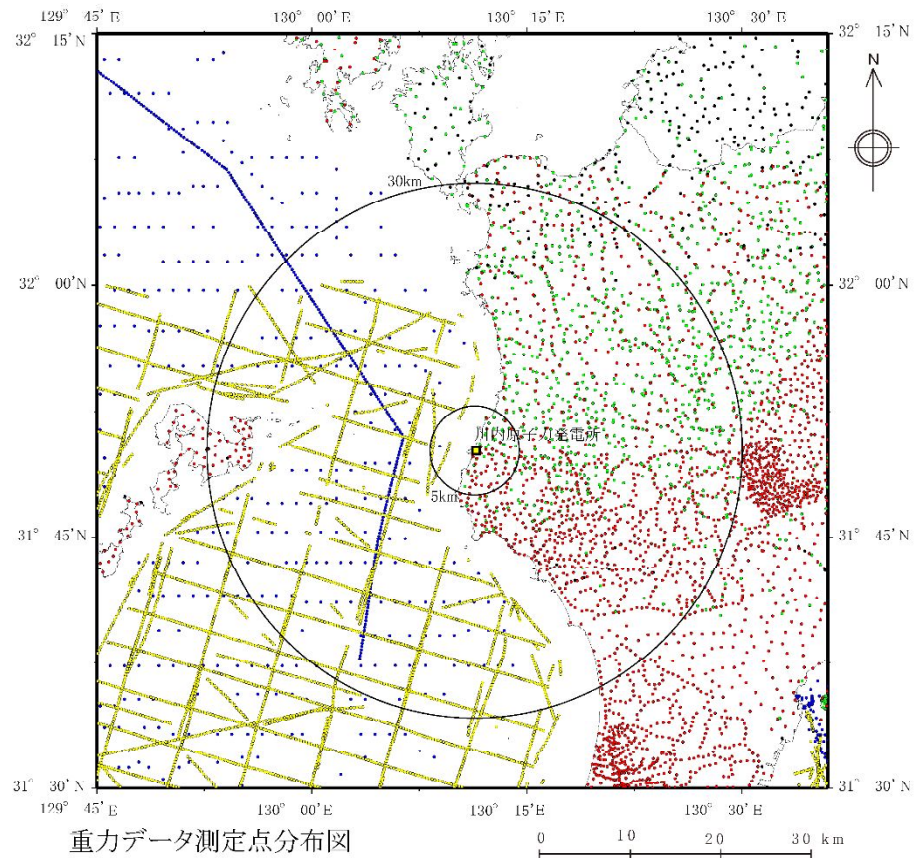
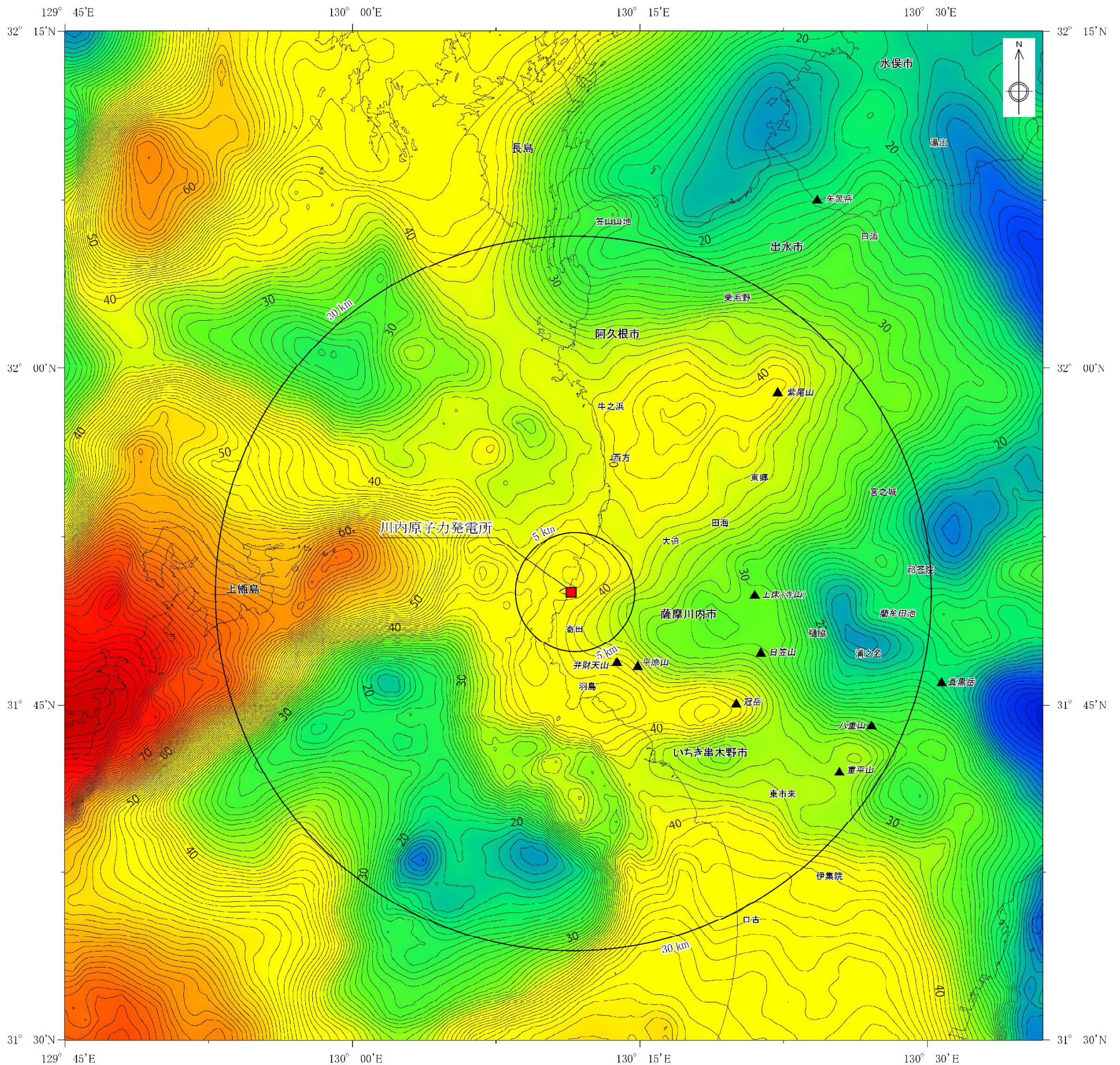
第1.2-68図 敷地周辺陸域の地質構造図



第1.2-69図 文献による活断層・リニアメント分布図



第1.2-70図 リニアメント分布図

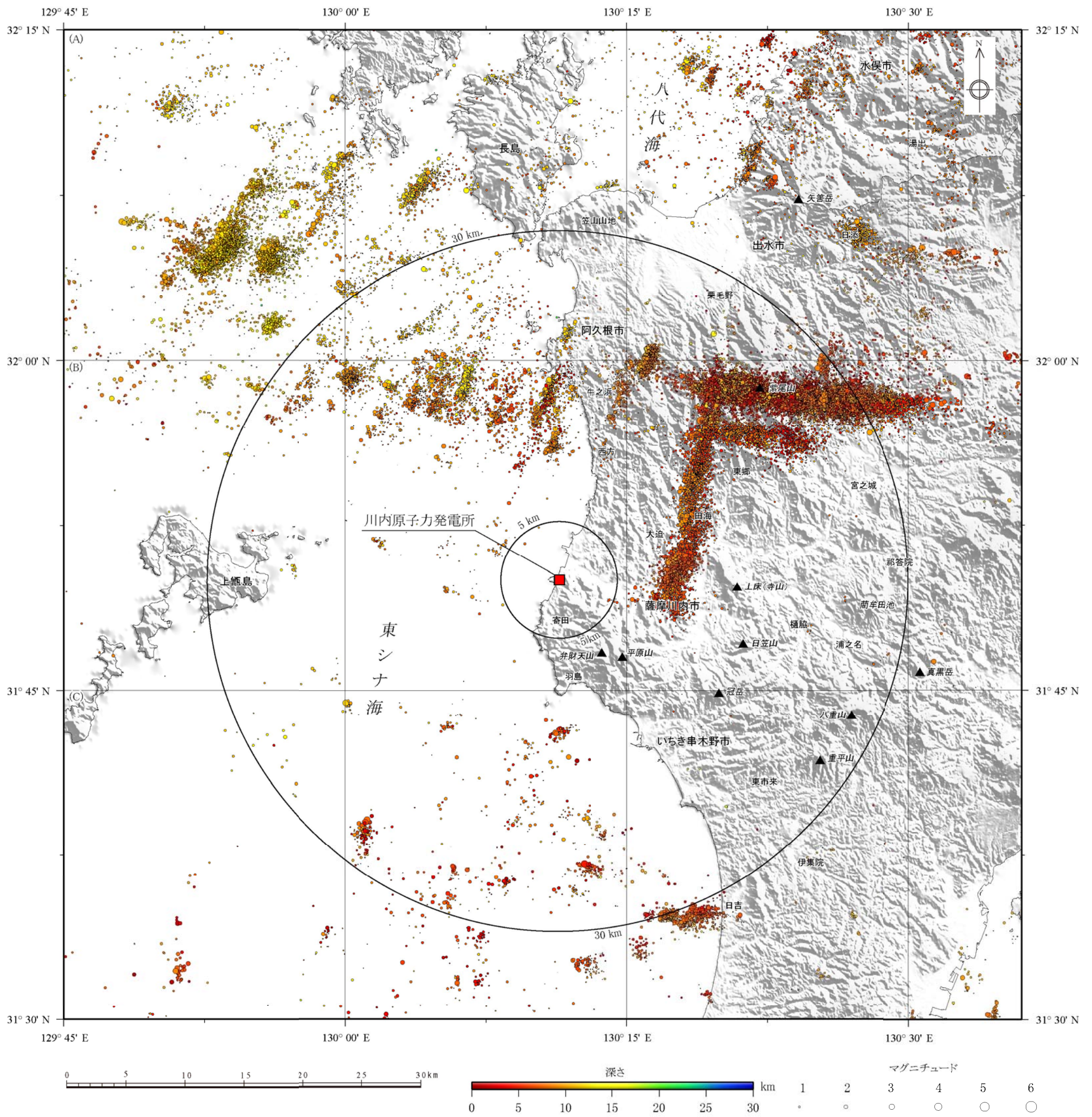


重力異常図は、陸域については、地質調査総合センター編(2013)「日本重力データベースDVD版」、Shichi and Yamamoto (2001) Gravity Database of Southwest Japan (CD-ROM)及びYamamoto et al.(2011) Gravity Database of Japan (CD-ROM)、海域については、日本海洋データセンター(2006)「MGD77データ」及び地質調査所 昭和59年度 GH841, GH843航海による重力データを使用。

- 重力データ測定点分布凡例
- 日本海洋データセンター
 - 地質調査所
 - 地質調査総合センター
 - Shichi and Yamamoto (2001)
 - Yamamoto et al. (2011)

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。

第1.2-71図 敷地周辺の重力異常図

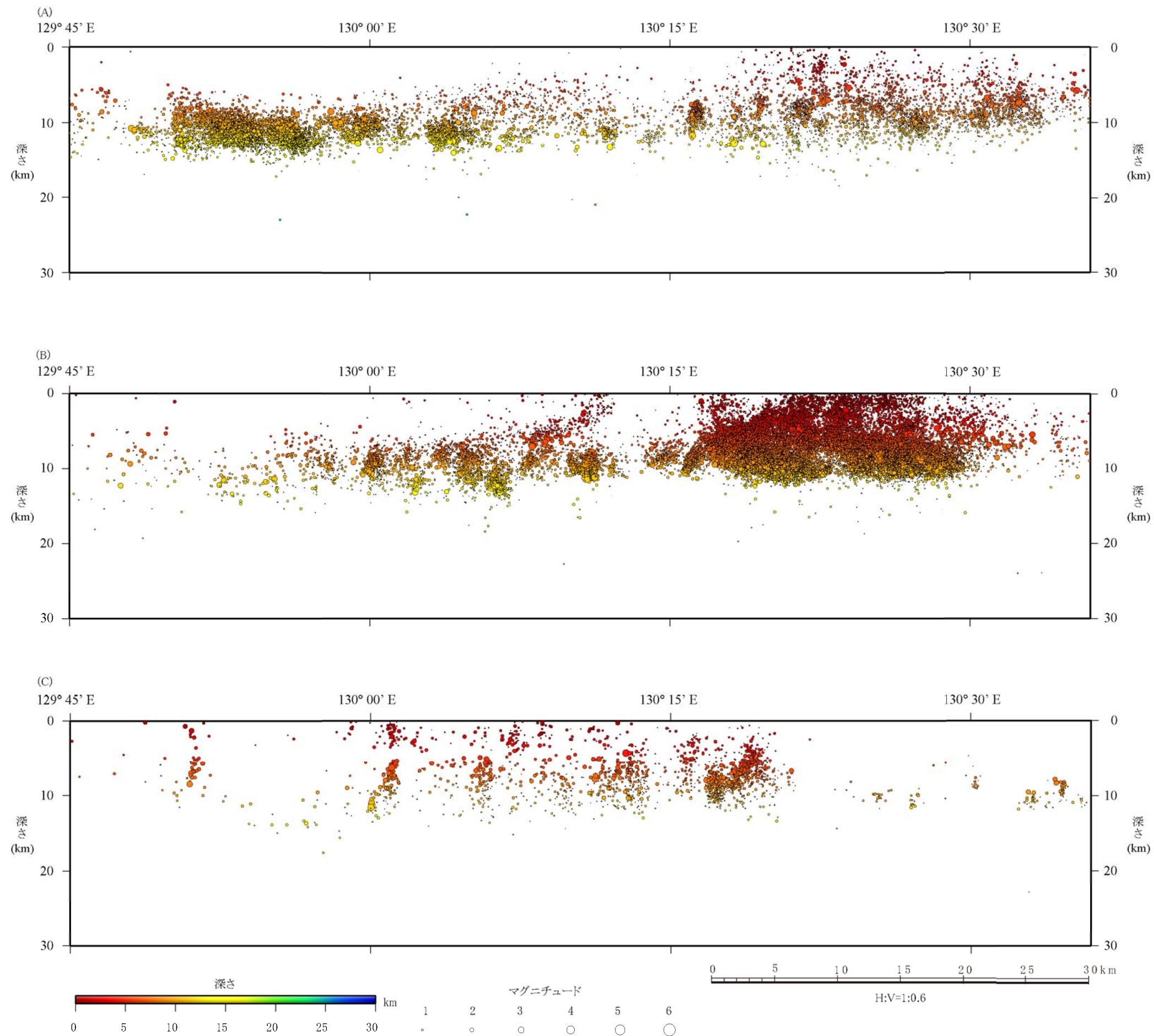


震源分布図は、気象庁一元化震源(1997年10月-2011年12月, 30km以浅)による。

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。地形陰影図は、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)日本-IIIのデータにより作成されたものである。

(A)、(B)、(C)は第1.2-72図(2)に示す敷地周辺の微小地震分布断面の位置を示す。

第1.2-72図(1) 敷地周辺の微小地震分布図



第1.2-72図(2) 敷地周辺の微小地震分布断面図